

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

配慮書対象事業が実施されるべき区域及びその周囲の自然的社会的状況（以下、「地域特性」という。）を把握するにあたっては、図 3.1 に示す範囲（以下、「対象事業実施想定区域及びその周囲」という。）を基本とし、適宜、調査対象項目により適切な範囲を設定した。

なお、対象事業実施想定区域及びその周囲の範囲は対象事業実施想定区域から概ね半径 3km を基本としており、設定にあたっては本事業による環境への影響が最も広範囲に及ぶものとして考えられる煙突排出ガスの最大着地濃度出現予想距離をもとに、次の点を勘案して設定した。

- ・「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（平成 18 年 9 月環境省）において、煙突排出ガスによる影響の調査対象地域として、最大着地濃度出現予想距離の概ね 2 倍を見込んで設定した例が示されている。
- ・類似事例（処理能力：200t/日～660t/日、煙突実体高：59m～100m）のシミュレーションにおいて、年平均値の最大着地濃度出現予想距離が概ね 1km 程度の結果であった。

また、市町村単位で公表されている統計資料等については、愛知県東郷町、日進市、みよし市及び豊田市の全域を範囲とした。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況
3.1 自然的状況



図 3.1 対象事業実施想定区域及びその周囲

3.1 自然的状況

3.1.1 気象・大気質その他の大気に係る環境の状況

3.1.1.1 気象

対象事業実施想定区域の位置する東郷町は、比較的温暖で「東郷の統計 令和6年版(2024)」(令和6年12月 東郷町)によると、令和5年の平均気温は16.6℃となっており、年間降水量は1,457.0mmと夏に多く冬に少ない太平洋岸式気候となっている。

対象事業実施想定区域及びその周囲には気象観測所が存在しないため、対象事業実施想定区域から北西に約12.2kmの位置にある名古屋地方気象台の観測結果により、気温、降水量、風向・風速及び日照時間を把握した。なお、対象事業実施想定区域の東北東約8.3kmに豊田地域気象観測所もあるが、周辺の地形や対象事業実施想定区域における過去の測定データ等と比較すると、豊田地域気象観測所は、周囲を北西～北～南東にかけて山地・丘陵に囲まれており、その中を北東から南西に向かって流れる矢作川に沿ったような主風向帯となっている。周辺が開けた名古屋地方気象台のほうが、より事業計画地に類似性が高いと考えられることから、名古屋地方気象台の観測結果により把握することとした。

名古屋地方気象台の位置は、図3.1.1に示すとおりである。



図 3.1.1 気象観測地点

(1) 気温・降水量

名古屋地方気象台における令和2～令和6年の月別平均気温は表3.1.1に、月別降水量は表3.1.2に示すとおりである。また、月別平均気温及び降水量の変化は、図3.1.2に示すとおりである。

令和2～令和6年の5年平均値は、年間平均気温が17.2℃であり、月別平均気温は8月が29.2℃で最も高く、1月が5.6℃で最も低くなっている。

また、降水量については、5年平均値は年間降水量が1,713.0mmであり、月別降水量は7月が276.5mmで最も多く、1月が38.5mmで最も少なくなっている。

表 3.1.1 名古屋地方気象台における月別平均気温（令和2～令和6年）

単位：℃

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間 平均値
令和2年	7.6	7.1	10.7	13.4	20.6	24.6	25.4	30.3	25.4	18.0	14.0	7.4	17.0
令和3年	5.0	7.5	12.0	15.2	19.5	23.4	27.4	27.8	24.1	19.9	13.0	7.3	16.8
令和4年	4.1	4.5	11.0	16.8	19.5	24.3	27.5	28.5	26.1	18.7	14.6	6.6	16.9
令和5年	5.2	6.5	12.7	15.9	20.2	23.8	28.9	29.4	27.3	18.3	13.6	8.4	17.5
令和6年	6.0	8.1	9.0	17.5	19.7	23.8	29.4	30.2	28.2	21.6	14.6	7.0	17.9
平均値	5.6	6.7	11.1	15.8	19.9	24.0	27.7	29.2	26.2	19.3	14.0	7.3	17.2

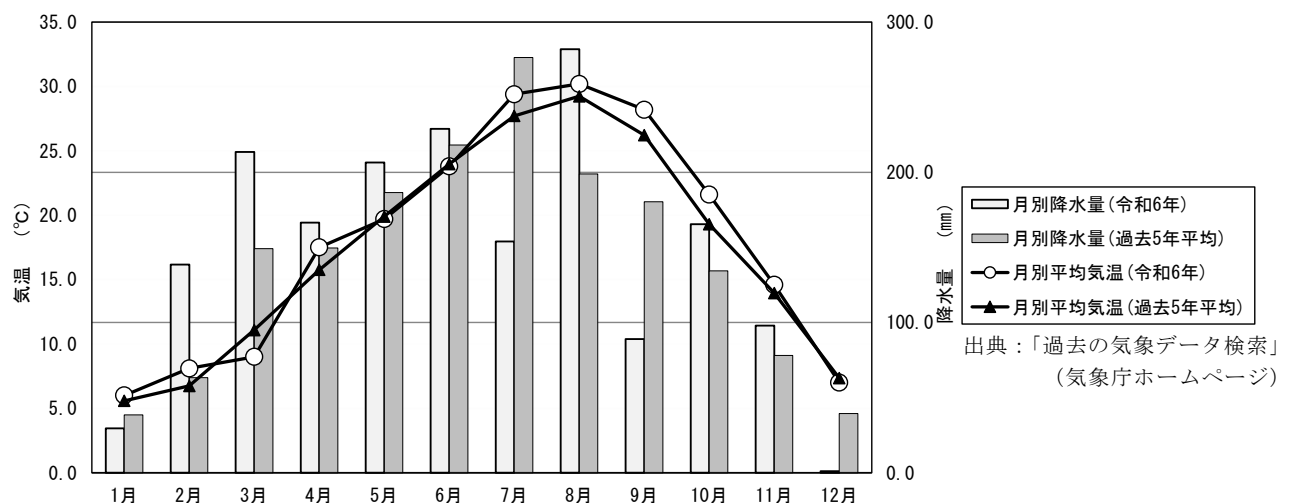
出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

表 3.1.2 名古屋地方気象台における月別降水量（令和2～令和6年）

単位：mm

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間 降水量
令和2年	55.5	53.5	149.5	111.0	135.0	230.0	405.5	13.0	230.5	269.0	36.5	22.0	1,711.0
令和3年	56.5	46.5	203.5	192.0	254.0	137.0	312.5	347.0	224.0	65.0	71.5	89.0	1,998.5
令和4年	26.0	34.0	84.5	134.5	164.0	117.5	366.5	196.0	260.0	56.0	114.0	25.0	1,578.0
令和5年	25.0	44.0	95.0	144.0	173.0	377.5	144.0	156.5	98.5	116.5	70.5	60.0	1,504.5
令和6年	29.5	138.5	213.5	166.5	206.5	229.0	154.0	282.0	89.0	165.5	98.0	1.0	1,773.0
平均値	38.5	63.3	149.2	149.6	186.5	218.2	276.5	198.9	180.4	134.4	78.1	39.4	1,713.0

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

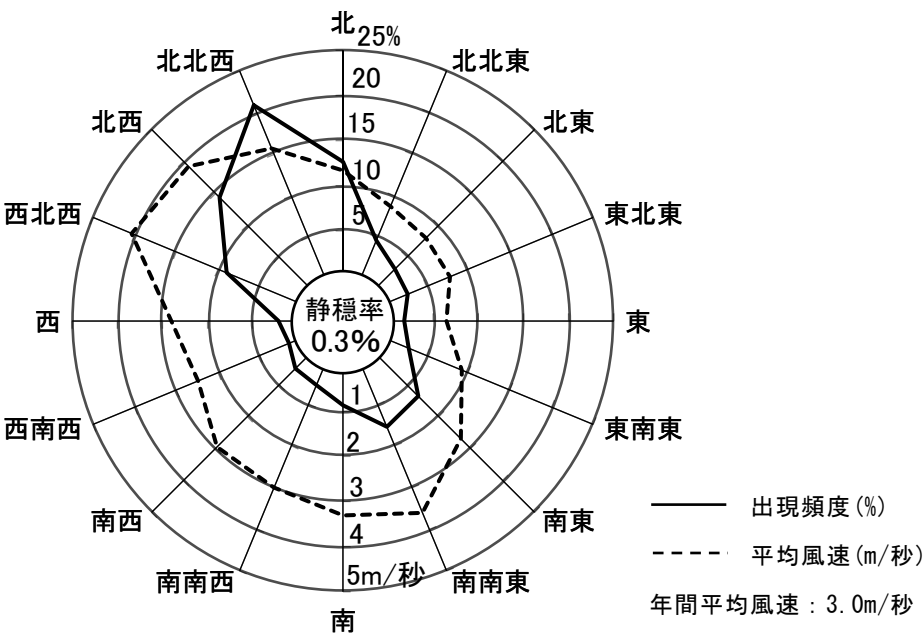
図 3.1.2 名古屋気象台における月別平均気温及び降水量（令和2～令和6年）

(2) 風向・風速

① 名古屋地方気象台

名古屋地方気象台における令和6年の風配図は、図3.1.3に示すとおりである。

令和6年の風配図をみると、風向出現頻度は北北西の風が20.9%と最も多く、年間平均風速は3.0m/秒となっている。



風向	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東
出現頻度（%）	12.6	4.7	3.1	2.8	1.8	2.9	6.8	7.7
平均風速（m/秒）	2.3	1.7	1.6	1.6	1.3	1.9	2.7	3.6
風向	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西
出現頻度（%）	4.3	2.7	2.4	1.5	2.2	9.0	14.4	20.9
平均風速（m/秒）	3.3	3.0	3.0	2.5	2.8	4.1	3.8	3.1

注）静穏：0.2m/秒以下。
出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

図 3.1.3 名古屋地方気象台における風向・風速及び出現頻度（令和6年）

(3) 日照時間

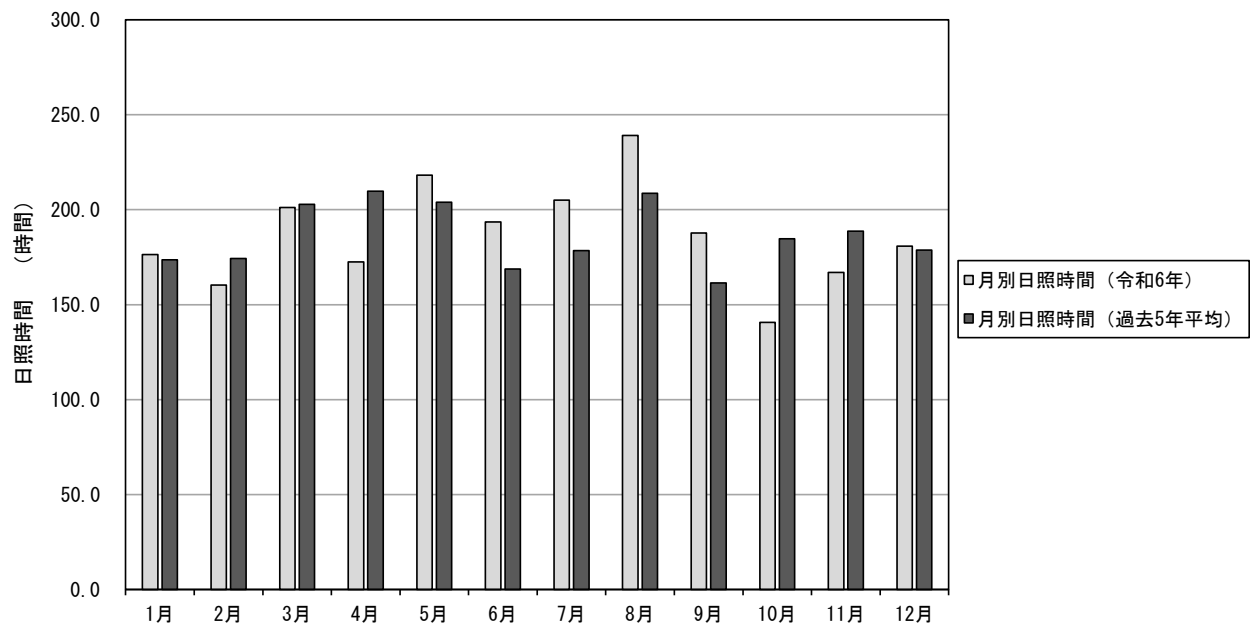
名古屋地方気象台における令和2～令和6年の月別日照時間は、表 3.1.3 及び図 3.1.4 に示すとおりである。

令和2～令和6年の5年平均値は、年間日照時間が2,234.2時間であり、月別日照時間は4月が209.8時間で最も長く、9月が161.5時間で最も短くなっている。

表 3.1.3 名古屋地方気象台における月別日照時間（令和2～令和6年）

単位：時間

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間日照時間
令和2年	146.6	184.2	201.1	254.9	213.6	164.2	78.2	265.5	148.5	178.2	202.5	178.3	2,215.8
令和3年	161.7	164.8	192.8	219.5	151.9	153.7	175.2	167.1	126.1	197.1	200.2	168.0	2,078.1
令和4年	196.8	170.9	205.3	200.2	210.5	203.8	192.8	155.5	163.8	189.8	191.7	175.2	2,256.3
令和5年	186.9	191.4	213.6	202.0	225.8	128.8	241.5	216.2	181.3	217.4	182.2	191.3	2,378.4
令和6年	176.4	160.3	201.2	172.5	218.2	193.6	205.0	239.1	187.7	140.7	167.0	180.8	2,242.5
平均値	173.7	174.3	202.8	209.8	204.0	168.8	178.5	208.7	161.5	184.6	188.7	178.7	2,234.2



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

図 3.1.4 名古屋地方気象台における月別日照時間（令和2～令和6年）

3.1.1.2 大気質

対象事業実施想定区域及びその周囲の大気質については、半径約3kmの範囲に大気汚染常時監視測定局が存在しないことから、対象範囲を広げ、図3.1.5に示す範囲に位置する大気汚染常時監視測定局4局（東郷町春木測定局、日進市五色園測定局、中部局（三軒町）、日進市上納池スポーツ公園測定局）における大気質の測定結果を用いて把握した。東郷町春木測定局、日進市五色園測定局及び中部局（三軒町）は一般局、日進市上納池スポーツ公園測定局は自動車排出ガス測定局である。常時監視測定項目は表3.1.4(1)に示すとおりである。

ダイオキシン類については表3.1.4(1)に示すとおり、東郷町春木測定局及び中部局（三軒町）で測定が実施されている。

有害大気汚染物質については、中部局（三軒町）で測定が行われている。

降下ばいじん量については、表3.1.4(2)に示すとおり、みよし市で測定が実施されている。

また、みよし市では毎年異なる地点で大気汚染調査が実施されており、対象範囲内の最新の調査は、令和4年度に表3.1.4(3)に示すとおり自動車排気ガス調査が行われている。

ダイオキシン類、降下ばいじん量及びみよし市の大気汚染調査の調査地点位置は図3.1.5に示すとおりである。

表 3.1.4(1) 各大気汚染常時監視測定局における常時監視測定項目（令和6年度）

種別	測定局	測定項目						対象事業実施 想定区域からの 距離
		二酸化 硫黄 (SO ₂)	二酸化 窒素 (NO ₂)	浮遊 粒子状 物質 (SPM)	光化学 オキシ ダント (Ox)	微小 粒子状 物質 (PM2.5)	ダイオキ シン類	
一般局	東郷町春木測定局	—	○	○	○	○	○	約4.0km
	日進市五色園測定局	○	○	○	○	—	—	約4.2km
	中部局（三軒町）	○	○	○	○	○	○	約6.2km
自排局	日進市上納池 スポーツ公園測定局	—	○	○	—	—	—	約6.2km

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）

「2024年度におけるダイオキシン類の環境調査及び事業者による測定の結果について」（愛知県ホームページ）

表 3.1.4(2) 降下ばいじん量測定地点（みよし市：令和5年度）

測定地点	降下ばいじん量
北部小学校	○
緑丘小学校	○

出典：「令和6(2024)年度みよしの環境【令和5(2023)年度実績】」（令和7年3月 みよし市）

表 3.1.4(3) 自動車排気ガス測定地点（みよし市：令和4年度）

測定地点	自動車排気ガス
愛知用水土地改良区事務所 (みよし市三好町上砂後地内)	○

調査期間：令和4年10月13日～11月2日

出典：「令和5(2023)年度みよしの環境【令和4(2022)年度実績】」（令和6年3月 みよし市）



図 3.1.5 大気汚染常時監視測定局等の位置

(1) 二酸化硫黄 (SO₂)

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局における二酸化硫黄の令和6年度の測定結果は表3.1.5に、過去5年間の経年変化は図3.1.6に示すとおりである。

令和6年度の測定結果をみると、すべての測定局で環境基準（短期的評価及び長期的評価）を達成している。

また、日平均値の2%除外値^{注)}の経年変化をみると、過去5年間に於いて環境基準を達成しており、年平均値は概ね横ばいとなっている。

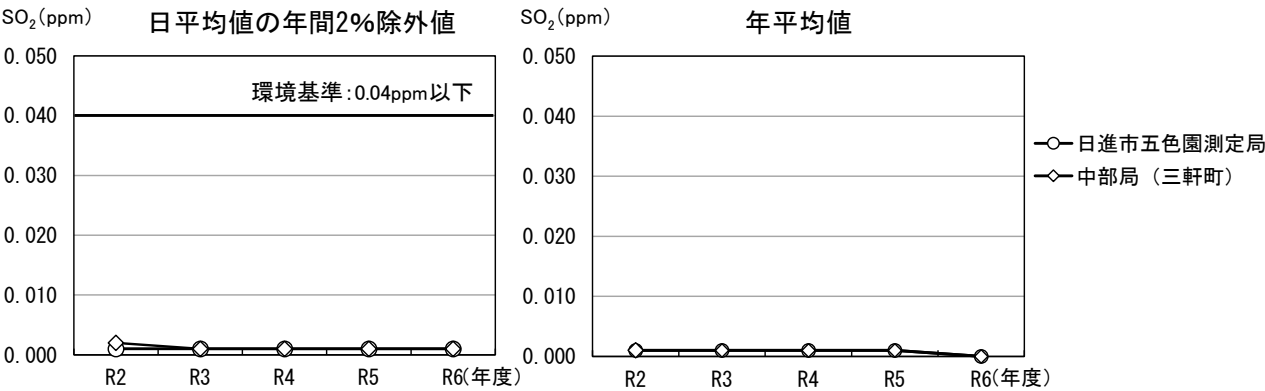
注) 1年間に測定されたすべての日平均値（欠測日を除く）を、1年間での最高値を第1番目として、値の高い方から低い方に順（降順）に並べたとき、高い方（最高値）から数えて2%分の日数に1を加えた番号に該当する日平均値。

表 3.1.5 二酸化硫黄の測定結果（令和6年度）

種別	測定局	年平均値	短期的評価				長期的評価		環境基準との比較 ^{注)}
			1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを連続して超えた日数とその割合		日平均値の2%除外値	1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	
		(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(有×・無○)	(達成○・非達成×)
一般局	日進市五色園測定局	0.000	0	0.0	0	0.0	0.001	○	○
	中部局（三軒町）	0.000	0	0.0	0	0.0	0.001	○	○

注) ○は長期的評価による環境基準（日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であり、かつ、日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続していないこと）達成局。

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.6 二酸化硫黄の経年変化

(2) 二酸化窒素 (NO₂)

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局における二酸化窒素の令和6年度の測定結果は表 3.1.6 に、過去5年間の経年変化は図 3.1.7 に示すとおりである。

令和6年度の測定結果をみると、すべての測定局で環境基準（長期的評価）を達成している。

また、日平均値の年間98%値^{注)}の経年変化をみると、過去5年間に於いてすべての測定局で環境基準を達成しており、年平均値は概ね横ばいとなっている。

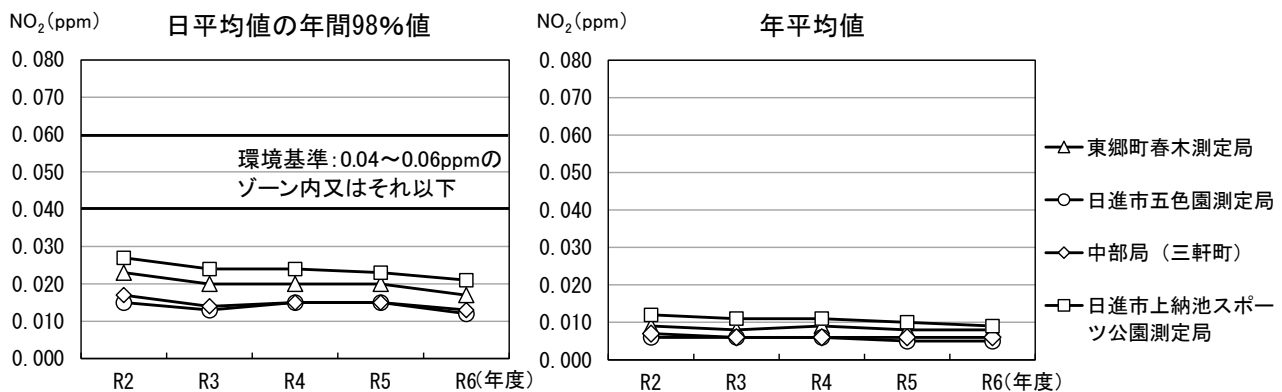
注) 1年間に測定されたすべての日平均値（欠測日を除く。）を、1年間での最低値を第1番目として、値の低い方から高い方に順（昇順）に並べたとき、低い方（最低値）から数えて98%目に該当する日平均値。

表 3.1.6 二酸化窒素の測定結果（令和6年度）

種別	測 定 局	年 平均値	環境基準との比較				1 時間値 の最高値	長期的評価	
			1 日平均値が 0.06ppm を 超えた日数とそ の割合		1 日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の 日数とその割合			日平均値の 年間98%値	環境基準 との 比較 ^{注)}
		(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(達成○・ 非達成×)
一般局	東郷町春木 測定局	0.008	0	0.0	0	0.0	0.047	0.017	○
	日進市五色園 測定局	0.005	0	0.0	0	0.0	0.045	0.012	○
	中部局（三軒町）	0.006	0	0.0	0	0.0	0.040	0.013	○
自排局	日進市上納池スポ ーツ公園測定局	0.009	0	0.0	0	0.0	0.045	0.021	○

注) ○は長期的評価による環境基準（日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であること。）達成局。

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.7 二酸化窒素の経年変化

(3) 浮遊粒子状物質（SPM）

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局における浮遊粒子状物質の令和6年度の測定結果は表 3.1.7 に、過去5年間の経年変化は図 3.1.8 に示すとおりである。

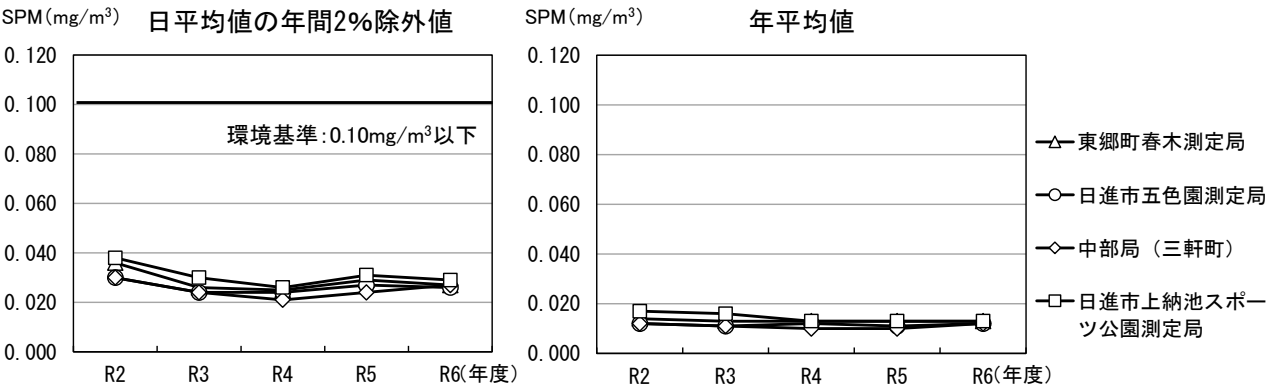
令和6年度の測定結果をみると、すべての測定局で環境基準（短期的評価及び長期的評価）を達成している。

また、日平均値の年間2%除外値の経年変化をみると、過去5年間に於いてすべての測定局で環境基準（長期的評価）を達成しており、年平均値は概ね横ばいとなっている。

表 3.1.7 浮遊粒子状物質の測定結果（令和6年度）

種別	測定局	年平均値	短期的評価					長期的評価		
			1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		環境基準との比較 ^{注1)}	日平均値の年間2%除外値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準との比較 ^{注2)}
		(mg/m ³)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(達成○・非達成×)	(mg/m ³)	(有×・無○)	(達成○・非達成×)
一般局	東郷町春木測定局	0.013	0	0.0	0	0.0	○	0.027	○	○
	日進市五色園測定局	0.012	0	0.0	0	0.0	○	0.026	○	○
	中部局(三軒町)	0.012	0	0.0	0	0.0	○	0.027	○	○
自排局	日進市上納池スポーツ公園測定局	0.013	0	0.0	0	0.0	○	0.029	○	○

注1) ○は短期的評価による環境基準（1時間値が0.20mg/m³以下で、かつ、1日平均値が0.10mg/m³以下であること。）達成局。
注2) ○は長期的評価による環境基準（日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下で、かつ、日平均値が0.10mg/m³を超えた日が2日以上連続していないこと。）達成局。
出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.8 浮遊粒子状物質の経年変化

(4) 光化学オキシダント (O_x)

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局における、光化学オキシダントの令和6年度の測定結果は表 3.1.8 に、過去5年間の経年変化は図 3.1.9 に示すとおりである。

令和6年度の光化学オキシダントの昼間の年平均値は0.034～0.037ppmである。また、昼間の1時間値の最高値をみると、すべての測定局において環境基準を達成していない。

また、経年変化をみると、過去5年間に於いて、昼間年平均値は概ね横ばいとなっており、昼間の1時間値の最高値は、すべての測定局で環境基準非達成の状況である。

なお、光化学オキシダントについて環境基準の達成状況が低いのは、当該地域特有ではなく全国的な傾向である。

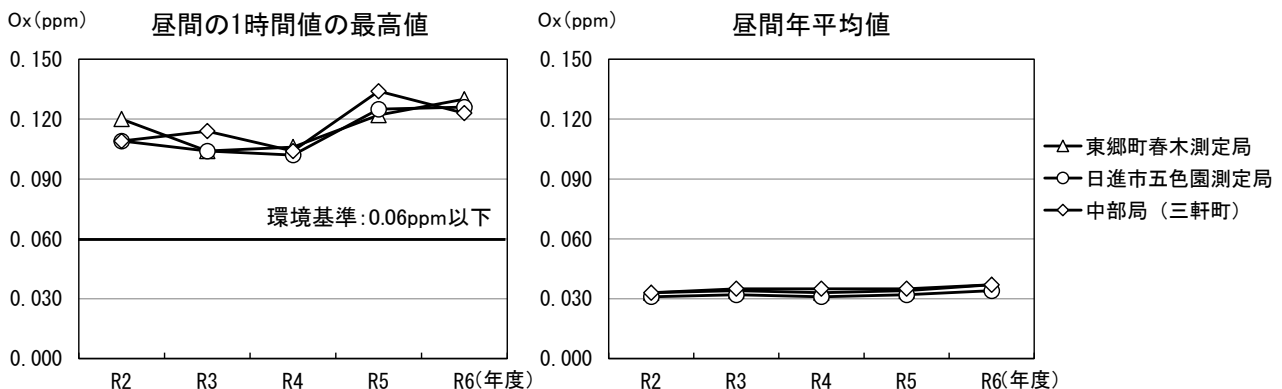
表 3.1.8 光化学オキシダントの測定結果（令和6年度）

種別	測 定 局	昼間 年平均値	短期的評価					昼間の 1 時間値の 最高値
			昼間 ^{注 1)} の 1 時間値が 0.06ppm を 超えた時間数及び日数とその割合			環 境 基 準 と の 比 較 ^{注 2)}		
		(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(達成○・非達成×)	(ppm)
一般局	東郷町春木 測定局	0.037	485	8.9	101	27.7	×	0.130
	日進市五色園 測定局	0.034	410	7.6	90	24.8	×	0.126
	中部局（三軒町）	0.037	598	11.1	119	32.6	×	0.123

注1) 昼間とは5時～20時を示す。

注2) ×は短期的評価による環境基準（1時間値が0.06ppm以下であること。）非達成局。

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.9 光化学オキシダントの経年変化

(5) 微小粒子状物質（PM2.5）

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局における微小粒子状物質の令和6年度の測定結果は表 3.1.9 に、過去5年間の年平均値の経年変化は図 3.1.10 に示すとおりである。

令和6年度の測定結果をみると、すべての測定局で環境基準（短期基準及び長期基準）を達成している。

また、年平均値の経年変化をみると、過去5年間に於いて環境基準（長期基準）を達成しており、概ね横ばいとなっている。

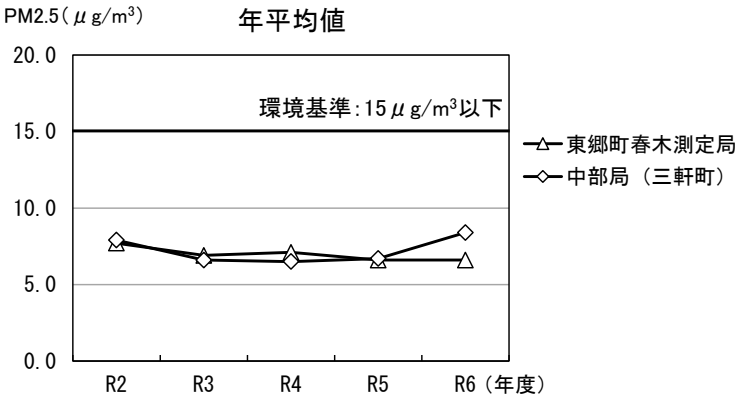
表 3.1.9 微小粒子状物質の測定結果（令和6年度）

種別	測定局	長期的評価					
		短期基準（1日平均値）			長期基準		
		1日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた 日数とその割合		1日平均値の 年間98%値	環境基準と の比較 ^{注1)}	年平均値	環境基準と の比較 ^{注2)}
		(日)	(%)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(達成○・ 非達成×)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(達成○・ 非達成×)
一般局	東郷町春木 測定局	1	0.3	17.8	○	6.6	○
	中部局（三 軒町）	1	0.3	19.1	○	8.4	○

注1) ○は短期基準による環境基準（1日平均値の年間98%値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。）達成局。

注2) ○は長期基準による環境基準（1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。）達成局。

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.10 微小粒子状物質（年平均値）の経年変化

(6) ダイオキシン類

対象事業実施想定区域及びその周囲におけるダイオキシン類の令和6年度の測定結果は表3.1.10に、過去5年間の年平均値の経年変化は図3.1.11に示すとおりである。

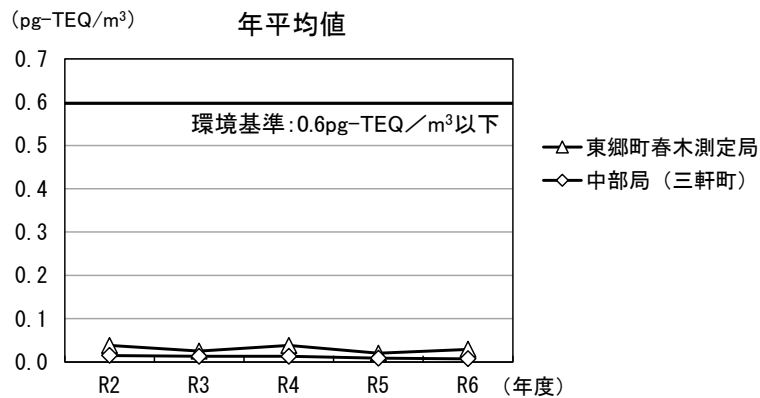
令和6年度の測定結果をみると、すべての測定局で環境基準を達成している。また、年平均値の経年変化をみると、過去5年間に於いて環境基準を達成しており、概ね横ばいとなっている。

表 3.1.10 ダイオキシン類の測定結果（令和6年度）

測定地点	測定結果 (pg-TEQ/m ³)					環境基準の 達成状況 ^{注)} (達成○・非達成×)
	春季	夏季	秋季	冬季	平均値	
東郷町春木測定局	0.011	0.034	0.052	0.018	0.029	○
中部局（三軒町）	0.0062	0.0040	0.012	0.0075	0.0074	○

注) ○は環境基準（年間平均値が0.6pg-TEQ/m³以下であること。）達成地点。

出典：「2024年度におけるダイオキシン類の環境調査及び事業者による測定の結果について」（愛知県ホームページ）



出典：「2020年度～2024年度におけるダイオキシン類の環境調査及び事業者による測定の結果について」（愛知県ホームページ）

図 3.1.11 ダイオキシン類（年平均値）の経年変化

(7) 有害大気汚染物質

① 環境基準の定められている物質

対象事業実施想定区域及びその周囲における有害大気汚染物質（環境基準設定物質）の令和5年度の測定結果は表 3.1.11 に、過去5年間の年平均値の経年変化は図 3.1.12 に示すとおりである。

令和5年度の測定結果をみると、いずれの項目も環境基準を達成している。また、年平均値の経年変化をみると、過去5年間に於いて環境基準を達成しており、概ね横ばいとなっている。

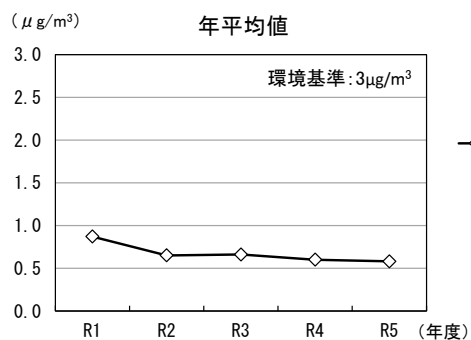
表 3.1.11 有害大気汚染物質（環境基準設定物質）の測定結果（令和5年度）

測定地点	測定項目	単位	年平均値	環境基準の 達成状況 ^{注)}
				(達成○・非達成×)
中部局（三軒町）	ベンゼン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.58	○
	トリクロロエチレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.050	○
	テトラクロロエチレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.023	○
	ジクロロメタン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.0	○

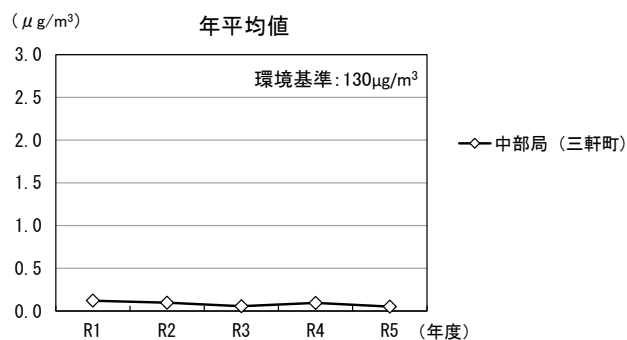
注) ○は環境基準達成地点。

- ・ベンゼン : 年平均値が $0.003\text{mg}/\text{m}^3$ ($3\mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下であること。
- ・トリクロロエチレン : 年平均値が $0.13\text{mg}/\text{m}^3$ ($130\mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下であること。
- ・テトラクロロエチレン : 年平均値が $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ ($200\mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下であること。
- ・ジクロロメタン : 年平均値が $0.15\text{mg}/\text{m}^3$ ($150\mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下であること。

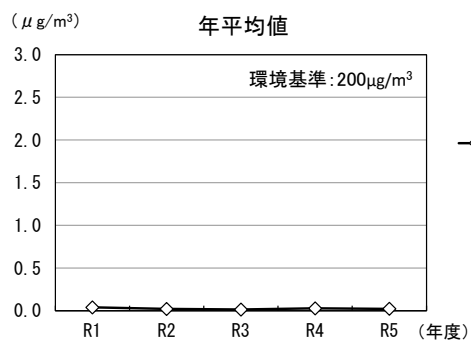
出典：「有害大気汚染物質等調査結果ダウンロード」（愛知県ホームページ）



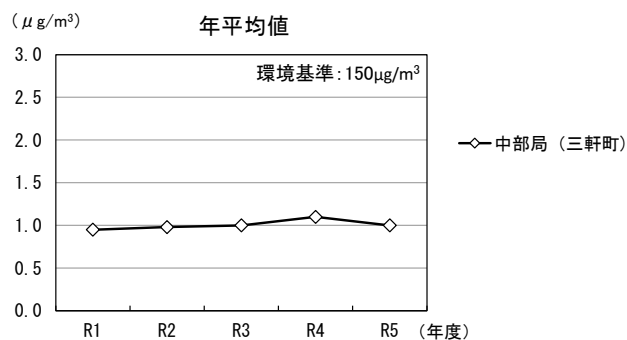
[ベンゼン]



[トリクロロエチレン]



[テトラクロロエチレン]



[ジクロロメタン]

図 3.1.12 有害大気汚染物質（環境基準設定物質、年平均値）の経年変化

② 指針値の定められている物質

対象事業実施想定区域及びその周囲における有害大気汚染物質（指針値設定物質）の令和5年度の測定結果は表 3.1.12 に示すとおりである。

令和5年度の測定結果をみると、いずれの項目も指針値を下回っている。

表 3.1.12 有害大気汚染物質（指針値設定物質）の測定結果（令和5年度）

測定地点	測定項目	単位	年平均値	指針値の 達成状況 ^{注)}
				(達成○・非達成×)
中部局（三軒町）	アクリロニトリル	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.018	○
	塩化ビニルモノマー	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.0050	○
	水銀及びその化合物	ngHg/m^3	1.7	○
	ニッケル化合物	ngNi/m^3	1.5	○
	クロロホルム	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.095	○
	1,2-ジクロロエタン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.11	○
	1,3-ブタジエン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.050	○
	ヒ素及びその化合物	ngAs/m^3	0.42	○
	マンガン及びその化合物	ngMn/m^3	9.8	○
	塩化メチル	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.4	○
	アセトアルデヒド	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.4	○

注) ○は指針値以下の地点。

指針値：環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（平成15年環管総発第030930004号通知、平成18年環水大総発第061220001号通知、平成22年環水大総発第1010150002号、環水大発第1010150004号通知、平成26年環水大総発第1405011号通知、令和2年環水大総発第2008201号通知）

- ・アクリロニトリル：年平均値が $2\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
- ・塩化ビニルモノマー：年平均値が $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
- ・水銀及びその化合物：年平均値が $0.04\mu\text{gHg}/\text{m}^3$ ($40\text{ngHg}/\text{m}^3$) 以下
- ・ニッケル化合物：年平均値が $0.025\mu\text{gNi}/\text{m}^3$ ($25\text{ngNi}/\text{m}^3$) 以下
- ・クロロホルム：年平均値が $18\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
- ・1,2-ジクロロエタン：年平均値が $1.6\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
- ・1,3-ブタジエン：年平均値が $2.5\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
- ・ヒ素及びその化合物：年平均値が $6\text{ngAs}/\text{m}^3$ 以下
- ・マンガン及びその化合物：年平均値が $140\text{ngMn}/\text{m}^3$ 以下
- ・塩化メチル：年平均値が $94\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
- ・アセトアルデヒド：年平均値が $120\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

出典：「有害大気汚染物質等調査結果ダウンロード」（愛知県ホームページ）

③ 環境基準及び指針値の定められていない物質

対象事業実施想定区域及びその周囲における有害大気汚染物質（環境基準及び指針値の定められていない物質）の令和5年度の測定結果は表 3.1.13 に示すとおりである。

表 3.1.13 有害大気汚染物質（環境基準及び指針値の定められていない物質）の測定結果（令和5年度）

測定地点	測定項目	単位	年平均値
中部局（三軒町）	ホルムアルデヒド	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.6
	酸化エチレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.053
	ベンゾ(a)ピレン	ng/m^3	0.033
	クロム及びその化合物	ngCr/m^3	1.5
	ベリリウム及びその化合物	ngBe/m^3	0.0070
	トルエン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	5.2

出典：「有害大気汚染物質等調査結果ダウンロード」（愛知県ホームページ）

(8) 降下ばいじん量

対象事業実施想定区域及びその周囲における降下ばいじん量の令和5年度の測定結果は表3.1.14に示すとおりである。

降下ばいじん量については環境基準が設定されていないが、 $5\text{ t/km}^2/\text{月}$ 以下が望ましいとされており、令和5年度の調査結果はいずれの月もこれを下回っている。

表 3.1.14 降下ばいじん量の測定結果（みよし市：令和5年度）

単位： $\text{t/km}^2/\text{月}$

測定地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
北部小学校	3.23	2.47	4.13	1.93	4.09	0.68	1.45	0.77	1.03	1.07	0.95	1.97	1.81
緑丘小学校	1.29	3.11	2.22	1.45	2.39	0.42	2.10	1.67	1.05	0.82	0.59	1.76	1.45

注）測定値は条件（測定場所、気象等）の影響を受けるため特に基準は設定されていないが、 $5\text{ t/km}^2/\text{月}$ 以下が望ましいとされている。

出典：「令和6(2024)年度みよしの環境【令和5(2023)年度実績】」（令和7年3月 みよし市）

(9) 自動車排気ガス

みよし市では毎年異なる地点で大気汚染調査が実施されており、対象範囲内の最新の調査は、令和4年度に自動車排気ガス調査が行われている。

測定結果は表3.1.15に示すとおりであり、いずれの項目も環境基準に適合する結果となっている。

表 3.1.15(1) 自動車排気ガス（浮遊粒子状物質）の測定結果（みよし市：令和4年度）

調査地点	測定日数	測定時間	期間平均値	環境基準との対比		1時間値の最高値	環境基準の適否
				日平均値が 0.1 mg/m^3 を 超えた日数	1時間値 0.2 mg/m^3 を 超えた回数		
				(日)	(回)	(mg/m^3)	
愛知用水 土地改良区 事務所	21	504	0.012	0	0	0.030	○

注）環境基準：1時間値の1日平均値が、 0.10 mg/m^3 以下であり、かつ、1時間値が 0.20 mg/m^3 以下であること。

(昭和48年環境庁告示第25号)

出典：「令和5(2023)年度みよしの環境【令和4(2022)年度実績】」（令和6年3月 みよし市）

表 3.1.15(2) 自動車排気ガス（二酸化窒素）の測定結果（みよし市：令和4年度）

調査地点	測定日数	測定時間	期間平均値	環境基準との対比		1時間値の最高値	環境基準の適否
				日平均値が 0.04 ppm 以上 0.06 ppm 以下 の日数	日平均値が 0.06 ppm を 超えた日数		
				(日)	(回)	(ppm)	
愛知用水 土地改良区 事務所	21	504	0.007	0	0	0.051	○

注）環境基準：1時間値の1日平均値が、 0.04 ppm から 0.06 ppm のゾーン内又はそれ以下であること。

(昭和53年環境庁告示第38号)

出典：「令和5(2023)年度みよしの環境【令和4(2022)年度実績】」（令和6年3月 みよし市）

表 3.1.15(3) 自動車排気ガス（二酸化硫黄）の測定結果（みよし市：令和4年度）

調査地点	測定日数	測定時間	期間平均値	環境基準との対比		1時間値の 最高値	環境基準 の適否
				日平均値が 0.04ppmを 超えた日数	1時間値が 0.1ppmを 超えた回数		
	(日)	(時間)	(ppm)	(日)	(回)	(ppm)	適：○ 否：×
愛知用水 土地改良区 事務所	21	504	0.001	0	0	0.005	○

注）環境基準：1時間値の1日平均値が、0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

(昭和48年環境庁告示第25号)

出典：「令和5(2023)年度みよしの環境【令和4(2022)年度実績】」（令和6年3月 みよし市）

表 3.1.15(4) 自動車排気ガス（光化学オキシダント）の測定結果（みよし市：令和4年度）

調査地点	測定日数	測定時間	期間平均値	環境基準との対比	1時間値の 最高値	環境基準 の適否
				1時間値が0.06ppmを 超えた回数		
	(日)	(時間)	(ppm)	(回)	(ppm)	適：○ 否：×
愛知用水 土地改良区 事務所	21	504	0.021	0	0.060	○

注）環境基準：1時間値が0.06ppm以下であること。（昭和48年環境庁告示第25号）

出典：「令和5(2023)年度みよしの環境【令和4(2022)年度実績】」（令和6年3月 みよし市）

3.1.2 騒音等に係る環境の状況

3.1.2.1 低周波音

対象事業実施想定区域及びその周囲において、低周波音に係る調査は実施されていない。

3.1.2.2 環境騒音

対象事業実施想定区域及びその周囲における環境騒音の調査が、みよし市において実施されている。令和5年度の調査結果は表 3.1.16 に、調査地点は図 3.1.13 に示すとおりである。いずれの地点も、環境基準値以下となっている。

表 3.1.16 環境騒音調査結果（令和5年度）

単位：デシベル

番号	測定地点	類型	測定日	環境基準		測定結果		適否
				時間帯	L _{Aeq}	時間帯	L _{Aeq}	
1	みどり保育園 三好丘桜四丁目 11 番地 1 第 1 種低層住居専用地域	A	2 月 8 日 ～ 2 月 9 日	昼間	55	昼間	53	○
				夜間	45	夜間	41	○
2	三好丘小学校 三好丘七丁目 1 番地 第 1 種中高層住居専用地域	A	2 月 7 日 ～ 2 月 8 日	昼間	55	昼間	49	○
				夜間	45	夜間	43	○
3	黒笹公園※ 黒笹いずみ三丁目 第 1 種中高層住居専用地域	A	2 月 26 日 ～ 2 月 27 日	昼間	60	昼間	57	○
				夜間	55	夜間	47	○
4	みよし市役所 三好町小坂 50 番地 近隣商業地域	C	2 月 13 日 ～ 2 月 14 日	昼間	60	昼間	50	○
				夜間	50	夜間	47	○
5	森曾公園 三好町井ノ口 工業地域	C	2 月 19 日 ～ 2 月 20 日	昼間	60	昼間	55	○
				夜間	50	夜間	49	○
6	みよし消防署 福谷町才戸 50 番地 市街化調整区域	B	2 月 27 日 ～ 2 月 28 日	昼間	55	昼間	52	○
				夜間	45	夜間	38	○
7	教育センター「学びの森」 三好町仲ヶ山 43 番地 11 市街化調整区域	B	2 月 15 日 ～ 2 月 16 日	昼間	55	昼間	47	○
				夜間	45	夜間	41	○

注 1) 「※」は 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域

注 2) 時間帯 昼間：6 時から 22 時まで 夜間：22 時から翌日 6 時まで

注 3) 表中の番号は、図 3.1.13 の番号に対応する。

出典：「令和 6(2024)年度みよしの環境【令和 5(2023)年度実績】」（令和 7 年 3 月 みよし市）

3.1.2.3 道路交通騒音

対象事業実施想定区域及びその周囲における令和5年度の道路交通騒音の調査結果は表3.1.17及び表3.1.18に示すとおりである。また、調査地点が明らかになっている地点について調査地点位置は図3.1.13に示すとおりである。

環境基準の達成状況調査については、東名高速道路、一般国道153号、一般国道155号、県道豊田知立線、県道名古屋岡崎線、県道瀬戸大府東海線、県道主要地方道名古屋豊田線、県道合豊田線、県道米野木苜生線、県道駕鴨みよし線、県道みよし杣掛線、県道豊田東郷線及び豊田市道保見浄水線では、環境基準を達成していない住戸のある区間がある。

要請限度調査については、1地点で調査が行われており、昼夜ともに要請限度以下となっている。

表 3.1.17(1) 道路交通騒音調査結果（環境基準の達成状況）（令和5年度）

番号	道路名	調査地点	評価区間			騒音レベル (L_{Aeq}) (デシベル)		環境基準達成戸数 (戸)			調査 区間 内全 戸数 (戸)	環境基準達成率		
			起点	終点	区間 延長 (km)	昼間	夜間	昼間	夜間	昼夜		昼間	夜間	昼夜
1	東名高速道路	豊田市 聖心町	豊田市 美山町	豊田市 千足町	2.1	68	66	159	159	159	159	100.0%	100.0%	100.0%
2		みよし市 打越町	みよし市 打越町	みよし市 福谷町	2.9	56	54	127	121	121	127	100.0%	95.3%	95.3%
3		みよし市 打越町	みよし市 福谷町	みよし市 黒笹町	1.8	56	54	65	65	65	65	100.0%	100.0%	100.0%
4	一般国道 153号	豊田市 小川町	豊田市 千足町	豊田市 本新町	1	71	68	56	56	56	56	100.0%	100.0%	100.0%
5		みよし市 三好町	みよし市 三好町	みよし市 三好町	1	66	61	114	114	114	114	100.0%	100.0%	100.0%
6		みよし市 三好町	みよし市 三好町	みよし市 打越町	2.1	66	61	486	485	485	486	100.0%	99.8%	99.8%
7		愛知郡東 郷町北山 台5丁目	愛知郡東 郷町大字 和合	愛知郡東 郷町大字 諸輪	1.9	66	61	214	213	213	219	97.7%	97.3%	97.3%
8	一般国道 155号	豊田市 日南町	豊田市 保見町	豊田市 栄町	6.5	66	62	587	587	587	588	99.8%	99.8%	99.8%
9	県道豊田 知立線	みよし市 苜生町	みよし市 福谷町	みよし市 福谷町	1.2	68	64	82	82	82	82	100.0%	100.0%	100.0%
10		みよし市 苜生町	みよし市 福谷町	みよし市 苜生町	3.4	68	64	233	229	229	233	100.0%	98.3%	98.3%
11		みよし市 三好町	みよし市 苜生町	みよし市 三好町	2.4	67	62	437	437	437	437	100.0%	100.0%	100.0%
12		みよし市 福田町	みよし市 三好町	みよし市 三好町	1.9	69	67	222	196	196	224	99.1%	87.5%	87.5%
13		みよし市 福田町	みよし市 三好町	みよし市 福田町	1.3	69	67	68	62	62	68	100.0%	91.2%	91.2%
14		みよし市 根浦町	みよし市 苜生町	みよし市 根浦町	0.9	68	63	175	175	175	175	100.0%	100.0%	100.0%
15		みよし市 根浦町	みよし市 根浦町	みよし市 根浦町	0.2	64	60	114	114	114	114	100.0%	100.0%	100.0%
16		みよし市 福田町	みよし市 三好町	みよし市 三好町	0.7	69	67	36	35	35	36	100.0%	97.2%	97.2%
17	県道名古屋岡崎線	愛知郡東 郷町三ツ 池2丁目	愛知郡東 郷町大字 春木	愛知郡東 郷町大字 諸輪	3.2	68	65	527	518	518	533	98.9%	97.2%	97.2%
18	県道瀬戸 大府東海 線	日進市 竹の山	日進市 岩崎町	日進市 蟹甲町	3.8	71	63	482	484	482	484	99.6%	100.0%	99.6%
19		愛知郡東 郷町大字 和合北蚊 谷	愛知郡東 郷町白鳥	愛知郡東 郷町大字 春木	3.6	71	67	551	547	547	562	98.0%	97.3%	97.3%

注) 昼間：6時から22時まで 夜間：22時から翌日6時まで

出典：「2023年度 交通騒音・振動調査結果資料集」（令和6年9月 愛知県）

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

表 3.1.17(2) 道路交通騒音調査結果（環境基準の達成状況）（令和5年度）

番号	道路名	調査地点	評価区間			騒音レベル (L_{Aeq}) (デシベル)		環境基準達成戸数 (戸)			調査 区間 内全 戸数 (戸)	環境基準達成率		
			起点	終点	区間 延長 (km)	昼間	夜間	昼間	夜間	昼夜		昼間	夜間	昼夜
20	県道主要 地方道 名古屋 豊田線	豊田市 保見町	豊田市 保見町	豊田市 平戸橋町	6.6	70	64	1220	1220	1219	1225	99.6%	99.6%	99.5%
21	県道田 名古屋線	豊田市 田町	豊田市 田町	豊田市 八草町	1.3	68	62	3	3	3	3	100.0%	100.0%	100.0%
22	県道合 豊田線	みよし市 三好町	みよし市 西一色町	みよし市 打越町	4.6	64	59	609	609	609	679	89.7%	89.7%	89.7%
23		みよし市 黒笹町	みよし市 黒笹町	みよし市 福谷町	1.6	69	62	73	75	73	76	96.1%	98.7%	96.1%
24	県道米 木助生線	みよし市 黒笹町	みよし市 福谷町	みよし市 福谷町	0.8	69	62	45	45	45	45	100.0%	100.0%	100.0%
25		みよし市 助生町	みよし市 福谷町	みよし市 助生町	1	66	62	64	62	62	65	98.5%	95.4%	95.4%
26	県道鴛 みよし線	みよし市 打越町	みよし市 打越町	みよし市 打越町	2.8	65	61	108	108	108	109	99.1%	99.1%	99.1%
27	県道み し沓掛線	みよし市 明知町	みよし市 東山台	みよし市 明知町	3.2	68	64	213	211	211	217	98.2%	97.2%	97.2%
28		豊田市 高崎町	豊田市 宮上町	豊田市 北ノ脇	1.9	68	63	138	138	138	138	100.0%	100.0%	100.0%
29	県道豊 田東郷線	みよし市 三好町	みよし市 打越町	みよし市 三好町	2.8	68	65	162	151	151	162	100.0%	93.2%	93.2%
30		愛知郡東 郷町大字 諸輪字下 市	愛知郡東 郷町大字 諸輪	愛知郡東 郷町大字 諸輪	1.6	72	69	42	36	36	53	79.2%	67.9%	67.9%
31	市道原 山線	豊田市 浄水町	豊田市 大清水町	豊田市 浄水町	1.9	68	61	695	695	695	695	100.0%	100.0%	100.0%
32		豊田市 保見町	豊田市 浄水町	豊田市 浄水町	1.6	67	64	207	207	207	207	100.0%	100.0%	100.0%
33	市道保 見浄水線	豊田市 保見町	豊田市 保見町	豊田市 東保見町	0.7	67	64	63	63	63	63	100.0%	100.0%	100.0%
34		豊田市 保見町	豊田市 東保見町	豊田市 東保見町	2.3	67	64	1144	1132	1132	1191	96.1%	95.0%	95.0%

注) 昼間：6時から22時まで 夜間：22時から翌日6時まで

出典：「2023年度 交通騒音・振動調査結果資料集」（令和6年9月 愛知県）

表 3.1.18 道路交通騒音調査結果（要請限度）（令和5年度）

番号	道路名	測定地点	測定日	等価騒音レベル (デシベル)	
				昼間	夜間
1	県道豊田東郷線	愛知郡東郷町諸輪字下市	11/10～11/16	72	69

注1) 昼間：6時から22時まで 夜間：22時から翌日6時まで

注2) 表中の番号は、図 3.1.13 の番号に対応する。

出典：「2023年度 交通騒音・振動調査結果資料集」（令和6年9月 愛知県）

3.1.3 振動に係る環境の状況

対象事業実施想定区域及びその周囲における道路交通振動の調査結果は表 3.1.19 に、調査地点は図 3.1.13 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲では1地点で調査されており、昼夜ともに要請限度以下である。また、人が振動を感じ始める値である振動感覚閾値（55 デシベル）を下回っている。

表 3.1.19 道路交通振動調査結果（令和5年度）

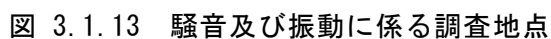
番号	道路名	測定地点	測定日	振動レベル（L ₁₀ ） （デシベル）	
				昼間	夜間
1	県道豊田東郷線	愛知郡東郷町諸輪字下市	11/13～11/14	40	34

注1) 昼間：6時から22時まで 夜間：22時から翌日6時まで

注2) 表中の番号は、図 3.1.13 の番号に対応する。

出典：「2023年度 交通騒音・振動調査結果資料集」（令和6年9月 愛知県）

3.1 自然的狀況



3.1.4 悪臭に係る環境の状況

対象事業実施想定区域及びその周囲において、悪臭に係る調査は実施されていない。

3.1.5 水象、水質、水底の底質その他の水に係る環境の状況

3.1.5.1 水象

対象事業実施想定区域及びその周囲における主要な河川・用水路等の分布状況は、図 3.1.14 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲の河川としては、対象事業実施想定区域の東側に境川水系の二級河川である小石川が流れているほか、東側から南側にかけて境川やその支流が流れている。また、西側には愛知池が存在している。

3.1.5.2 水質

対象事業実施想定区域及びその周囲における令和5年度の河川の水質の調査結果は表 3.1.20～表 3.1.22 に、ため池の水質調査結果は表 3.1.23 及び表 3.1.24 に、調査地点は図 3.1.14 に示すとおりである。

河川における環境基準の適合状況をみると、類型指定されている調査地点のうち、天白川（米野木橋）、境川（源流付近）、境川（打上橋下流）、砂後川（平池地内）、逢妻女川（野末橋）については、すべての項目で環境基準に適合している。小石川（落合橋下流）ではBODとSSが、境川（西一色地内）ではSSが適合していない。

なお、対象事業実施想定区域及びその周囲において、ダイオキシン類に係る調査は行われていない。

表 3.1.20 河川の水質調査結果（日進市：令和5年度）

項目	1		2		3		環境基準 【C 類型】
	測定河川	天白川	測定河川	岩崎川	測定河川	三本木川	
	測定地点	米野木橋	測定地点	金剛橋	測定地点	月花橋	
	類型	C	類型	—	類型	—	
pH	7.3		7.3		7.1		6.5 以上 8.5 以下
BOD (mg/L)	2.2		1.9		3.7		5 以下
COD (mg/L)	4.0		2.1		3.4		—
SS (mg/L)	5		2		2		50 以下
DO (mg/L)	9.7		9.9		9.7		5 以上
大腸菌数 (CFU/100mL)	200		210		490		—
ノルマルヘキササン抽出物質 (mg/L)	<0.5		<0.5		<0.5		—
全窒素 (mg/L)	2.8		0.69		2.1		—
全りん (mg/L)	0.24		0.033		0.23		—
電気伝導率 (mS/m)	17		9.4		11		—
塩化物イオン (mg/L)	17		5.2		10		—
陰イオン界面活性剤 (mg/L)	0.04		0.01		0.03		—
水温 (℃)	18.6		20.2		19.6		—

注 1) 環境基本法に基づく「生活環境の保全に関する基準（河川）」における水域類型の指定について、天白川のみ C 類型に指定されている。

注 2) BOD は測定結果の 75% 水質値※、その他の項目は年間平均値。
※BOD 水質値とは、全データを小さいほうから順に並べ 0.75×n 番目のデータのことをいう。BOD の評価については BOD75% 水質値を用いる。

注 3) 表中の番号は、図 3.1.14 の番号に対応する。

出典：「令和 6 年度版日進市環境基本計画年次報告書」（令和 6 年 10 月 日進市）

表 3.1.21(1) 河川の水質調査結果（みよし市：令和5年度）

番号	4				5				環境基準 【B 類型】
測定河川	境川				小石川				
測定地点	源流付近				落合橋下流				
類型	B				B				
項目	最大値	最小値	平均値	適合状況	最大値	最小値	平均値	適合状況	
pH	7.0	6.8	6.9	○	7.6	6.8	7.3	○	6.5 以上 8.5 以下
DO (mg/L)	14	6.7	9.7	○	11	8.6	10	○	5 以上
BOD (mg/L)	1.6	0.5 未満	1.0	○	7.9	0.5 未満	2.3	×	3 以下
SS (mg/L)	12	2	5	○	42	1 未満	15	×	25 以下
大腸菌数 (CFU/100mL)	82	10	31	○	100	14	44	○	1,000 以下
全窒素 (mg/L)	0.65	0.29	0.51		1.6	0.55	0.81		—
全磷 (mg/L)	0.190	0.014	0.089		0.28	0.012	0.085		—
塩化物イオン (mg/L)	26	7.4	13.7		15	7.2	9.5		—

注) 表中の番号は、図 3.1.14 の番号に対応する。

出典：「令和 6(2024)年度みよしの環境【令和 5(2023)年度実績】」（令和 7 年 3 月 みよし市）

表 3.1.21(2) 河川の水質調査結果（みよし市：令和5年度）

番号	6				7				環境基準 【B 類型】
測定河川	境川				砂後川				
測定地点	打上橋下流				平池地内				
類型	B				B				
項目	最大値	最小値	平均値	適合状況	最大値	最小値	平均値	適合状況	
pH	7.6	7.3	7.5	○	7.8	7.3	7.5	○	6.5 以上 8.5 以下
DO (mg/L)	11	9.1	10	○	11	7.6	9.2	○	5 以上
BOD (mg/L)	2.2	0.5 未満	1.3	○	2.0	0.7	1.4	○	3 以下
SS (mg/L)	5	2	4	○	15	2	7	○	25 以下
大腸菌数 (CFU/100mL)	150	30	67	○	680	75	278	○	1,000 以下
全窒素 (mg/L)	1.8	0.88	1.3	/	2.1	0.8	1.6	/	－
全磷 (mg/L)	0.28	0.069	0.12		0.33	0.110	0.19		－
塩化物イオン (mg/L)	20	7.8	12		19	3.4	11		－

注）表中の番号は、図 3.1.14 の番号に対応する。

出典：「令和 6(2024)年度みよしの環境【令和 5(2023)年度実績】」（令和 7 年 3 月 みよし市）

表 3.1.21(3) 河川の水質調査結果（みよし市：令和5年度）

番号	8				環境基準 【B 類型】
測定河川	境川				
測定地点	西一色地内				
類型	B				
項目	最大値	最小値	平均値	適合状況	
pH	7.8	7.5	7.6	○	6.5 以上 8.5 以下
DO (mg/L)	12	7.9	10	○	5 以上
BOD (mg/L)	1.7	0.6	1.3	○	3 以下
SS (mg/L)	27	3	8	×	25 以下
大腸菌数 (CFU/100mL)	170	28	77	○	1,000 以下
全窒素 (mg/L)	2.1	1.2	1.7	/	—
全磷 (mg/L)	0.28	0.08	0.14		—
塩化物イオン (mg/L)	35	4.5	18		—

注）表中の番号は、図 3.1.14 の番号に対応する。

出典：「令和 6(2024)年度みよしの環境【令和 5(2023)年度実績】」（令和 7 年 3 月 みよし市）

表 3.1.22(1) 河川の水質調査結果（豊田市：令和6年度）

項 目		測定地点名	9		環境基準 【C類型、生物B】
			逢妻女川		
			野末橋		
			類型	C、生物B	
生活環境項目	pH		7.6		6.5 以上 8.5 以下
	D0	(mg/L)	10		5 以上
	BOD	(mg/L)	2.3		5 以下
	COD	(mg/L)	6.0		－
	SS	(mg/L)	4		50 以下
	大腸菌数	(CFU/100mL)	－		－
	n-ヘキサン抽出物質	(mg/L)	<0.5		－
	全窒素	(mg/L)	2.5		－
	全燐	(mg/L)	0.18		－
	全亜鉛	(mg/L)	0.009		0.03 以下
	ノニルフェノール	(mg/L)	<0.00006		0.002 以下
	LAS	(mg/L)	0.0065		0.05 以下
健康項目	カドミウム	(mg/L)	<0.0005		0.003 以下
	全シアン	(mg/L)	<0.1		検出されないこと
	鉛	(mg/L)	<0.005		0.01 以下
	六価クロム	(mg/L)	<0.01		0.02 以下
	砒素	(mg/L)	<0.005		0.01 以下
	総水銀	(mg/L)	<0.0005		0.0005 以下
	アルキル水銀	(mg/L)	－		検出されないこと
	PCB	(mg/L)	－		検出されないこと
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002		0.02 以下
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002		0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004		0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.01		0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004		0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.1		1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006		0.006 以下
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.001		0.01 以下
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005		0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002		0.002 以下
	チウラム	(mg/L)	<0.0006		0.006 以下
	シマジン	(mg/L)	<0.0003		0.003 以下
	チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002		0.02 以下
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001		0.01 以下
	セレン	(mg/L)	<0.002		0.01 以下
	硝酸性・亜硝酸性窒素	(mg/L)	2.1		10 以下
	ふっ素	(mg/L)	0.08		0.8 以下
	ほう素	(mg/L)	<0.02		1 以下
	1,4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005		0.05 以下

注1) 表中の値は年平均値を示す。

注2) 「—」は調査を行っていない、又は環境基準が設定されていないことを示す。

注3) 表中の番号は、図 3.1.14 の番号に対応する。

出典：「令和7年版 環境調査報告書」（令和7年6月 豊田市）

表 3.1.22(2) 河川の水質調査結果（豊田市：令和6年度、続き）

項 目		測定地点名	9		環境基準・指針値 【C類型、生物B】
			逢妻女川		
			野末橋		
			類型	C、生物B	
要監視項目（人）	クロロホルム	(mg/L)	—		0.06 以下
	トランス-1,2-ジクロエチレン	(mg/L)	—		0.04 以下
	1,2-ジクロロプロパン	(mg/L)	—		0.06 以下
	イソキサチオン	(mg/L)	—		0.008 以下
	ダイアジノン	(mg/L)	—		0.005 以下
	フェニトロチオン	(mg/L)	—		0.003 以下
	イソプロチオラン	(mg/L)	—		0.04 以下
	オキシシン銅	(mg/L)	—		0.04 以下
	クロロタロニル	(mg/L)	—		0.05 以下
	プロピザミド	(mg/L)	—		0.008 以下
	EPN	(mg/L)	—		0.006 以下
	ジクロロボス	(mg/L)	—		0.008 以下
	フェノブカルブ	(mg/L)	—		0.03 以下
	イプロベンホス	(mg/L)	—		0.008 以下
	クロルニトロフェン	(mg/L)	—		—
	トルエン	(mg/L)	—		0.6 以下
	キシレン	(mg/L)	—		0.4 以下
	フタル酸ジエチルヘキシル	(mg/L)	—		0.06 以下
	ニッケル	(mg/L)	0.001		—
	モリブデン	(mg/L)	—		0.07 以下
	アンチモン	(mg/L)	—		0.02 以下
	塩化ビニルモノマー	(mg/L)	—		0.002 以下
	エピクロロヒドリン	(mg/L)	—		0.0004 以下
	全マンガン	(mg/L)	—		0.2 以下
	ウラン	(mg/L)	—		0.002 以下
	PFOS及びPFOA	(mg/L)	0.000012		0.00005 以下（暫定）
PFOS	(mg/L)	0.000005		—	
PFOS（直鎖体）	(mg/L)	0.000002		—	
PFOA	(mg/L)	0.000007		—	
PFOA（直鎖体）	(mg/L)	0.000007		—	
監視項目（生物）	ホルムアルデヒド	(mg/L)	—		1 以下
	フェノール	(mg/L)	—		0.08 以下
	4-tオクチルフェノール	(mg/L)	<0.00004		0.004以下
	アニリン	(mg/L)	<0.002		0.02以下
	2,4-ジクロロフェノール	(mg/L)	<0.0003		0.03以下
特殊項目	フェノール類	(mg/L)	<0.01		—
	銅	(mg/L)	<0.01		—
	鉄（溶解性）	(mg/L)	0.19		—
	マンガン（溶解性）	(mg/L)	<0.01		—
	クロム	(mg/L)	<0.01		—
その他項目	電気伝導率	(mS/m)	21		—
	塩化物イオン	(mg/L)	15		—

注1) 表中の値は年平均値を示す。

注2) 「—」は調査を行っていない、又は環境基準が設定されていないことを示す。

注3) 表中の番号は、図 3.1.14 の番号に対応する。

出典：「令和7年版 環境調査報告書」（令和7年6月 豊田市）

表 3.1.23 ため池の水質調査結果（日進市：令和5年度）

項目	1		2		3		4	
	測定地点	三ヶ峯下池	測定地点	岩藤新池	測定地点	鶴思慕池	測定地点	機織池
pH	6.8		6.7		5.4		8.3	
COD (mg/L)	3.7		2.6		1.2		3.0	
SS (mg/L)	3		2		2		<1	
DO (mg/L)	8.9		8		8.3		10	
全窒素 (mg/L)	0.44		0.26		0.12		0.35	
全りん (mg/L)	0.037		0.009		0.012		0.009	
電気伝導率 (mS/m)	4.2		3.6		1.6		7.5	

注) 表中の番号は、図 3.1.14 の番号に対応する。

出典：「令和6年度版日進市環境基本計画年次報告書」（令和6年10月 日進市）

表 3.1.24 ため池の水質調査結果（みよし市：令和5年度）

項目	5		6		7		8		9	
	測定地点	大坂池	測定地点	四ッ池	測定地点	新池	測定地点	百々池	測定地点	三好池
pH	7.0		7.75		7.05		7.35		7.3	
DO (mg/L)	9.35		11.35		8.6		11.5		11.45	
BOD (mg/L)	2.65		1.6		4.4		2		1.45	
COD (mg/L)	7.35		3.2		8.4		4.9		3.9	
SS (mg/L)	4.5		4.5		21		10.5		5.5	
大腸菌数 (CFU/100mL)	31.5		1.5		7		4		24	
全窒素 (mg/L)	0.605		0.305		0.71		0.265		0.265	
全リン (mg/L)	0.040		0.0115		0.066		0.0545		0.028	
銅 (mg/L)	0.01 未満		0.01 未満		0.01 未満		0.01 未満		0.01 未満	
亜鉛 (mg/L)	0.01 未満		0.01		0.01		0.035		0.02	
カドミウム (mg/L)	0.0003 未満		0.0003 未満		0.0003 未満		0.0003 未満		0.0003 未満	
総水銀 (mg/L)	0.0005 未満		0.0005 未満		0.0005 未満		0.0005 未満		0.0005 未満	
塩化物イオン (mg/L)	4.65		4.35		8.05		3.7		4.25	

注1) 表中の値は年2回実施された測定値の平均値である。

注2) 表中の番号は、図 3.1.14 の番号に対応する。

出典：「令和6(2024)年度みよしの環境【令和5(2023)年度実績】」（令和7年3月 みよし市）

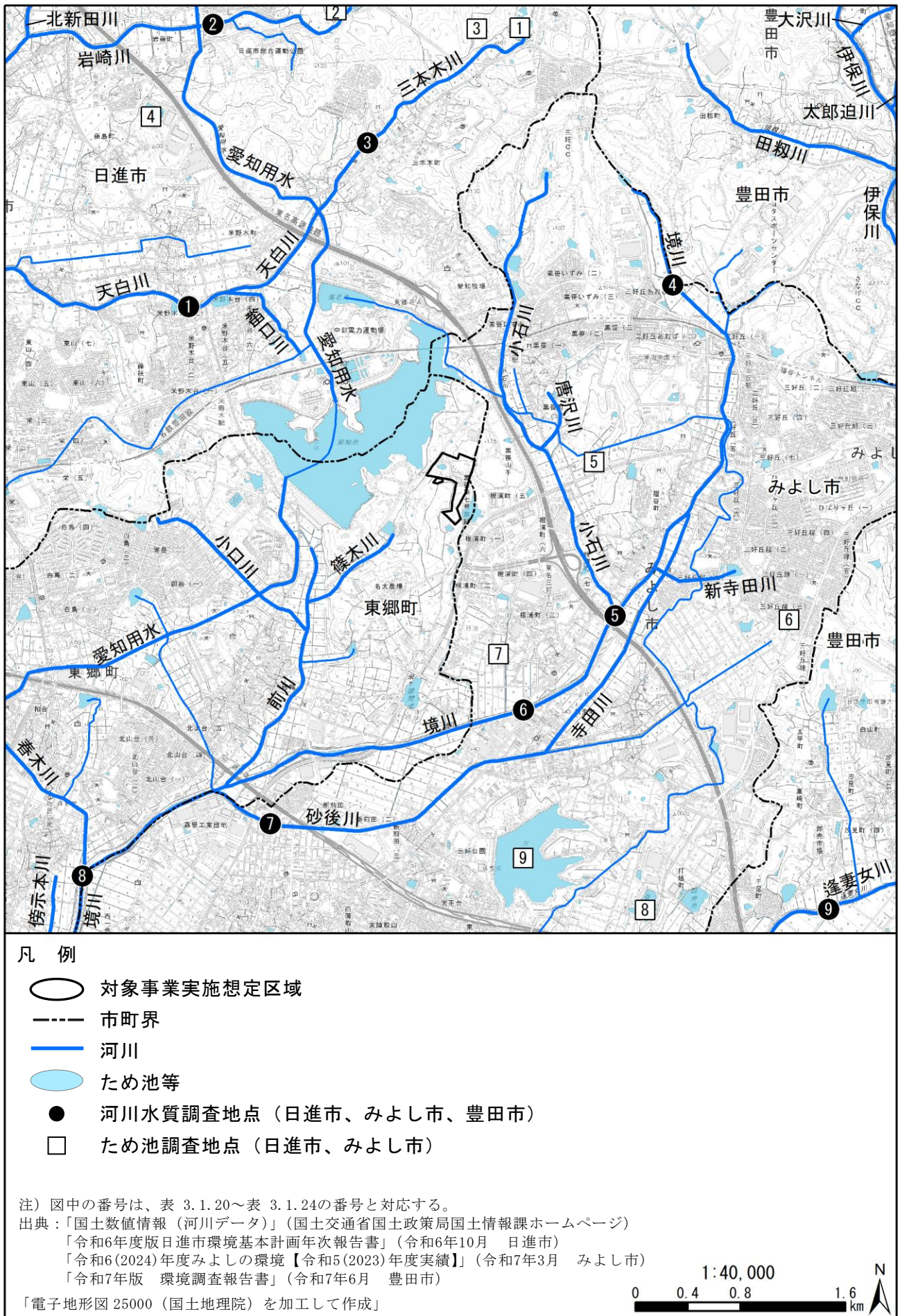


図 3.1.14 主要な河川・用水路等の分布状況

3.1.5.3 水底の底質

対象事業実施想定区域及びその周囲における令和5年度の河川の底質の調査結果は表 3.1.25 及び表 3.1.26 に、調査地点は図 3.1.15 に示すとおりである。

なお、対象事業実施想定区域及びその周囲において、水底の底質（ダイオキシン類）に係る調査は行われていない。

表 3.1.25 河川の底質調査結果（日進市：令和5年度）

項 目	測定地点名	1	2
		天白川	岩崎川
		米野木橋	金剛橋
ヒ素	(mg/kg)	0.5	1
鉛	(mg/kg)	1.3	2.7
カドミウム	(mg/kg)	<0.05	0.06
全水銀	(mg/kg)	<0.01	<0.01
六価クロム	(mg/kg)	<2	<2
シアン化合物	(mg/kg)	<0.5	<0.5
有機リン	(mg/kg)	<1	<1

注）表中の番号は、図 3.1.15 の番号に対応する。

出典：「令和6年度版日進市環境基本計画年次報告書」（令和6年10月 日進市）

表 3.1.26 河川の底質調査結果（みよし市：令和5年度）

項 目	測定地点名	3	4	5	6
		小石川	境川上流	境川中流	砂後川
総水銀	(mg/kg)	0.01 未満	0.01	0.01	0.02
カドミウム	(mg/kg)	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満
鉛	(mg/kg)	3.0	1.7	3.4	6.7
六価クロム	(mg/kg)	1	2	1 未満	1
砒素	(mg/kg)	1.4	1.3	2.4	2.8
全シアン	(mg/kg)	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満

注）表中の番号は、図 3.1.15 の番号に対応する。

出典：「令和6(2024)年度みよしの環境【令和5(2023)年度実績】」（令和7年3月 みよし市）

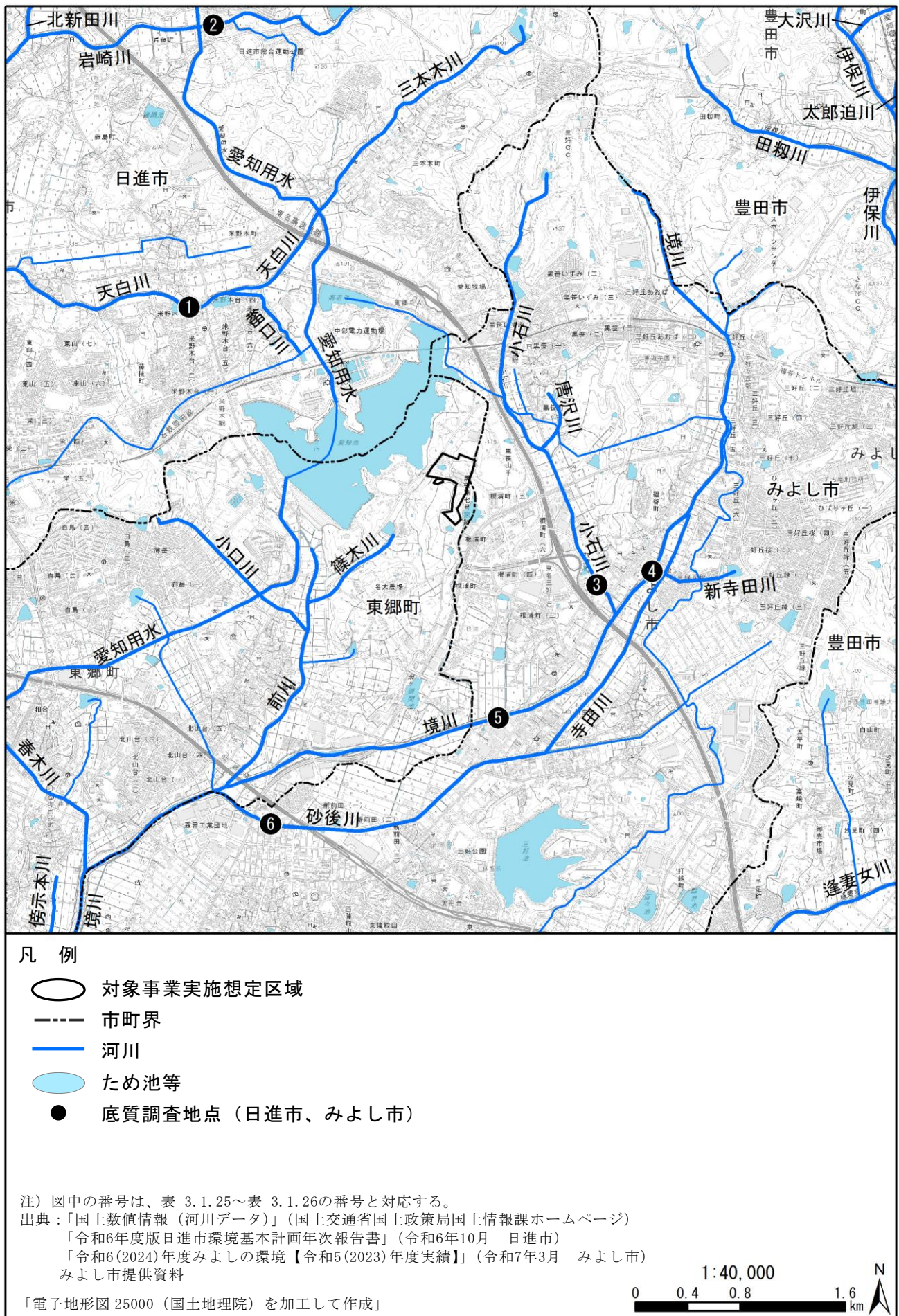


図 3.1.15 底質に係る調査地点

3.1.6 地形及び地質の状況

3.1.6.1 地形

対象事業実施想定区域及びその周囲の地形分類図は、図 3.1.16 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域の地形は山頂緩斜面や急斜面、人工改変地となっている。対象事業実施想定区域周辺は、丘陵地や台地のあいだに、境川等の中小河川沿いに幅の狭い谷底平野・氾濫平野等の低地が入り込んでいる。また、人工改変地も点在している。対象事業実施想定区域西側は人造湖である愛知池となっている。

3.1.6.2 地質

対象事業実施想定区域及びその周囲の表層地質図は、図 3.1.17 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域の表層地質は半固結～固結堆積物の礫となっており、同様の地質が周辺にも広がっている。境川等の中小河川沿いには礫がち堆積物や泥がち堆積物がみられ、丘陵地や台地は砂または砂を主とする地層、シルトまたはシルトを主とする地層、礫等となっている。

3.1.6.3 重要な地形・地質

「日本の地形レッドデータブック 第1集」（平成6年2月 小泉・青木編）や「日本の地形レッドデータブック 第2集」（平成14年3月 小泉・青木編）、「第3回自然環境保全基礎調査」（平成元年 環境庁）等によると、対象事業実施想定区域及びその周囲には重要な地形・地質は存在していない。

3.1.6.4 断層

対象事業実施想定区域及びその周囲の活断層の状況は、図 3.1.18 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域の東側から南西側にかけて、活断層・推定活断層の猿投境川断層が存在している。

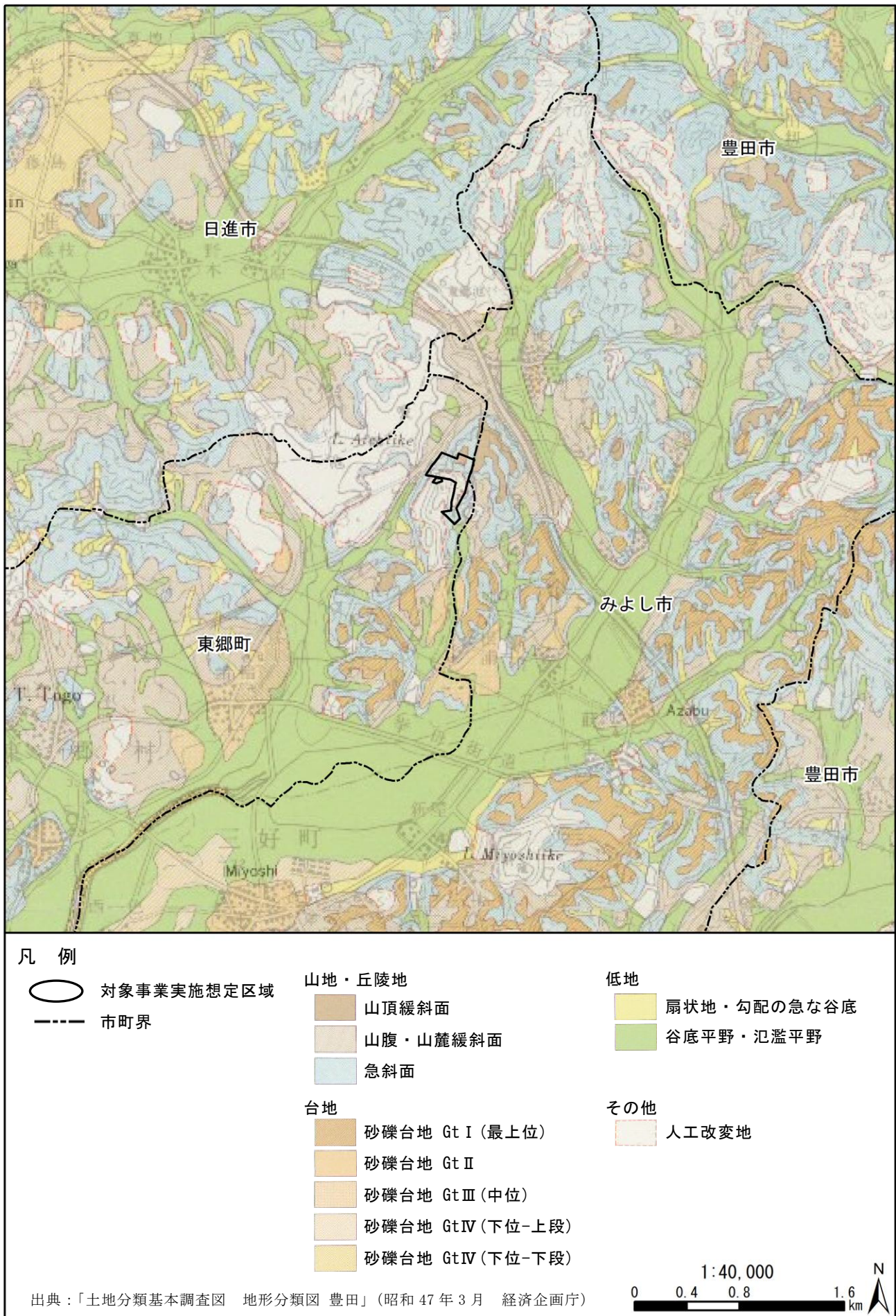


図 3.1.16 地形分類図

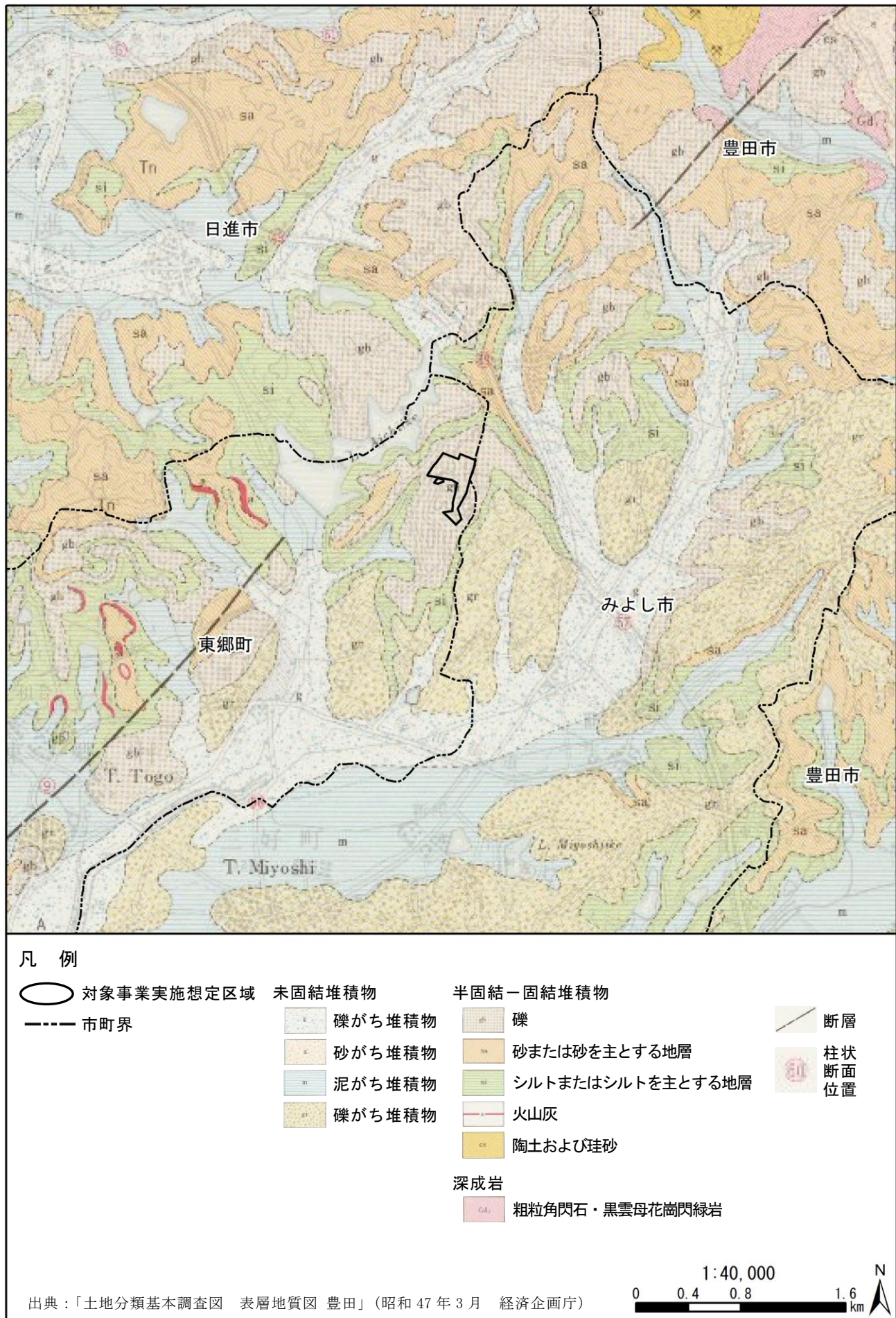


図 3.1.17 表層地質図

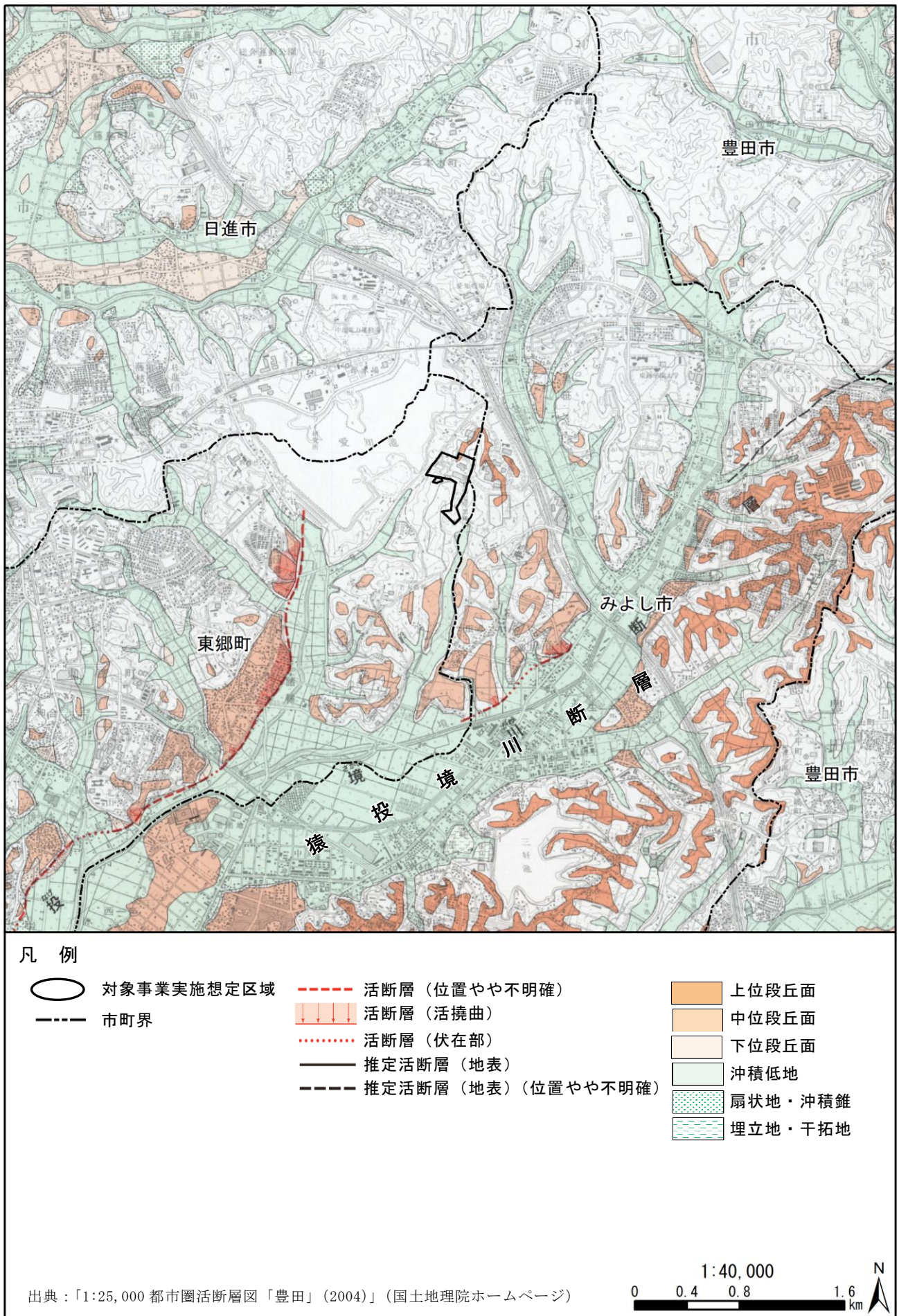


図 3.1.18 活断層の位置

3.1.7 地盤、地下水及び土壌の状況

3.1.7.1 地盤沈下

対象事業実施想定区域及びその周囲において、地盤沈下の調査は実施されていない。

3.1.7.2 地下水

対象事業実施想定区域及びその周囲における地下水質調査結果は、表 3.1.27 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲の地下水質の調査としては、地下水質の概況を把握するためのメッシュ調査が1地点、過去に地下水汚染が判明した地域の継続的な監視を行うための定期モニタリング調査が4地点で実施されている。

メッシュ調査の結果を見ると、すべての項目で環境基準以下の値となっている。

また、定期モニタリングの調査結果をみると、みよし市三好丘旭（発端井戸）で総水銀が環境基準を超過している。

表 3.1.27(1) 地下水質調査結果（令和5年度 概況調査（メッシュ））

調査項目	調査地点	みよし市三好町	環境基準
	調査区分	概況調査 (メッシュ)	
カドミウム	mg/L	<0.0005	0.003 以下
全シアン	mg/L	<0.1	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.005	0.01 以下
六価クロム	mg/L	<0.01	0.02 以下
砒素	mg/L	<0.005	0.01 以下
総水銀	mg/L	<0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	mg/L	—	検出されないこと
P C B	mg/L	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	0.002 以下
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.01	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	0.002 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	0.006 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	0.01 以下
セレン	mg/L	<0.002	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	<0.10	10 以下
ふっ素	mg/L	<0.08	0.8 以下
ほう素	mg/L	<0.02	1 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	0.05 以下
pH		6.6	
電気伝導率	mS/m	10	

注1) 表中の「<」は、報告下限値未満であることを示す。

注2) 表中の「—」は、調査を行っていないことを示す。

出典：「令和5（2023）年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」（令和6年11月 愛知県）

表 3.1.27(2) 地下水質調査結果（令和5年度 定期モニタリング）

調査項目	調査地点	みよし市三好丘旭		東郷町大字諸輪		環境基準
	調査 区分	定期モニタリング（継続監視）調査				
		概況調査等により判明 した汚染		事業者からの報告等により判明した汚染		
	発端・周辺 の区分	発端井戸	周辺井戸	発端井戸	周辺井戸	
	井戸場所	みよし市 三好丘旭	みよし市 三好丘旭	東郷町 大字諸輪	みよし市 根浦町	
カドミウム	mg/L	－	－	－	－	0.003 以下
全シアン	mg/L	－	－	－	－	検出されないこと
鉛	mg/L	－	－	－	－	0.01 以下
六価クロム	mg/L	－	－	－	－	0.02 以下
砒素	mg/L	－	－	－	－	0.01 以下
総水銀	mg/L	0.0007	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	mg/L	－	－	－	－	検出されないこと
P C B	mg/L	－	－	－	－	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	－	－	－	－	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	－	－	－	－	0.002 以下
クロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	－	－	－	－	0.002 以下
チウラム	mg/L	－	－	－	－	0.006 以下
シマジン	mg/L	－	－	－	－	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	－	－	－	－	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	－	－	－	－	0.01 以下
セレン	mg/L	－	－	－	－	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	－	－	－	－	10 以下
ふっ素	mg/L	－	－	－	－	0.8 以下
ほう素	mg/L	－	－	－	－	1 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	－	－	－	－	0.05 以下
pH		6.2	6.3	6.4	5.9	
電気伝導率	mS/m	15	5.1	5.8	11	

注 1) 表中の「<」は、報告下限値未満であることを示す。

注 2) 表中の「—」は、調査を行っていないことを示す。

出典：「令和 5（2023）年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」（令和 6 年 11 月 愛知県）

対象事業実施想定区域では、令和3年12月3日の自主検査で、環境基準を超える水銀が検出されて以降、地下水について経過観察を行っている。令和4年度は毎月測定を行ったが、基準値を超える水銀の検出が不規則であり、発生原因が自然由来と解されることから、令和5年度より年1回の測定としている。測定結果は、表3.1.28に示すとおりである。

表 3.1.28 地下水質調査結果（尾三衛生組合敷地内3号井戸）

年度	測定日	測定結果
令和3年度	令和3年12月3日	0.0010 mg/L
	令和3年12月23日	0.0011 mg/L
	令和4年1月6日	0.0005 mg/L 未満
	令和4年2月28日	0.0006 mg/L
	令和4年3月16日	0.0013 mg/L
令和4年度	令和4年4月18日	0.0005 mg/L 未満
	令和4年5月23日	0.0013 mg/L
	令和4年6月16日	0.0018 mg/L
	令和4年7月15日	0.0016 mg/L
	令和4年8月12日	0.0023 mg/L
	令和4年9月6日	0.0005 mg/L 未満
	令和4年10月13日	0.0005 mg/L 未満
	令和4年11月29日	0.0011 mg/L
	令和4年12月5日	0.0027 mg/L
	令和4年12月6日	0.0023 mg/L
	令和5年1月24日	0.0029 mg/L
	令和5年2月3日	0.0022 mg/L
	令和5年3月9日	0.0005 mg/L 未満
令和5年度	令和5年12月12日	0.0049 mg/L
令和6年度	令和6年12月12日	0.0048 mg/L

注1) 環境基準 総水銀：0.0005 mg/L 以下

注2) 一般的に毒性が強いとされているアルキル水銀は検出されていない。

出典：「尾三衛生組合 3号井戸地下水の測定結果について」（令和7年1月 尾三衛生組合）

3.1.7.3 土壌**(1) 土壌**

対象事業実施想定区域及びその周囲の土壌図は、図 3.1.19 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域の土壌は主に乾性褐色森林土壌（未熟土系）の三ヶ峰統、東山統となっている。対象事業実施想定区域の周囲は、地形等に応じて主に乾性褐色森林土壌（未熟土系）や赤色土壌、黄色土壌がみられる。また、境川等の中小河川沿いは、細粒グライ土壌、グライ土壌、粗粒グライ土壌等となっている。

(2) 土壌汚染

対象事業実施想定区域及びその周囲には、「土壌汚染対策法」（平成 14 年法律第 53 号）に基づく要措置区域に指定されている区域はない。形質変更時要届出区域に指定されている区域は、表 3.1.29 に示すとおりである。

表 3.1.29 形質変更時要届出区域

指定番号	指定年月日	区域が存在する場所	区域の面積	基準に適合しない 特定有害物質
形-11	平成 25 年 3 月 22 日	みよし市三好町笠松 111 番、112 番 1 及び 112 番 2 の各一部	158.5m ²	鉛及びその化合物（溶出）
形-74	令和 7 年 3 月 14 日	愛知郡東郷町大字諸輪 字上鉾 68 番の一部	600.00m ²	カドミウム及びその化合物（溶出） 砒素及びその化合物（溶出）

出典：「土壌汚染対策法に基づく要措置区域・形質変更時要届出区域の指定状況」（愛知県ホームページ）

(3) 土地利用の履歴

「地図・空中写真閲覧サービス」（国土交通省国土地理院ホームページ）によると、対象事業実施想定区域及びその周囲の土地利用は、昭和 40 年代までは森林及び荒地となっていた。

対象事業実施想定区域には、本組合の焼却施設が昭和 51 年に建設された。その後、平成 9 年に現在の東郷美化センターに建替えが行われ、現在も稼働している。



図 3.1.19(1) 土壌図

凡 例

山地及び丘陵地地域の土壌						
乾性褐色森林土壌		村積山 1 統	赤色土壌		勘八山統	
		真福寺 1 統			岩崎統	
		三ヶ峰統、東山統			明知統、拳母統	
	相野山統、東山統			上郷統、拳母統		
乾性褐色森林土壌 (未熟土系)		和合 1 統、和合 2 統				
褐色森林土壌		村積山 2 統				
		真福寺 2 統				
台地・低地地域の土壌						
赤色土壌		駒場統	灰色低地土壌		加茂統	
黄色土壌		東境統	細粒灰色低地土壌		豊中統	
		猿投統			久世田統	
		三好統	細粒グライ土壌		保倉統	
		蓼沼統			三隅下統	
		北多久統			田川統	
		真福寺 1 統			西山統	
		新野統			東浦統	
			堤統	グライ土壌		上兵庫統
			豊明統			芝井統
						滝尾統
灰色台地土壌		吉原統	粗粒グライ土壌		八幡統	
		筋生統			琴浜統	
		早稲原統			竜北統	
		長田統				
			明知下統	黒泥土壌		荒井統
台地グライ土壌		栃丘統			大平統	
		本地統			今の浦統	
		山古志統	その他		人工改変地	
褐色低地土壌		荻野統				
細粒灰色低地土壌		東和統				
		藤代統				
		宝田統				

図 3.1.19(2) 土壌図

3.1.8 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況**3.1.8.1 動物**

(1) 動物相の概要

対象事業実施想定区域及びその周囲の動物の状況については、表 3.1.30 に示す既存資料により整理した。

表 3.1.30 確認文献一覧

番号	文献	分布想定種
1	「レッドデータブックあいち 2020」 (令和2年3月 愛知県)	調査対象とした野生動物（哺乳類、爬虫類、両生類、昆虫類、クモ類）のうち、対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種（鳥類、魚類、貝類はメッシュ情報なし） 貝類は対象事業実施想定区域及びその周囲での分布情報（生息環境）が記載されている種
2	「第2回～第7回自然環境保全基礎調査」 (昭和53年～平成24年、環境省) 哺乳類（中大型哺乳類分布調査、要注意鳥獣（クマ等）生息分布調査） (平成27年度～令和3年度、環境省)	調査対象とした野生動物（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類）のうち、対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種
3	「全国鳥類繁殖分布調査報告 日本の鳥の今を描こう 2016－2021年」 (令和3年10月 鳥類繁殖分布調査会)	調査対象とした野生動物（鳥類）のうち対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種
4	「全国鳥類越冬分布調査報告 2016－2022年」 (令和5年2月 特定非営利活動法人 バードリサーチ 公益財団法人 日本野鳥の会)	調査対象とした野生動物（鳥類）のうち対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種
5	「愛知の野鳥 1995」 (愛知県農地林務部自然保護課)	対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種
6	東郷町誌 第二巻 (昭和55年3月 東郷町)	掲載の種全て
7	日進市史 自然編 (平成27年3月 日進市)	掲載の種全て
8	第2次日進市環境基本計画(2024年度～2030年度) (令和6年3月 日進市)	対象事業実施想定区域及びその周囲で確認されている種
9	生物調査報告書 (平成30年11月 豊田市)	魚類：調査地点…逢妻女川上流域（高速道路下から上流約1km区間）で確認されている種 両生類：対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種 爬虫類、鳥類、哺乳類、昆虫類、クモ類：挙母地区、保見地区確認されている種
10	豊田市で確認された生物種 (令和6年11月 豊田市)	掲載の種全て（地区名記載がないため全種を対象とした）
11	最終処分場建設に係る生活環境影響調査 報告書 (平成14年3月 尾三衛生組合)	現地調査の結果全て

① 哺乳類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる哺乳類は、表 3.1.31 に示すとおり、7 目 19 科 43 種である。

対象事業実施想定区域及びその周囲では、農地等の草地や樹林を生息環境とするタヌキ、キツネ、ニホンイタチ、イノシシ、市街地やため池等ひらけた空間を利用するアブラコウモリなどが確認されている。

また、アライグマやヌートリアといった外来種も確認されている。

表 3.1.31 確認種一覧（哺乳類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号						
					1	2	6	7	9	10	11
1	モグラ目 (食虫目)	トガリネズミ科	ジネズミ	<i>Crociodura dsinezumi</i>	●			●		●	
2			カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephalus</i>	●					●	
3		モグラ科	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>		●		●		●	
4			ミズラモグラ	<i>Oreoscaptor mizura</i>						●	
5			アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>						●	
6			コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>	●		●	●	●	●	
-			モグラ科の一種	<i>Talpidae sp.</i>						●	●
7	コウモリ目 (翼手目)	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ (ニホンコキクガシラコウモリ)	<i>Rhinolophus cornutus (P. c. cornutus)</i>	●				●	●	
8			キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>	●					●	
9		ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>	●				●	●	
10			アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>		●		●		●	●
11			ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>						●	
12			ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i>						●	
13			ユビナガコウモリ	<i>Miniopterus fuliginosus</i>						●	
14			テングコウモリ	<i>Murina hilgendorfi</i>						●	
-		-	コウモリ目（翼手目）の一種	<i>Chiroptera sp.</i>						●	
15	サル目（霊長目）	オナガザル科	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>		●		●	●	●	
16	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>	●	●	●	●		●	
17	ネズミ目 (齧歯目)	リス科	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>		●		●		●	
18			ニホンモモンガ	<i>Pteromys momonga</i>						●	
19			ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i>	●					●	
20		ヤマネ科	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i>						●	
21		ネズミ科	スミスネズミ	<i>Craseomys smithii</i>						●	
22			ハタネズミ	<i>Alexandromys montebelli</i>						●	
23			アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>		●		●	●	●	
24			ヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus</i>		●				●	
25			カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	●			●		●	●
26			ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>			●	●			
27			クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>				●		●	
28			ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>			●				
-			ネズミ科の一種	<i>Muridae sp.</i>			●			●	●
29		ヌートリア科	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>		●		●	●	●	
30	ネコ目（食肉目）	クマ科	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i>					●	●	
31		アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>		●		●		●	
32		イヌ科	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>		●	●	●	●	●	
33			キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>		●	●	●	●	●	
34			ノイヌ（オオカミ）	<i>Canis lupus</i>						●	
35		イタチ科	テン（ホンドテン）	<i>Martes melampus (M. m. melampus)</i>						●	
36			シベリアイタチ	<i>Mustela sibirica</i>					●	●	
37			ニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>					●	●	
-			イタチ属の一種	<i>Mustela sp.</i>		●	●	●		●	●
38			アナグマ	<i>Meles anakuma</i>		●				●	
39		ジャコウネコ科	ハクビシン	<i>Paquma larvata</i>		●		●	●	●	
40		ネコ科	ノネコ	<i>Felis catus</i>						●	
41	ウシ目（偶蹄目）	イノシシ科	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>		●	●	●	●	●	
42		シカ科	ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>						●	
43		ウシ科	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>		●		●			
-		-	ウシ目（偶蹄目）の一種	<i>Artiodactyla sp.</i>						●	
	7 目	19 科	43 種		9 種	16 種	8 種	19 種	14 種	41 種	4 種

注1) 表中の文献番号は表 3.1.30の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

② 鳥類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる鳥類は、表 3.1.32 に示すとおり、22 目 67 科 298 種である。

住宅地周辺を利用するツバメやムクドリ、メジロ、ため池を利用するオシドリ、カルガモ等のカモ科や草地を利用するヒバリやケリ、樹林地を生息環境とするヤマガラやシジュウカラ等のシジュウカラ科、オオルリやルリビタキ等ヒタキ科が確認されているほか、タカ科、フクロウ科、ハヤブサ科などの生態系上位種も確認されている。

また、ソウシチョウやガビチョウといった外来種も確認されている。

表 3.1.32(1) 確認種一覧（鳥類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号										
					2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
1	カモ目	カモ科	コクガン	<i>Branta bernicla nigricans</i>			●								
2			ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>			●								
3			マガン	<i>Anser albifrons albifrons</i>			●						●		
4			カリガネ	<i>Anser erythropus</i>			●								
5			コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>		●	●								
6			コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>			●						●		
7			オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i>			●						●		
8			ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>			●								
9			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
10			トモエガモ	<i>Sibirionetta formosa</i>			●	●				●	●	●	
11			シマアジ	<i>Spatula querquedula</i>								●	●		
12			ハシビロガモ	<i>Spatula clypeata</i>			●	●		●		●	●		
13			オカヨシガモ	<i>Mareca strepera strepera</i>			●	●		●		●	●		
14			ヨシガモ	<i>Mareca falcata</i>			●	●		●		●	●		
15			ヒドリガモ	<i>Mareca penelope</i>	●		●	●		●		●	●		
16			アメリカヒドリ	<i>Mareca americana</i>			●	●				●	●		
17			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	●	●	●	●		●	●	●	●	●	
18			マガモ	<i>Anas platyrhynchos platyrhynchos</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
19			アイガモ (アヒル)	<i>Anas platyrhynchos var.domesticus</i>									●		
20			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	●		●	●		●		●	●		
21			コガモ	<i>Anas crecca crecca</i>	●		●	●		●		●	●	●	
ー				マガモ属の一種	<i>Anas sp.</i>								●		
22				オオホシハジロ	<i>Aythya valisineria</i>			●							
23				ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	●	●	●	●		●		●	●	
24				アカハジロ	<i>Aythya baeri</i>			●			●				
25				メジロガモ	<i>Aythya nyroca</i>			●							
26				キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>		●	●	●		●		●	●	
27				スズガモ	<i>Aythya marila nearctica</i>	●		●	●		●		●	●	
28				シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i>			●							
29				ビロードキンクロ	<i>Melanitta stejnegeri</i>			●							
30				クロガモ	<i>Melanitta americana</i>			●					●	●	
31				コオリガモ	<i>Clangula hyemalis</i>			●							
32				ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula clangula</i>			●			●		●	●	
33				ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>	●		●	●		●		●	●	
34				カワアイサ	<i>Mergus merganser merganser</i>			●	●				●	●	
35				ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>			●					●	●	
36				コウライアイサ	<i>Mergus squamatus</i>			●							
ー				カモ科の一種	<i>Anatidae sp.</i>					●					
37	キジ目	キジ科	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii scintillans</i>		●	●	●	●		●		●		
38			キジ	<i>Phasianus versicolor robustipes</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
39			ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>		●	●	●		●			●		
40	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus jotaka jotaka</i>	●	●		●		●		●	●		
41	アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus caudacutus</i>				●				●			
42			アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>		●		●		●		●	●		
43			ヒメアマツバメ	<i>Apus nipalensis kuntzi</i>		●	●			●		●	●		
44	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Hierococyx hyperythrus</i>		●						●	●		
45			ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>		●		●		●		●	●		
46			セグロカッコウ	<i>Cuculus micropterus micropterus</i>									●		
47			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>		●		●		●		●	●		
48			カッコウ	<i>Cuculus canorus canorus</i>		●		●		●		●	●		
ー				カッコウ属の一種	<i>Cuculus sp.</i>								●	●	
49			ハト目	ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis orientalis</i>	●	●	●	●	●	●		●	●
50	アオバト	<i>Treron sieboldii sieboldii</i>				●	●	●		●			●	●	
ー		ハト科の一種			<i>Columbidae sp.</i>								●	●	
51	ツル目	クイナ科	クイナ	<i>Rallus indicus</i>	●	●	●	●		●		●	●		
52			バン	<i>Gallinula chloropus chloropus</i>	●	●	●	●		●		●	●		
53			オオバン	<i>Fulica atra atra</i>	●	●	●	●				●	●		
54			シマクイナ	<i>Coturnicops exquisitus</i>			●								
55			ヒクイナ	<i>Zapornia fusca erythrothorax</i>	●	●	●			●		●	●		
56			ツルクイナ	<i>Gallix cinerea</i>									●		
57				ツル科	ナベツル	<i>Grus monacha</i>			●						
58	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis poggei</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
59			アカエリカイツブリ	<i>Podiceps grisegena holbollii</i>	●	●	●					●	●		
60			カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus cristatus</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
61			ミミカイツブリ	<i>Podiceps auritus auritus</i>			●								
62			ハジロカイツブリ	<i>Podiceps niaricollis niaricollis</i>			●			●		●	●		
63															

注1) 表中の文献番号は表 3.1.30 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版」（令和6年10月 日本鳥学会）に準拠した。

表 3.1.32(2) 確認種一覧（鳥類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号										
					2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
63	チドリ目	ミヤコドリ科	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus osculans</i>											
64		セイタカシギ科	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>		●	●						●		
65		チドリ科	ソリハシセイタカシギ	<i>Recurvirostra avosetta</i>			●								
66			タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>				●		●		●	●		
67			ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	●	●	●	●		●		●	●		
68			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>				●		●			●		
69			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>			●						●		
70			ハジロコチドリ	<i>Charadrius hiaticula tundrae</i>			●								
71			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	●	●	●	●		●		●	●		
72			コチドリ	<i>Charadrius dubius curonicus</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
73			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	●	●	●						●		
74			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>			●						●		
-			チドリ属の一種	<i>Charadrius sp.</i>								●			
75		タマシギ科	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>	●	●	●	●		●		●	●		
76		シギ科	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus variegatus</i>			●			●			●		
77			ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>						●					
78	ダイシャクシギ		<i>Numenius arquata orientalis</i>			●									
79	オオソリハシシギ		<i>Limosa lapponica</i>										●		
80	オグロシギ		<i>Limosa limosa melanuroides</i>										●		
81	キョウジョシギ		<i>Arenaria interpres interpres</i>			●							●		
82	エリマキシギ		<i>Calidris pugnax</i>			●							●		
83	キリアイ		<i>Calidris falcinellus sibirica</i>										●		
84	ウスラシギ		<i>Calidris acuminata</i>										●		
85	オジロトウネン		<i>Calidris temminckii</i>			●							●		
86	ヒバリシギ		<i>Calidris subminuta</i>						●				●		
87	トウネン		<i>Calidris ruficollis</i>				●						●		
88	ミュビシギ		<i>Calidris alba</i>			●									
89	ハマシギ		<i>Calidris alpina sakhalina</i>			●	●						●		
90	ヨーロッパトウネン		<i>Calidris minuta</i>			●									
91	アメリカウズラシギ		<i>Calidris melanotos</i>										●		
92	オオハシシギ		<i>Limnodromus scolopaceus</i>			●									
93	ヤマシギ		<i>Scolopax rusticola</i>			●	●						●		
94	アオシギ		<i>Gallinago solitaria japonica</i>										●		
95	オオジシギ		<i>Gallinago hardwickii</i>						●				●		
96	ハリオシギ		<i>Gallinago stenura</i>						●						
97	チュウジシギ		<i>Gallinago megala</i>						●				●		
98	タシギ		<i>Gallinago gallinago gallinago</i>	●		●	●	●	●		●	●			
99	ソリハシシギ		<i>Xenus cinereus</i>			●							●		
100	アカエリヒレアシシギ		<i>Phalaropus lobatus</i>						●				●		
101	イソシギ		<i>Actitis hypoleucos</i>	●	●	●	●		●		●	●			
102	クサシギ		<i>Tringa ochropus</i>			●	●		●		●	●			
103	キアシシギ		<i>Tringa brevipes</i>			●			●		●	●			
104	アカアシシギ		<i>Tringa totanus ussuriensis</i>			●									
105	コアオアシシギ		<i>Tringa stagnatilis</i>			●			●				●		
106	タカブシギ		<i>Tringa glareola</i>			●	●		●				●		
107	ツルシギ		<i>Tringa erythropus</i>			●							●		
108	アオアシシギ		<i>Tringa nebularia</i>			●	●		●				●		
-			シギ科の一種	<i>Scolopacidae sp.</i>									●		
109	ツバメチドリ科	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>		●							●			
110	カモメ科	ミツユビカモメ	<i>Rissa tridactyla pollicaris</i>			●						●			
111		ユリカモメ	<i>Chroicocephalus ridibundus</i>	●		●	●		●		●				
112		ズグロカモメ	<i>Saundersilarus saundersi</i>			●			●						
113		ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>		●	●			●		●	●			
114		カモメ	<i>Larus canus kamtschatschensis</i>			●			●		●	●			
115		ワシカモメ	<i>Larus glaucescens</i>			●									
116		シロカモメ	<i>Larus hyperboreus pallidissimus</i>			●									
117		セグロカモメ	<i>Larus vegae vegae</i>			●						●			
118		オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>			●									
119		ニセセグロカモメ	<i>Larus fuscus</i>			●									
120		コアジサシ	<i>Sternula albifrons sinensis</i>	●	●		●		●		●	●			
121		アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>						●						
122		クロハラアジサシ	<i>Chlidonias hybrida hybrida</i>						●						
123		ハジロクロハラアジサシ	<i>Chlidonias leucopterus</i>						●			●			
124		トウゾクカモメ科	クロトウゾクカモメ	<i>Stercorarius parasiticus</i>								●			
125		ウミスズメ科	ウミスズメ	<i>Synthliboramphus antiquus antiquus</i>			●								
126	アビ目	アビ科	アビ			●									
127			オオハム	<i>Gavia arctica viridigularis</i>			●								
128	ミズナギドリ目	ミズナギドリ科	オオミズナギドリ		●							●			
129	コウノトリ目	コウノトリ科	コウノトリ		●										
130	カツオドリ目	ウ科	ヒメウ			●									
131			ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>			●								
132			カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	●	●	●	●		●		●	●		
133			ベリカン目	トキ科	ヘラサギ			●							
134	サギ科	ヘラサギ	クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>			●								
135			サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>			●								
136		ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis sinensis</i>		●						●	●			
137		ミソゴイ	<i>Gorsachius gossagai</i>		●				●		●				
138		ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax nycticorax</i>	●	●	●	●	●		●	●				
139		ササゴイ	<i>Butorides striata amurensis</i>		●	●	●	●		●	●				
140		アカガシラサギ	<i>Ardeola bacchus</i>									●			
141		アマサギ	<i>Bubulcus ibis coromandus</i>	●	●	●	●			●	●	●			
142		アオサギ	<i>Ardea cinerea jouyi</i>	●	●	●	●		●		●	●			
143		ダイサギ	<i>Ardea alba alba</i>		●	●	●		●		●	●			
144		チュウサギ	<i>Ardea intermedia intermedia</i>		●	●	●		●		●	●			
145		コサギ	<i>Egretta garzetta garzetta</i>	●	●	●	●		●		●	●			
146		クロサギ	<i>Egretta sacra sacra</i>		●	●									
-			サギ科の一種	<i>Ardeidae sp.</i>				●							

注1) 表中の文献番号は表 3.1.30 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版」(令和6年10月 日本鳥学会)に準拠した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

表 3.1.32(3) 確認種一覧（鳥類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号										
					2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
147	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus haliaetus</i>			●	●			●	●	●		
148		タカ科	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus orientalis</i>		●		●		●		●	●		
149			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis orientalis</i>		●	●						●		
150			イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos japonica</i>									●		
151			ツミ	<i>Accipiter gularis gularis</i>		●	●	●		●			●		
152			ハイタカ	<i>Accipiter nisus nisosimilis</i>		●	●	●		●		●	●		
153			オオタカ	<i>Accipiter gentilis fuyiyamae</i>		●	●	●		●		●	●	●	
154			チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>		●	●			●			●		
155			ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>			●			●			●		
156			トビ	<i>Milvus migrans lineatus</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
157			オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>			●								
158			オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla albicilla</i>			●								
159			サシバ	<i>Butastur indicus</i>		●		●				●	●		
160			ノスリ	<i>Buteo japonicus</i>		●	●	●		●		●	●	●	
-				タカ科の一種	<i>Accipitridae</i> sp.					●			●		
161	フクロウ目	フクロウ科	アオバズク	<i>Ninox japonica japonica</i>	●	●					●	●			
162			コノハズク	<i>Otus sunia japonicus</i>		●		●		●		●			
163			オオコノハズク	<i>Otus semitorques</i>		●	●	●		●		●			
164			トラフズク	<i>Asio otus otus</i>			●					●			
165			コミミズク	<i>Asio flammeus flammeus</i>			●					●			
166			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>		●	●	●	●	●					
-				フクロウ科の一種	<i>Strigidae</i> sp.					●					
167	サイチョウ目	ヤツガシラ科	ヤツガシラ	<i>Upupa epops epops</i>					●			●			
168	ブッポウソウ目	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis cyanocollis</i>		●		●			●	●			
169		カワセミ科	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda major</i>		●						●			
170			カワセミ	<i>Alcedo atthis bengalensis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
171	ヤマセミ		<i>Megaceryle lugubris</i>		●	●	●	●	●	●	●	●			
172	キツツキ目	キツツキ科	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>			●	●		●		●			
173			コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>	●	●	●	●		●	●	●	●		
174			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>		●	●	●		●	●	●	●		
175			オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>		●	●	●				●			
176			アオゲラ	<i>Picus awokera awokera</i>		●	●	●		●		●			
-				キツツキ科の一種	<i>Picidae</i> sp.								●		
177	ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus interinctus</i>		●	●	●		●		●			
178			コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius insignis</i>			●	●					●		
179			チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo subbuteo</i>				●					●		
180			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus japonensis</i>		●	●	●		●		●	●		
181	スズメ目	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i>		●							●		
182		サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>		●	●	●		●		●	●		
183		カササギヒタキ科	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata atrocaudata</i>			●					●			
184		モズ科	チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i>		●									
185			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>		●		●							
186		カラス科	モズ	<i>Lanius bucephalus bucephalus</i>	●	●	●	●	●		●	●	●		
187			カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	●	●	●	●		●		●	●		
188			オナガ	<i>Cyanopica cyanus japonica</i>		●	●						●		
189			カササギ	<i>Pica serica</i>			●								
190			ホシガラス	<i>Nucifraga caryocatactes</i>			●	●					●		
191			ミヤマガラス	<i>Corvus frugilegus pastinator</i>			●						●		
192			ハシボソガラス	<i>Corvus corone orientalis</i>	●	●	●	●		●		●	●		
193			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	●	●	●	●		●		●	●		
-				カラス属の一種	<i>Corvus</i> sp.					●			●		
194		レンジャク科	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus garrulus</i>			●	●					●		
195			ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>			●	●		●		●	●		
196		シジュウカラ科	ヒガラ	<i>Periparus ater insularis</i>		●	●	●		●		●	●		
197			ヤマガラ	<i>Sittiparus varius varius</i>		●	●	●		●		●	●		
198			コガラ	<i>Poecile montanus</i>	●	●	●		●			●			
199			シジュウカラ	<i>Parus cinereus minor</i>	●	●	●	●	●		●	●	●		
200		ツリスガラ科	ツリスガラ	<i>Remiz consobrinus</i>			●					●			
201		ヒバリ科	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	●	●	●	●	●		●	●	●		
202		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis amaurotis</i>	●	●	●	●		●		●	●		
203		ツバメ科	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia ijimae</i>			●			●		●	●		
204			ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	●	●	●	●	●			●	●		
-				ツバメ属の一種	<i>Hirundo</i> sp.								●		
205			イワツバメ	<i>Delichon dasypus dasypus</i>		●	●	●		●		●	●		
206			コシアカツバメ	<i>Cecropis daurica japonica</i>	●	●	●	●		●		●	●		
207		ウグイス科	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>	●	●	●	●	●		●	●	●		
208			ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>		●	●	●		●		●	●		
209		エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	●	●	●	●		●		●	●		
210		ムシクイ科	カラフトムシクイ	<i>Phylloscopus proregeus</i>									●		
211			センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>		●		●		●		●	●		
212			イイジマムシクイ	<i>Phylloscopus ijimae</i>									●		
213			エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>		●		●		●			●		
214			メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>		●		●		●		●	●		
215			オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>								●	●		
-				ムシクイ属の一種	<i>Phylloscopus</i> sp.								●		
216		ヨシキリ科	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	●	●		●		●		●	●		
217			コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>		●				●			●		
218	センニュウ科	エゾセンニュウ	<i>Locustella amnicola</i>									●			
219		シマセンニュウ	<i>Locustella ochotensis</i>						●			●			
220	セッカ科	セッカ	<i>Cisticola juncidis brunniceps</i>	●	●	●	●		●		●	●			
221	メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus japonicus</i>	●	●	●	●	●		●	●	●			
222	クキイタダギ科	クキイタダギ	<i>Regulus regulus japonensis</i>		●	●	●								
223	ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes fumigatus</i>		●	●	●			●	●				
224	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>						●						
225	キバシリ科	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>		●	●						●			

注1) 表中の文献番号は表 3.1.30 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版」(令和6年10月 日本鳥学会)に準拠した。

表 3.1.32(4) 確認種一覧（鳥類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号										
					2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
226	スズメ目	ムクドリ科	ギンムクドリ	<i>Spodiopsar sericeus</i>											
227			ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
228			コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>		●	●	●		●		●	●		
229			カラムクドリ	<i>Sturnia sinensis</i>			●								
230			ホシムクドリ	<i>Sturnus vulgaris poltaratskyi</i>			●								
231		ツグミ科	トラツグミ	<i>Zoothera aurea</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
232			マミジロ	<i>Geokichla sibirica davisoni</i>		●		●				●	●		
233			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>		●		●		●		●	●		
234			マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>			●	●		●		●	●		
235			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	●		●	●		●		●	●	●	
236			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	●	●	●	●		●		●	●		
237			ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>	●		●	●	●	●		●	●	●	
-			ツグミ属の一種	<i>Turdus sp.</i>									●		
238			ヒタキ科	エソビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>				●		●		●	●	
239				サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica sibirica</i>				●		●		●	●	
240				コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica dauurica</i>		●		●		●		●	●	
241		オオルリ		<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	●	●		●				●	●		
242		ノゴマ		<i>Calliope calliope</i>									●		
243		コルリ		<i>Larvivora cyane nechaevi</i>		●				●			●		
244		コマドリ		<i>Larvivora akahige akahige</i>		●				●			●		
245		キビタキ		<i>Ficedula narsissina</i>	●	●		●		●		●	●		
246		ムギマキ		<i>Ficedula mugimaki</i>						●			●		
247		ニシオジロビタキ		<i>Ficedula parva</i>			●								
248		オジロビタキ		<i>Ficedula albicilla</i>									●		
249		ルリビタキ		<i>Tarsiger cyanurus</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
250		ジョウビタキ		<i>Phoenicurus auroreus auroreus</i>	●		●	●		●		●	●	●	
251		イソヒヨドリ		<i>Monticola solitarius</i>		●	●					●	●		
252		ノビタキ		<i>Saxicola stejnegeri</i>			●	●		●		●	●		
-		ヒタキ科の一種		<i>Muscicapidae sp.</i>									●		
253		カワガラス科	カワガラス			●	●						●		
254		スズメ科	ニュウナイスズメ	<i>Passer cinnamomeus rutilans</i>		●	●			●		●	●		
255			スズメ	<i>Passer montanus saturatus</i>	●	●	●	●	●			●	●	●	
256		イワヒバリ科	イワヒバリ	<i>Prunella collaris erythropgia</i>									●		
257			カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i>		●	●	●					●		
258		セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea cinerea</i>	●	●	●	●				●	●	●	
259			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
260			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
-			セキレイ属の一種	<i>Motacilla sp.</i>					●						
261			ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
262			ムネアカタヒバリ	<i>Anthus cervinus</i>						●					
263			タヒバリ	<i>Anthus rubescens japonicus</i>			●	●		●		●	●		
264		アトリ科	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>				●	●		●	●	●		
265			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes japonicus</i>	●		●	●		●		●	●	●	
266			コイカル	<i>Eophona migratoria migratoria</i>			●					●	●		
267			イカル	<i>Eophona personata personata</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
268			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>			●	●				●	●		
269			アカウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula rosacea</i>						●					
270			ハギマシコ	<i>Leucosticte arctoa brunneonucha</i>			●						●		
271			アカマシコ	<i>Carpodacus erythrurus grebnitskii</i>									●		
272			ベニマシコ	<i>Carpodacus sibiricus sanguinolentus</i>			●	●		●		●	●	●	
273			オオマシコ	<i>Carpodacus roseus portenkoi</i>			●						●		
274			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
275			ベニヒワ	<i>Acanthis flammea flammea</i>			●								
276			イスカ	<i>Loxia curvirostra japonica</i>			●						●		
277			マヒワ	<i>Spinus spinus</i>		●	●	●		●		●	●		
278		ツメナガホオジロ科	ユキホオジロ	<i>Plectrophenax nivalis vlasowae</i>			●								
279		ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides ciopsis</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
280			ホオアカ	<i>Emberiza fucata fucata</i>		●	●		●		●	●	●		
281			カシラダカ	<i>Emberiza rustica latifascia</i>	●		●	●		●		●	●	●	
282			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans elegans</i>	●	●	●		●		●	●	●		
283			シマアオジ	<i>Emberiza aureola ornata</i>									●		
284			ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>		●							●		
285			アオジ	<i>Emberiza personata</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
286			クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	●		●	●		●		●	●		
287			シベリアジュリン	<i>Emberiza pallasi polaris</i>			●								
288			コジュリン	<i>Emberiza yessoensis yessoensis</i>			●			●					
289			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus pyrrhulina</i>			●	●		●		●	●		
290			コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
291			カワラバト（ドバト）	<i>Columba livia</i>	●	●	●	●		●		●	●	●	
292	インコ目	インコ科	ホンセイインコ	<i>Psittacula krameri</i>		●	●								
293			（和名検討中） セキセイインコ	<i>Melopsittacus undulatus</i>			●								
294		ガビチョウ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>		●	●			●		●	●		
295			（和名検討中） ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>		●	●					●	●		
296		カエデチョウ科	ギンバラ	<i>Lonchura malacca</i>			●								
297			ヘキチョウ	<i>Lonchura maja</i>			●								
298			ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>		●	●								
	22目	67科	298種		75種	139種	220種	146種	24種	169種	3種	138種	234種	55種	

注1) 表中の文献番号は表 3.1.30 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版」（令和6年10月 日本鳥学会）に準拠した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

③ 爬虫類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる爬虫類は、表 3.1.33 に示すとおり、2 目 10 科 20 種である。

水田や耕作地を生息環境とするニホンカナヘビやシマヘビ、ヤマカガシ、ため池等を生息環境とするニホンイシガメやニホンスッポン等が確認されている。

また、ミシシippアカミミガメやカミツキガメ等の外来種も確認されている。

表 3.1.33 確認種一覧（爬虫類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号									
					1	2	6	7	8	9	10	11		
1	カメ目	イシガメ科	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>				●		●	●			
2			ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	●	●		●		●	●	●		
3			交雑（ニホンイシガメ*クサガメ）	-							●			
4		ヌマガメ科	リパークーター	<i>Pseudemys concinna</i>						●	●			
5			ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>				●		●	●			
6		カミツキガメ科	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>							●			
7			ワニガメ	<i>Macrochelys temminckii</i>						●	●			
8		スッポン科	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i>	●	●		●		●	●			
-		-	カメ目の一種	Testudines sp.			●							
9	有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>				●		●	●			
10		トカゲ科	ニホントカゲ	<i>Plestiodon japonicus</i>		●	●					●		
11			ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>				●		●	●			
12		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>		●		●		●	●	●		
13		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>							●			
14		ナミヘビ科	シロマダラ	<i>Lycodon orientalis</i>							●			
15			ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>		●		●		●	●			
16			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>			●	●		●	●			
17			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>			●	●		●	●			
18			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>				●		●	●	●	●	
19			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	●			●	●	●	●	●	●	
20		クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydus blomhoffii</i>		●	●	●		●	●			
	2目	10科	20種		3種	6種	5種	13種	1種	15種	19種	5種		

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.30 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本産爬虫両生類標準名リスト」（令和 7 年 4 月 日本爬虫両棲類学会）に準拠した。

④ 両生類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる両生類は、表 3.1.34 に示すとおり、2 目 8 科 22 種である。

人家の庭先にも生息することのあるアズマヒキガエル、水田、耕作地で一般的にみられるニホンアマガエルやツチガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、水田やため池を生息環境とするアカハライモリ、樹林地を生息環境とするトウキョウサンショウウオ等のサンショウウオ科やニホンアカガエル等が確認されている。

また、ウシガエルといった外来種も確認されている。

表 3.1.34 確認種一覧（両生類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号							
					1	2	6	7	8	9	10	11
1	有尾目	サンショウウオ科	トウキョウサンショウウオ	<i>Hynobius tokyoensis</i>		●						
2			ヒガシヒダサンショウウオ	<i>Hynobius fossigenus</i>							●	
3			ヒダサンショウウオ	<i>Hynobius kimurae</i>							●	
4			ミカワサンショウウオ	<i>Hynobius mikawaensis</i>							●	
5			ヤマトサンショウウオ	<i>Hynobius vandenburghi</i>	●						●	
6			ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i>							●	
7		オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i>							●	
8			イモリ科	アカハライモリ			●				●	
9	無尾目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	<i>Bufo formosus</i>		●		●			●	
10		アマガエル科	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>				●		●	●	
11		アカガエル科	タゴガエル	<i>Rana tagoi</i>							●	
12			ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>		●		●			●	
13			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>							●	
14			ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>		●		●			●	●
15			ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>						●	●	
16			ダルマガエル	<i>Pelophylax porosus</i>		●						
17			ナゴヤダルマガエル	<i>Pelophylax porosus brevipodus</i>	●			●		●	●	
18			トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>		●		●	●	●	●	●
19		ヌマガエル科	ヌマガエル	<i>Fejervarya kawamurai</i>		●		●		●	●	●
20		アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>				●		●	●	●
21			モリアオガエル	<i>Zhangixalus arboreus</i>							●	
22			カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i>							●	
	2 目	8 科	22 種		2 種	7 種	1 種	8 種	1 種	6 種	20 種	4 種

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.30 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本産爬虫両生類標準名リスト」(令和 7 年 4 月 日本爬虫両棲類学会)に準拠した。

⑤ 魚類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる魚類は、表 3.1.35 に示すとおり、9 目 25 科 69 種である。

水田等を生息環境とするドジョウやナマズ、ため池等を生息環境とするフナ類やミナミメダカ等が確認されている。

また、ブルーギルやオオクチバスといった外来種も確認されている。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

表 3.1.35 確認種一覧（魚類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号							
					2	6	7	8	9	10	11	
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ南方種	<i>Lethenteron</i> sp.S.							●	
-			スナヤツメ類	<i>Lethenteron</i> sp.N and/or sp.S	●							
2	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	●	●	●				●	
3	コイ目	コイ科	キンギョ	<i>Carassius auratus</i>							●	
4			オオキンブナ	<i>Carassius buergeri buergeri</i>	●							
5			ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	●		●					
6			ギンブナ	<i>Carassius langsdorfii</i>	●						●	
-			フナ類	<i>Carassius buergeri</i>		●	●		●	●	●	
7			コイ（飼育型）	<i>Cyprinus carpio</i>								
-			コイ（型不明）	<i>Cyprinus carpio</i>	●	●	●		●	●	●	
8		コイ科（タナゴ科）	イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i>							●	
9			イタセンバラ	<i>Acheilognathus longipinnis</i>		●						
10			タナゴ	<i>Acheilognathus melanogaster</i>		●						
11			タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	●		●				●	
12			ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>							●	
13		コイ科（カマツカ科）	ゼゼラ	<i>Biwia zezera</i>	●							
14			ホンモロコ	<i>Gnathopogon caeruleus</i>							●	
15			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	●		●				●	
16			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	●						●	
-			ニゴイ類	<i>Hemibarbus barbus complex</i>	●							
17			カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus</i>	●		●			●	●	
18			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	●	●	●		●	●		
19			ウシモツゴ	<i>Pseudorasbora pugnax</i>			●			●		
20			ビワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus microoculus</i>								
21			カワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	●						●	
22			スゴモロコ	<i>Squalidus chankaensis biwae</i>	●							
-			スゴモロコ類	<i>Squalidus chankaensis</i>	●							
23			コウライモロコ	<i>Squalidus chankaensis tsuchigae</i>			●				●	
24			イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i>								
25			デメモロコ	<i>Squalidus japonicus japonicus</i>							●	
26		コイ科（ウグイ科）	ウグイ	<i>Pseudaspius hakonensis</i>	●						●	
-			ウグイ属の一種	<i>Pseudaspius</i> sp.	●							
27			アブラハヤ	<i>Rhynchocypris lagowskii steindachneri</i>	●						●	
28			タカハヤ	<i>Rhynchocypris oxycephala</i>							●	
29		コイ科（Xenocypridae）	ソウギョ	<i>Ctenopharyngodon idellus</i>							●	
30			カワバタモロコ	<i>Hemigrammocypripis neglecta</i>	●		●	●			●	
31			ヌマムツ	<i>Candidia sieboldii</i>	●		●				●	
32			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>						●	●	
-			カワムツ属の一種	<i>Candidia</i> sp.	●							
33			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>	●		●	●	●	●		
-			オイカワまたはカワムツ属の一種	-							●	
34			ハス	<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>	●							
-			コイ科の一種	Cyprinidae sp.		●						
35		ドジョウ科	トウカイコガタスジマドジョウ	<i>Cobitis minamorii tokaiensis</i>							●	
36			ニシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type B							●	
-			シマドジョウ種群	<i>Cobitis biwae complex</i>	●							
37			ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	●	●	●	●	●	●	●	
38		フクドジョウ科	ボトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	●		●	●			●	
39	ナマズ目	アメリカナマズ科	チャネルキャットフィッシュ	<i>Ictalurus punctatus</i>							●	
40		ギギ科	ネコギギ	<i>Tachysurus ichikawai</i>	●						●	
41			ギギ	<i>Tachysurus nudiceps</i>	●						●	
42		ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	●	●	●		●	●		
43		アカザ科	アカザ	<i>Liobagrus reinii</i>	●						●	
44	サケ目	キュウリウオ科	ワカサギ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	●							
45		アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	●	●					●	
46		サケ科	サツキマス・アマゴ	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>	●						●	
47			ブラウントラウト	<i>Salmo trutta</i>							●	
48			ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>							●	
-			イワナ属の一種	<i>Salvelinus</i> sp.							●	
49	ボラ目	ボラ科	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>							●	
50	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	●		●			●	●	
51	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	●	●	●	●	●	●		
-			メダカ（飼育品種）	<i>Oryzias latipes</i>							●	
52	スズキ目	カジカ科	カジカ	<i>Cottus pollux</i>							●	
53			ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）	<i>Cottus reinii</i>							●	
54			カマキリ（アユカケ）	<i>Rheopresbe kazika</i>							●	
55		サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus macrochirus</i>	●		●		●	●	●	
56			オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	●	●	●				●	
57		ドンコ科	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>	●						●	
58		ハゼ科	ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>							●	
59			ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>							●	
60			ビワヨシノボリ	<i>Rhinogobius biwaensis</i>							●	
61			カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	●		●		●	●		
62			ルリヨシノボリ	<i>Rhinogobius mizunoi</i>							●	
63			シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	●						●	
64			トウヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp.	●						●	
-			トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified							●	
65			オウミヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. OM			●					
66			トウカイヨシノボリ	<i>Rhinogobius telma</i>			●			●		
-			ヨシノボリ属の一種	<i>Rhinogobius</i> sp.	●							
67			スマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>							●	
68		ゴクラクギョ科	チョウセンブナ	<i>Macropodus ocellatus</i>		●						
69		タイワンドジョウ科	カムルチー	<i>Channa argus</i>	●	●	●		●	●		
	9目	25科	69種		39種	13種	23種	5種	13種	59種	8種	

注 1）表中の文献番号は表 3.1.30 の番号と対応する。

注 2）種名及び配列については原則として「日本産魚類全種リスト（JAF リスト）」（令和 7 年 5 月 鹿児島大学総合研究博物館）に準拠した。

⑥ 昆虫類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる昆虫類（クモ類含む）は、表 3.1.36 に示すとおり、30 目 542 科 9,664 種である。

対象事業実施想定区域及びその周囲は西側に大きなため池（愛知池）があり、東側は住宅地となっている。隣接する北側は工場や資材置き場等の用地となっている。南から南西にかけてはグラウンドや大学の農場、耕作地等が広がり、その周囲に住宅地が点在している。北側は河川を挟んで水田や畑などの耕作地も広がっている。愛知池の周囲及び大学農場や工場周辺には樹林地が存在している。

このような環境を反映し、クモ類では平地から山地まで広く分布し網を作るニホンヒメグモ、ジョロウグモ、コガネグモや人家周辺に多いオニグモ、葉の上などでの待ち伏せ型のササグモ、地面に巣を作るワスレナグモなど、多様な捕食形態を持つ種が確認された。

昆虫類ではイチモンジセセリやモンキチョウやオオスカシバ等のチョウ目やトノサマバッタ等のバッタ目、アブラゼミ等のカメムシ目、ナナホシテントウ等のコウチュウ目、ため池や水田等の水辺環境を生息環境とするハグロトンボやシオカラトンボ等のトンボ目、ハイイロゲンゴロウやミズスマシ等の水生昆虫類が多く確認されている。

このほか、耕作地や草地等を生息環境とするツユムシやトノサマバッタ等のバッタ目、樹林地を生息環境とするコクワガタやシロスジカミキリ等のコウチュウ目を確認されている。

表 3.1.36 確認種一覧（昆虫類）

目 名	主な確認種	科 数	種 数
クモ目	ワスレナグモ、ニホンヒメグモ、ハナサラグモ、ジョロウグモ、オニグモ、コガネグモ、ミナミコモリグモ、ササグモ、オオハエトリ	43	479
カマアシムシ目	カマアシムシ、ヤマトカマアシムシ	2	14
トビムシ目	ムラサキトビムシ、トゲトビムシ、シロツチトビムシ、タマトビムシ	14	93
コムシ目	イシイハサミコムシ	1	1
イシノミ目	ヤマトイシノミ	1	1
シミ目	ヤマトシミ	1	1
カゲロウ目（蜉蝣目）	モンカゲロウ、クロマダラカゲロウ、サホコカゲロウ、ナミヒラタカゲロウ	11	73
トンボ目（蜻蛉目）	アオイトトンボ、ベニイトトンボ、ハグロトンボ、ギンヤンマ、キイロサナエ、オニヤンマ、シオカラトンボ、アキアカネ	11	91
カワゲラ目（セキ翅目）	カミムラカワゲラ、トウゴウカワゲラ、ヒメアミメカワゲラ	5	30
バッタ目（直翅目）	コロギス、クツワムシ、ツユムシ、ウスイロササキリ、ケラ、スズムシ、カネタタキ、トノサマバッタ、コバネイナゴ、ヒメヒシバッタ	17	122
ナナフシ目（竹節虫目）	ニホントビナナフシ、ナナフシモドキ	1	7
ハサミムシ目（革翅目）	コバネハサミムシ、ミジンハサミムシ、オオハサミムシ	4	10
ゴキブリ目（網翅目）	クロゴキブリ、ヤマトゴキブリ	3	8
シロアリ目	ヤマトシロアリ	1	1
カマキリ目（蟷螂目）	ハラビロカマキリ、ウスバカマキリ、オオカマキリ	2	9
チャタテムシ目	クリイロチャタテ、カバイロチャタテ	7	13
ハジラミ目	イヌハジラミ	1	1
シラミ目	ヒメネズミシラミ	2	4
カメムシ目（半翅目）	ヒシウンカ、セスジウンカ、アカハネナガウンカ、アオバハゴロモ、クマゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ツマジロヨコバイ、ヨコヅナサシガメ、ヒメグンバイ、ホソヘリカメムシ、クサギカメムシ、アメンボ、コオイムシ、ヒメタイコウチ、マツモムシ	58	727
アザミウマ目	クワアザミウマ、クチキクダアザミウマ	2	12
ラクダムシ目	ラクダムシ	1	57
ヘビトンボ目	ヘビトンボ、ヤマトセンブリ	2	6
アミメカゲロウ目（脈翅目）	キマダラヒロバカゲロウ、ミズカゲロウ、ツノトンボ、ホシウスバカゲロウ	9	1
コウチュウ目（鞘翅目）	アオヘリホソゴミムシ、コハンミョウ、ハイイロゲンゴロウ、ミズスマシ、ナガヒラタムシ、キベリヒラタガムシ、クロシデムシ、ヤマトデオキノコムシ、キムネマルハナミ、コクワガタ、アオドウガネ、ヒメツヤドROMシ、ウバタマムシ、サビキコリ、ジョウカイボン、ヘイケボタル、ナナホシテントウ、ヨツボシオオキスイ、シロスジカミキリ、ヨツボシハムシ、シロヒゲナガゾウムシ、ハイイロチョッキリ、ナカスジカレキゾウムシ、キイロコキクイムシ	104	2,914
ネジレバネ目	スズメバチネジレバネ	1	2
シリアゲムシ目（長翅目）	ヤマトシリアゲ、ミスジシリアゲ	2	15
ハエ目（双翅目）	コマダラヒメガガンボ、キアシガガンボ、アオメアブ、オオケチョウバエ、ヤマトユスリカ、アシマダラブユ、ネグロクサアブ、ウシアブ、オオハナアブ、キイロショウジョウバエ、ナミニクバエ	79	934
チョウ目（鱗翅目）	チャノミガ、コスカシバ、イラガ、イチモンジセセリ、ツバメシジミ、アサギマダラ、モンキチョウ、ツトガ、ウスアカマダラメイガ、マユミトガリバ、キエダシヤク、ホシカレハ、ヒメヤマユ、オオスカシバ、セグロシヤチホコ、アカヒトリ、チャドクガ、シロスジアツバ	73	2,960
トビケラ目（毛翅目）	コガタシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、ニンギョウトビケラ、エグリトビケラ	29	179
ハチ目（膜翅目）	ハグロハバチ、キバナガアリガタバチ、オオセイボウ、クロヤマアリ、ミカドトックリバチ、フタモンクモバチ、サトジガバチ、ニホンミツバチ、アオスジハナバチ、オオハキリバチ	55	899
30 目	542 科 9,664 種		

注）確認文献は表 3.1.30 の番号 1、2、6、7、8、9、10、11 である。

⑦ 貝類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる貝類は、表 3.1.37 に示すとおり、9 目 35 科 124 種である。

キセルガイ科やベッコウマイマイ科などの陸産貝類のほか、水質の良いところを生息環境とするカワニナやモノアラガイ、マシジミ、水質の悪いところを生息環境とするヒメタニシやサカマキガイ等の淡水産貝類が確認されている。また、スクミリンゴガイといった外来種も確認されている。

表 3.1.37(1) 確認種一覧（貝類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号							
					1	2	6	7	8	9	10	11
1	中腹足目	ヤマタニシ科	ヤマタニシ	<i>Cyclophorus herklotsi</i>							●	
2			ミジンヤマタニシ	<i>Nakadaella micron</i>							●	
3		アズキガイ科	アズキガイ	<i>Pupinella rufa</i>							●	
4			ビルスプリムシオイ	<i>Chamalycaeus pilsbryi</i>							●	
5		ゴマガイ科	ゴマガイ	<i>Diplommatina cassa</i>							●	
6			イブキゴマガイ	<i>Diplommatina labiosa</i>							●	
7			ヤマトゴマガイ	<i>Diplommatina nipponensis</i>							●	
8			ヒダリマキゴマガイ	<i>Palaina pusilla</i>							●	
9	新生腹足目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>				●		●	●	
10		タニシ科	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	●			●		●	●	
11			オオタニシ	<i>Heterogen japonica</i>		●		●		●	●	
12			ヒメタニシ	<i>Sinotaia histrica</i>				●		●	●	
13			タニシ科の一種	<i>Viviparidae sp.</i>			●					
14		カワニナ科	クロダカワニナ	<i>Semisulcospira kurodai</i>		●					●	
15			カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>			●	●			●	
16			チリメンカワニナ	<i>Semisulcospira reiniana</i>		●					●	
17		イツマデガイ科	カタヤマガイ	<i>Oncomelania nosophora</i>			●					
18	異鰓目	ケシガイ科	ニホンケシガイ	<i>Carychium nipponense</i>							●	
19	汎有肺目	モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ	<i>Orientogalba oillula</i>				●			●	
20			ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>				●		●	●	
21			モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>							●	
22		サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physella acuta</i>		●		●		●	●	
23			カワコザラガイ	<i>Ferrissia nipponica</i>							●	
24		ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus pulcher</i>							●	
25			ミズコハクガイ	<i>Gyraulus soritai</i>							●	
26			ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus spirillus</i>	●						●	
27			トウキョウヒラマキガイ	<i>Gyraulus tokyoensis</i>							●	
28			ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i>							●	
29	柄眼目	オカモノアラガイ科	ヒメオカモノアラガイ	<i>Neosuccinea lyrata horticola</i>				●				
30			ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i>							●	
31		キバサナガイ科	ナタネキバサナガイ	<i>Vertigo eogea</i>	●						●	
32			マルナタネガイ	<i>Parazoogenetes orcula</i>							●	
33		ミジンマイマイ科	ヒラドマルナタネ	<i>Pupisoma harpula</i>				●			●	
34			ミジンマイマイ	<i>Vallonia costata</i>							●	
35		キセルガイモドキ科	キセルガイモドキ	<i>Mirus reinianus</i>							●	
36			ナミコギセル	<i>Euphaedusa tau</i>				●			●	
37		キセルガイ科	オオギセル	<i>Megalophaedusa martensi</i>							●	
38			ミカワギセル	<i>Mesophaedusa hickonis mikawa</i>							●	
39			オクガタギセル	<i>Mundiphaedusa dorcas</i>							●	
40			ホソヤカギセル	<i>Mundiphaedusa hosayaka</i>	●					●	●	
41			ハチノコギセル	<i>Mundiphaedusa kawasaki</i>							●	
42			チビギセル	<i>Pinguiphaedusa expansilabris</i>							●	
43			ツムガタモドキギセル	<i>Pinguiphaedusa pinguis platyauchen</i>							●	
44			ツムガタギセル	<i>Pinguiphaedusa pinguis platydera</i>							●	
45			ナミギセル	<i>Stereophaedusa japonica</i>							●	
46			ウスベニギセル	<i>Tyrannophaedusa aurantiaca</i>							●	
47			エルベリギセル	<i>Tyrannophaedusa aurantiaca erberi</i>							●	
48			キセルガイ類	<i>Clausilidae sp.</i>							●	
49		ナタネガイ科	ナタネガイ属の一種	<i>Punctum sp.</i>							●	
50			<i>Punctum sp.</i> (ナタネガイ類似種)	<i>Punctum sp.</i>							●	
51			<i>Punctum sp.</i> (ナタネガイ類似種)(在来種)	<i>Punctum sp.</i>							●	
52			イシノシタ科	<i>Helicodiscus inermis</i>							●	
53		オカチョウジガイ科	マルオカチョウジガイ	<i>Allopeas brevispirum</i>				●				
54			オカチョウジガイ	<i>Allopeas clavulinum kyotoense</i>				●			●	
55			トクサオカチョウジガイ	<i>Allopeas javanicum</i>				●		●	●	
56			ホソオカチョウジガイ	<i>Allopeas pyrgula</i>							●	
57		ナタネガイ科	ミジンナタネ	<i>Punctum atomus</i>							●	
58			ハリマナタネ	<i>Punctum japonicum</i>							●	
59		コハクガイ科	ヒメコハクガイ	<i>Hawaiiia minuscula</i>				●			●	
60			コハクガイ	<i>Zonitoides arboreus</i>				●			●	
61		ナメクジ科	ナメクジ	<i>Meghimatium bilineatum</i>				●				
62			ヤマナメクジ	<i>Meghimatium fruhstorferi</i>				●			●	

注1) 表中の文献番号は表 3.1.30の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

表 3.1.37(2) 確認種一覧（貝類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号									
					1	2	6	7	8	9	10	11		
63	柄眼目	ベッコウマイマイ科	ヒラベッコウガイ	<i>Bekkochlamys micrograpta</i>								●		
64			ツノイロヒメベッコウ	<i>Ceratochlamys ceratodes</i>									●	
65			ウラウズタカキビ	<i>Coneuplecta</i> sp.									●	
66			ヒメベッコウガイ	<i>Discoconulus sinapidium</i>					●				●	
67			シロヒメベッコウ近似種	<i>Discoconulus</i> sp. cf. <i>calicicola</i>									●	
68			ヤクシマヒメベッコウ	<i>Discoconulus yakuensis</i>									●	
69			カスミヒメベッコウ	<i>Discoconulus</i> sp.									●	
70			キビガイ	<i>Gastrodontella multivolvris</i>					●				●	
71			ハクサンベッコウ	<i>Nipponochlamys hakusanus</i>					●					
72			ハクサンベッコウ属の一種	<i>Nipponochlamys</i> sp. cf. <i>semisericata</i>									●	
73			ハリマキビ	<i>Parakaliella harimensis</i>									●	
74			ヒゼンキビ	<i>Parakaliella hizenensis</i>									●	
75			ヒメハリマキビ	<i>Parakaliella pagoduloides</i>									●	
76			ハリマキビ属の一種	<i>Parakaliella</i> sp.									●	
77			ウスイロシタラガイ	<i>Parasitala pallida</i>					●				●	
78			マルシタラガイ	<i>Parasitala reinhardti</i>									●	
79			コシタカシタラガイ	<i>Sitalina circumcincta</i>									●	
80			ウメムラシタラガイ	<i>Sitalina japonica</i>	●								●	
81			カサキビ	<i>Trochochlamys crenulata</i>									●	
82			オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i>					●				●	
83			タカキビ	<i>Trochochlamys praealta</i>	●				●				●	
84			ヒメカサキビ	<i>Trochochlamys subcrenulata</i>	●								●	
85			ウラジロベッコウ	<i>Urazirochlamys doenitzii</i>					●				●	
86			オオクラヒメベッコウ	<i>Yamatochlamys lampra</i>					●				●	
87			ナミヒメベッコウ	<i>Yamatochlamys vaga</i>									●	
88			ナミヒメベッコウ属の一種	<i>Yamatochlamys</i> sp.									●	
89			ベッコウマイマイ類	Helicarionidae sp.									●	
90			ベッコウマイマイ科の一種	Helicarionidae sp.									●	
91		ニッポンマイマイ科	トウカイビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis oscitans</i>								●		
92			シメクチマイマイ	<i>Satsuma ferruginea</i>								●		
93			ニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica</i>								●		
94			カドバリニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica carinata</i>								●		
95			コベソマイマイ	<i>Satsuma myomphala</i>								●		
96		ナンバンマイマイ科	ビロウドマイマイ属の一種	<i>Nipponochloritis</i> sp.								●		
97		オナジマイマイ科	ウスカワマイマイ	<i>Acusta despecta sieboldiana</i>					●			●		
98			カドコオオベソマイマイ	<i>Aegista proba goniosoma</i>								●		
99			コオオベソマイマイ	<i>Aegista proba mimula</i>								●		
100			オオケマイマイ	<i>Aegista vulgivaga</i>								●		
101			オナジマイマイ	<i>Bradybaena similis</i>							●	●		
102			クチベニマイマイ	<i>Euhadra amaliae</i>								●		
103			ハコネマイマイ	<i>Euhadra callizona</i>								●		
104			イセノナミマイマイ	<i>Euhadra eoa communisiformis</i>					●			●		
105			ヒラヒダリマキマイマイ	<i>Euhadra scaevola interioris</i>								●		
106			カタマメマイマイ	<i>Lepidopisum verrucosum</i>								●		
107			マメマイマイ	<i>Trishoplita commoda</i>					●			●		
108			エンドウマイマイ	<i>Trishoplita commoda endo</i>								●		
109			ヒルゲンドルフマイマイ	<i>Trishoplita hilgendorffi</i>					●					
110		タワラガイ科	タワラガイ	<i>Sinoennea iwakawa</i>								●		
111	イガイ目	イガイ科	カワヒバリガイ	<i>Limnoperna fortunei</i>								●		
112	イシガイ目	イシガイ科	ドブガイ	<i>Anodonta woodiana</i>		●		●						
113			ミナミタガイ	<i>Beringiana fukuharai</i>								●		
114			カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i>				●						
115			トンガリササノハガイ	<i>Lanceolaria grayana cuspidata</i>								●		
116			イシガイ	<i>Nodularia douglasiae</i>							●	●		
117			ヌマガイ	<i>Sinanodonta lauta</i>							●	●		
118			マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>				●		●	●	
119			マシジミ	<i>Corbicula leana</i>		●		●		●	●			
120			シジミ属の一種	<i>Corbicula</i> sp.			●				●			
121		ドブシジミ科	ドブシジミ	<i>Musculium japonicum</i>							●			
122			ウエジマメシジミ	<i>Pisidium uejii</i>							●			
123	アマオブネ	ヤマキサゴ科	ヤマキサゴ	<i>Waldemaria japonica</i>							●			
124	ガイ目	ゴマオカタニシ科	ゴマオカタニシ	<i>Georissa japonica</i>							●			
	9 目	35 科	124 種		7 種	6 種	5 種	33 種	0 種	13 種	115 種	0 種		

注1) 表中の文献番号は表 3.1.30の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

(2) 重要な動物種

確認された種のうち、重要な動物種を抽出した。重要な動物種の選定根拠は表 3.1.38 に、その選定基準は表 3.1.39 に示すとおりである。

なお、表 3.1.30 の確認文献の中には、詳細な位置情報の記載がないものも含まれるため、事業実施想定区域及びその周囲から離れた地域で見られる種を掲載している可能性がある。

表 3.1.38 重要な動物種の選定根拠

番号	法令・文献等	選定基準
I	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号) 「愛知県文化財保護条例」(昭和30年愛知県条例第6号) 「東郷町文化財保護条例」(昭和52年東郷町条例第21号) 「日進市文化財保護条例」(昭和51年日進市条例第1号) 「みよし市文化財保護条例」(昭和46年みよし市条例第8号) 「豊田市文化財保護条例」(昭和51年豊田市条例第24号)	・特別天然記念物(特天) ・国指定天然記念物(国天) ・愛知県指定天然記念物(県天) ・東郷町指定天然記念物(町天) ・日進市指定天然記念物(市天) ・みよし市指定天然記念物(市天) ・豊田市指定天然記念物(市天)
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成4年法律第75号)	・国際希少野生動植物種(国際) ・国内希少野生動植物種(国内) ・特定第一種国内希少野生動植物種(特1) ・特定第二種国内希少野生動植物種(特2) ・緊急指定種(緊急)
III	「環境省レッドリスト2020」 (令和2年3月27日 環境省報道発表資料)	・絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN) ・絶滅危惧ⅠA類(CR) ・絶滅危惧ⅠB類(EN) ・絶滅危惧Ⅱ類(VU) ・準絶滅危惧(NT) ・情報不足(DD) ・地域個体群(LP)
IV	「レッドリストあいち2025」レッドリスト (令和7年3月 愛知県)	・絶滅危惧ⅠA類(CR) ・絶滅危惧ⅠB類(EN) ・絶滅危惧Ⅱ類(VU) ・準絶滅危惧(NT) ・情報不足(DD) ・地域個体群(LP)
V	「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」 (昭和48年愛知県条例第3号)	・指定希少野生動植物種(希少)

表 3.1.39 重要な動物種の選定基準

番号	選定基準	評価基準
I	特別天然記念物 (特天)	天然記念物のうち世界的にまた国家的に価値が特に高いもの
	国指定天然記念物 (国天)	動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、我が国の自然を記念するもの
	愛知県指定天然記念物 (県天)	動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、愛知県の自然を記念するもの
	東郷町指定天然記念物 (町天)	動物 (生息地・繁殖地及び渡来地を含む。)・植物 (自生地を含む。)及び地質鉱物 (特異な自然現象の生じている土地を含む。)で学術上価値の高いもの
	日進市指定天然記念物 (市天)	動物 (生息地・繁殖地及び渡来地を含む。)、植物 (自生地を含む。)及び地質、鉱物 (特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で学術上価値の高いもの
	みよし市指定天然記念物 (市天)	動物 (生息地・繁殖地及び渡来地を含む。)、植物 (自生地を含む。)及び地質、鉱物 (特異な自然の現象を生じている土地を含む。)で学術上価値の高いもの
	豊田市指定天然記念物 (市天)	動物 (生息地・繁殖地及び渡来地を含む。)、植物 (自生地を含む。)及び地質、鉱物 (特異な自然現象の生じている土地を含む。)で学術上価値の高いもの
II	国際希少野生動植物種 (国際)	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種 (国内希少野生動植物種を除く。)であって、政令で定めるものをいう
	国内希少野生動植物種 (国内)	その個体が本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で定めるものをいう
	特定第一種国内希少野生動植物種 (特1)	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものであること 二 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと
	特定第二種国内希少野生動植物種 (特2)	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう 一 種の個体の主要な生息地若しくは生育地が消滅しつつあるものであること又はその種の個体の生息若しくは生育の環境が著しく悪化しつつあるものであること 二 種の存続に支障を来す程度にその種の個体の数が著しく少ないものでないこと 三 繁殖による個体の数の増加の割合が低いものでないこと 四 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと
	緊急指定種 (緊急)	環境大臣が、希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定するものをいう
III	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種
	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種
	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種
	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危機が増大している種
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
IV	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種
	情報不足 (DD)	「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」のいずれかに該当する可能性が高いが、評価するだけの情報が不足している種
	地域個体群 (LP)	その種の国内における生息状況に鑑み、愛知県において特に保全のための配慮が必要と考えられる特徴的な個体群
V	指定希少野生動植物種 (希少)	県内に生息生育する絶滅のおそれのある野生動植物種のうち、特に保護を図る必要があるもの

注) 表中のⅠ～Ⅴは表 3.1.38の番号と対応する。

① 哺乳類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる哺乳類の重要種は、表 3.1.40 に示すとおり、5 目 10 科 19 種である。

樹林地を生息環境とするヒナコウモリやムササビ、ヤマネ、アナグマ、カモシカ等が重要種として該当している。

表 3.1.40 重要種一覧（哺乳類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
1	モグラ目 (食虫目)	トガリネズミ科	カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephalus</i>	-	-	-	VU	-
2		モグラ科	ミズラモグラ	<i>Oreoscaptor mizura</i>	-	-	NT	CR	-
3			アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>	-	-	-	VU	-
4	コウモリ目 (翼手目)	キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>	-	-	-	NT	-
5		ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>	-	-	-	VU	-
6			ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>	-	-	VU	CR	-
7			ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i>	-	-	-	EN	-
8			ユビナガコウモリ	<i>Miniopterus fuliginosus</i>	-	-	-	EN	-
9			テングコウモリ	<i>Murina hilgendorfi</i>	-	-	-	EN	-
10	ネズミ目 (齧歯目)	リス科	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	-	-	-	NT	-
11			ニホンモモンガ	<i>Pteromys momonga</i>	-	-	-	EN	-
12			ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i>	-	-	-	NT	-
13		ヤマネ科	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i>	国天	-	-	NT	-
14		ネズミ科	スミスネズミ	<i>Craseomys smithii</i>	-	-	-	NT	-
15			ハタネズミ	<i>Alexandromys montebelli</i>	-	-	-	NT	-
16			カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	-	-	-	VU	-
17	ネコ目 (食肉目)	クマ科	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i>	-	-	-	CR	-
18		イタチ科	アナグマ	<i>Meles anakuma</i>	-	-	-	NT	-
19	ウシ目 (偶蹄目)	ウシ科	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	特天	-	-	-	-
	5目	10科	19種		2 種	0 種	2 種	18 種	0 種

注1) 表中の I ～ V は表 3.1.38 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

注3) シベリアイタチは移入した亜種のチョウセンイタチであるため、重要種から除外した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

② 鳥類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる鳥類の重要種は、表 3.1.41 に示すとおり、17 目 39 科 113 種である。

樹林地、ため池、草地等多岐にわたる環境に生息する鳥類が該当している。

表 3.1.41(1) 重要種一覧（鳥類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
1	カモ目	カモ科	コクガン	<i>Branta bernicla nigricans</i>	国天	-	VU	越:EN	-
2			ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>	国天	-	VU	-	-
3			マガン	<i>Anser albifrons albifrons</i>	国天	-	NT	-	-
4			カリガネ	<i>Anser erythropus</i>	-	-	EN	-	-
5			ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>	-	-	VU	越:VU	-
6			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	-	-	DD	繁:VU/越:NT	-
7			トモエガモ	<i>Sibirionetta formosa</i>	-	-	VU	越:VU	-
8			アカハジロ	<i>Aythya baeri</i>	-	-	DD	-	-
9			シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i>	-	-	-	越:VU	-
10			ビロードキンクロ	<i>Melanitta stejnegeri</i>	-	-	-	越:EN	-
11			クロガモ	<i>Melanitta americana</i>	-	-	-	越:NT	-
12			カワアイサ	<i>Mergus merganser merganser</i>	-	-	-	越:NT	-
13			コウライアイサ	<i>Mergus squamatus</i>	-	国際	-	-	-
14	キジ目	キジ科	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii scintillans</i>	-	-	-	繁:NT/越:NT	-
15			ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>	-	-	VU	越:EN	-
16	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus jotaka jotaka</i>	-	-	NT	繁:EN/通:VU	-
17	アマツバメ目	アマツバメ科	ヒメアマツバメ	<i>Apus nipalensis kuntzi</i>	-	-	-	繁:NT/越:NT	-
18	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Hierococyx hypertythrus</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-
19			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-
20			カッコウ	<i>Cuculus canorus canorus</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-
21	ツル目	クイナ科	クイナ	<i>Rallus indicus</i>	-	-	-	越:NT	-
22			バン	<i>Gallinula chloropus chloropus</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-
23			シマクイナ	<i>Coturnicops exquisitus</i>	-	国内	EN	-	-
24			ヒクイナ	<i>Zapornia fusca erythrothorax</i>	-	-	NT	繁:VU/通:NT	-
25		ツル科	ナベツル	<i>Grus monacha</i>	-	国際	VU	-	-
26	カイツブリ目	カイツブリ科	アカエリカイツブリ	<i>Podiceps grisegena holbollii</i>	-	-	-	越:EN	-
27			ミミカイツブリ	<i>Podiceps auritus auritus</i>	-	-	-	越:VU	-
28	チドリ目	ミヤコドリ科	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus osculans</i>	-	-	-	越:NT	-
29		セイタカシギ科	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	-	-	VU	繁:VU/越:NT	-
30		チドリ科	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	-	-	DD	繁:NT/越:VU	-
31			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	-	-	-	越:NT	-
32			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-
33			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	-	-	VU	繁:EN/越:VU	-
34			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	-	国際	-	-	-
35		タマシギ科	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>	-	-	VU	繁:EN/越:EN	-
36		シギ科	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	-	国際	VU	EN	-
37			ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata orientalis</i>	-	-	-	越:VU	-
38			オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	-	-	VU	EN	-
39			オグロシギ	<i>Limosa limosa melanuroides</i>	-	-	-	EN	-
40			エリマキシギ	<i>Calidris pugnax</i>	-	-	-	CR	-
41			キリアイ	<i>Calidris falcinellus sibirica</i>	-	-	-	EN	-
42			ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>	-	-	-	EN	-
43			オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i>	-	-	-	VU	-
44			ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i>	-	-	-	CR	-
45			トウネン	<i>Calidris tricolor</i>	-	-	-	VU	-
46			ミユビシギ	<i>Calidris alba</i>	-	-	-	越:VU	-
47			ハマシギ	<i>Calidris alpina sakhalina</i>	-	-	NT	越:VU	-
48			オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i>	-	-	-	越:EN	-
49			ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	-	-	-	越:NT	-
50			アオシギ	<i>Gallinago solitaria japonica</i>	-	-	-	越:VU	-
51			オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	-	-	NT	繁:EX/通:VU	-
52			アカアシシギ	<i>Tringa totanus ussuriensis</i>	-	-	VU	VU	-
53			タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	-	-	VU	EN	-
54			ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	-	-	VU	EN	-
55		ツバメチドリ科	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>	-	-	VU	繁:CR/通:EN	-
56		カモメ科	ズグロカモメ	<i>Saundersilarus saundersi</i>	-	-	VU	越:VU	-
57			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>	-	-	NT	越:NT	-
58			コアシサシ	<i>Sternula albifrons sinensis</i>	-	-	VU	繁:EN/通:VU	-
59		ウミスズメ科	ウミスズメ	<i>Synthliboramphus antiquus antiquus</i>	-	-	CR	-	-
60	コウノトリ目	コウノトリ科	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>	特天	国内	CR	越:NT	-
61	カツオドリ目	ウ科	ヒメウ	<i>Urile pelagicus pelagicus</i>	-	-	EN	越:NT	-

注1) 表中の I～V は表 3.1.38 の番号と対応する。

注2) IV の指定状況の意味は次のとおりである。越：越冬 繁：繁殖 通：通過

注3) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版」（令和6年10月 日本鳥学会）に準拠した。

表 3.1.41(2) 重要種一覧（鳥類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
62	ペリカン目	トキ科	ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia leucorodia</i>	-	-	DD	-	-
63			クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>	-	国内	EN	越:VU	-
64		サギ科	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	-	-	EN	EN	-
65			ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis sinensis</i>	-	-	NT	繁:CR/通:CR	-
66			ミゾゴイ	<i>Gorsachius gisagis</i>	-	-	VU	繁:VU/通:NT	-
67			ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax nycticorax</i>	-	-	-	繁:NT/越:NT	-
68			チュウサギ	<i>Ardea intermedia intermedia</i>	-	-	NT	繁:NT/通:NT	-
69			クロサギ	<i>Egretta sacra sacra</i>	-	-	-	越:EN	-
70	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus haliaetus</i>	-	-	NT	繁:VU	-
71		タカ科	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus orientalis</i>	-	-	NT	繁:VU	-
72			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis orientalis</i>	-	国内	EN	繁:EN/越:EN	-
73			イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos japonica</i>	国天	国内	EN	-	-
74			ツミ	<i>Accipiter gularis gularis</i>	-	-	-	繁:NT	-
75			ハイタカ	<i>Accipiter nisus nisosimilis</i>	-	-	NT	越:NT	-
76			オオタカ	<i>Accipiter gentilis fujiyamae</i>	-	-	NT	繁:VU/越:VU	-
77			チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	-	国内	EN	繁:CR/越:VU	-
78			ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>	-	-	-	越:VU	-
79			オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>	国天	国内	VU	-	-
80			オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla albicilla</i>	国天	国内	VU	-	-
81			サンバ	<i>Butastur indicus</i>	-	-	VU	繁:EN/通:NT	-
82	フクロウ目	フクロウ科	アオバズク	<i>Ninox japonica japonica</i>	-	-	-	繁:EN/通:VU	-
83			コノハズク	<i>Otus sunia japonicus</i>	-	-	-	繁:CR/通:VU	希少
84			オオコノハズク	<i>Otus semitorques</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-
85			トラフズク	<i>Asio otus otus</i>	-	-	-	越:EN	-
86			コミミズク	<i>Asio flammeus flammeus</i>	-	-	-	越:VU	-
87			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	-	-	-	繁:NT/越:NT	-
88	ブッポウソウ目	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis cyanocollis</i>	-	-	EN	繁:CR/通:VU	-
89		カワセミ科	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda major</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-
90			ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>	-	-	-	繁:CR/越:CR	-
91	キツツキ目	キツツキ科	オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-
92	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus japonensis</i>	-	国内	VU	繁:VU/越:NT	-
93	スズメ目	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i>	-	国内	EN	繁:EN/通:VU	-
94		サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	-	-	VU	-	-
95		モズ科	チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i>	-	-	CR	CR	-
96			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>	-	国内	EN	CR	-
97		ムシクイ科	イイジマムシクイ	<i>Phylloscopus ijimae</i>	国天	-	VU	-	-
98			オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>	-	-	DD	-	-
99		ヨシキリ科	コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>	-	-	-	繁:EX/通:CR	-
100		ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes fumigatus</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-
101		キバシリ科	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	-	-	-	繁:EN/越:VU	-
102		ツグミ科	マミジロ	<i>Geokichla sibirica davisoni</i>	-	-	-	繁:EX/通:EN	-
103			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	-	-	-	繁:CR/通:NT	-
104			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	-	-	-	繁:EX	-
105		ヒタキ科	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica dauurica</i>	-	-	-	繁:NT/通:NT	-
106			コルリ	<i>Larvivora cyane nechaevi</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-
107			コマドリ	<i>Larvivora akahige akahige</i>	-	-	-	繁:EX/通:EN	-
108		カワガラス科	カワガラス	<i>Cinclus pallasii pallasii</i>	-	-	-	繁:VU/越:VU	-
109		セキレイ科	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	-	-	-	繁:EX/越:VU	-
110		ホオジロ科	ホオアカ	<i>Emberiza fucata fucata</i>	-	-	-	繁:EX/越:NT	-
111			シマアオジ	<i>Emberiza aureola ornata</i>	-	国内	CR	-	-
112			ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>	-	-	NT	繁:EX/通:EN	-
113			コジュリン	<i>Emberiza yessoensis yessoensis</i>	-	-	VU	越:EN	-
	17目	39科	113種		8種	16種	58種	96種	1種

注1) 表中のI～Vは表 3.1.38の番号と対応する。

注2) IVの指定状況の意味は次のとおりである。越：越冬 繁：繁殖 通：通過

注3) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版」（令和6年10月 日本鳥学会）に準拠した。

③ 爬虫類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる爬虫類の重要種は、表 3.1.42 に示すとおり、2 目 4 科 5 種である。

ため池等を生息環境とするニホンイシガメや水田や湿地などを生息環境とするヤマカガシ等が重要種として該当している。

表 3.1.42 重要種一覧（爬虫類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
1	有鱗目	イシガメ科	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	-	-	NT	NT	-
2		スッポン科	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i>	-	-	DD	DD	-
3		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	-	-	-	DD	-
4		ナミヘビ科	シロマダラ	<i>Lycodon orientalis</i>	-	-	-	DD	-
5			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	-	-	-	DD	-
	2 目	4 科	5 種		0 種	0 種	2 種	5 種	0 種

注1) 表中の I～V は表 3.1.38 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本産爬虫両生類標準和名リスト」（令和7年4月 日本爬虫両棲類学会）に準拠した。

④ 両生類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる両生類の重要種は、表 3.1.43 に示すとおり、2 目 5 科 12 種である。

水田や耕作地を生息環境とするアカハライモリやナゴヤダルマガエルのほか、山地の池沼や流れの緩やかな水路に生息するトウキョウサンショウウオ等のサンショウウオ科、樹林地に生息するモリアオガエルやカジカガエル等が重要種として該当している。

表 3.1.43 重要種一覧（両生類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
1	有尾目	サンショウウオ科	トウキョウサンショウウオ	<i>Hynobius tokyoensis</i>	-	国内	VU	-	-
2			ヒガシヒダサンショウウオ	<i>Hynobius fossigenus</i>	-	国内(特2)	VU	NT	-
3			ヒダサンショウウオ	<i>Hynobius kimurae</i>	-	-	NT	EN	-
4			ミカワサンショウウオ	<i>Hynobius mikawaensis</i>	-	-	CR	CR	希少
5			ヤマトサンショウウオ	<i>Hynobius vandenburghi</i>	-	国内(特2)	VU	EN	-
6			ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i>	-	-	-	NT	-
7	無尾目	オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i>	特天	国際	VU	EN	-
8		イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	-	-	NT	NT	-
9		アカガエル科	ナゴヤダルマガエル	<i>Pelophylax porosus brevipodus</i>	-	-	EN	VU	-
10			トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	-	-	NT	-	-
11		アオガエル科	モリアオガエル	<i>Zhangixalus arboreus</i>	-	-	-	NT	-
12			カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i>	-	-	-	NT	-
	2 目	5 科	12 種		1 種	4 種	9 種	10 種	1 種

注1) 表中の I～V は表 3.1.38 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本産爬虫両生類標準和名リスト」（令和7年4月 日本爬虫両棲類学会）に準拠した。

⑤ 魚類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる魚類の重要種は、表 3.1.44 に示すとおり、7 目 15 科 31 種である。

ため池等を生息環境とするミナミメダカやドンコ、水田等を生息環境とするドジョウが重要種として該当している。

表 3.1.44 重要種一覧（魚類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ南方種	<i>Lethenteron</i> sp.S.	-	-	VU	-	-
2			スナヤツメ類	<i>Lethenteron</i> sp.N and/or sp.S	-	-	-	EN	-
3	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	-	-	EN	EN	-
4	コイ目	コイ科	ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	-	-	EN	-	-
5		コイ科	イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i>	-	-	CR	DD	-
6		コイ科 (タナゴ科)	イタセンバラ	<i>Acheilognathus longipinnis</i>	国天	国内	CR	CR	-
7			タナゴ	<i>Acheilognathus melanogaster</i>	-	-	EN	-	-
8			ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>	-	-	NT	CR	-
9		コイ科 (カマツカ科)	ゼゼラ	<i>Biwia zezera</i>	-	-	VU	NT	-
10			ホンモロコ	<i>Gnathopogon caeruleus</i>	-	-	CR	-	-
11			ウシモツゴ	<i>Pseudorasbora pugnax</i>	-	-	CR	CR	希少
12			カワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	-	-	NT	CR	-
13			スゴモロコ	<i>Squalidus chankaensis biwae</i>	-	-	VU	-	-
14			イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i>	-	-	-	NT	-
15			デメモロコ	<i>Squalidus japonicus japonicus</i>	-	-	VU	CR	-
16		コイ科 (Xenocypridae)	カワバタモロコ	<i>Hemigrammocypripis neglecta</i>	-	国内(特2)	EN	EN	-
17			ハス	<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>	-	-	VU	-	-
18		ドジョウ科	トウカイコガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis minamorii tokaiensis</i>	-	-	EN	EN	-
19			ニシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type B	-	-	-	VU	-
20			ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	-	-	NT	VU	-
21		フクドジョウ科	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	-	-	EN	EN	-
22	ナマズ目	ギギ科	ネコギギ	<i>Tachysurus ichikawai</i>	国天	-	EN	CR	-
23		アカザ科	アカザ	<i>Liobagrus reinii</i>	-	-	VU	NT	-
24	サケ目	サケ科	サツキマス・アマゴ	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>	-	-	-	DD	-
25			ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>	-	-	DD	-	-
26	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	-	-	VU	VU	-
27	スズキ目	カジカ科	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	-	-	NT	EN	-
28			カマキリ (アユカケ)	<i>Rheopresbe kazika</i>	-	-	VU	EN	-
29		ドンコ科	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>	-	-	-	EN	-
30		ハゼ科	ビウヨシノボリ	<i>Rhinogobius biwaensis</i>	-	-	DD	-	-
31			トウカイヨシノボリ	<i>Rhinogobius telma</i>	-	-	NT	CR	-
	7目	15科	31種		2種	2種	26種	23種	1種

注 1) 表中の I～V は表 3.1.38 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本産魚類全種リスト (JAF リスト)」（令和 7 年 5 月 鹿児島大学総合研究博物館）に準拠した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

⑥ 昆虫類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる昆虫類（クモ類含む）の重要種は、表 3.1.45 に示すとおり、14 目 109 科 275 種である。

樹林地、ため池等の水域、草地等多岐にわたる環境に生息する種が該当している。

表 3.1.45(1) 重要種一覧（昆虫類）

No.	目名	科名	学名	種名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
1	クモ目	ジグモ科	<i>Calommata signata</i>	ワスレナグモ	-	-	NT	VU	-
2		カネコトタテグモ科	<i>Antrodiaetus roretzi</i>	カネコトタテグモ	-	-	NT	VU	-
3		トタテグモ科	<i>Conothele fragaria</i>	キノボリトタテグモ	-	-	NT	VU	-
4			<i>Latouchia typica</i>	キシノウエトタテグモ	-	-	NT	VU	-
5		ヒメグモ科	<i>Enoplognatha margarita</i>	シロタマヒメグモ	-	-	-	EN	-
6		サラグモ科	<i>Herbiphantes cericeus</i>	キヌキリグモ	-	-	-	EN	-
7			<i>Herbiphantes longiventris</i>	キノボリキヌキリグモ	-	-	-	EN	-
8		アシナガグモ科	<i>Metleucauge chikunii</i>	チクニドヨウグモ	-	-	-	EN	-
9		コガネグモ科	<i>Arachnura logio</i>	キジロオヒキグモ	-	-	-	EN	-
10			<i>Araneus seminiger</i>	コケオニグモ	-	-	-	EN	-
11			<i>Araneus variegatus</i>	ニシキオニグモ	-	-	-	VU	-
12			<i>Argiope amoena</i>	コガネグモ	-	-	-	NT	-
13			<i>Cyrtarachne bufo</i>	トリノフンダマシ	-	-	-	NT	-
14			<i>Cyrtarachne inaequalis</i>	オオトリノフンダマシ	-	-	-	NT	-
15			<i>Cyrtarachne nagasakiensis</i>	シロオビトリノフンダマシ	-	-	-	NT	-
16			<i>Cyrtarachne yunoharuensis</i>	アカイロトリノフンダマシ	-	-	-	NT	-
17			<i>Gasteracantha kuhlii</i>	トゲグモ	-	-	-	VU	-
18			<i>Ordgarius hobsoni</i>	マメイタイセキグモ	-	-	-	EN	-
19			<i>Ordgarius sexspinosus</i>	ムツトゲイセキグモ	-	-	-	EN	-
20			<i>Paraplectana tsushimensis</i>	ツシマトリノフンダマシ	-	-	-	VU	-
21			<i>Pasilobus hupingensis</i>	ワクツツキジグモ	-	-	-	EN	-
22			<i>Polys illepidus</i>	ゲホウグモ	-	-	-	NT	-
23		コモリグモ科	<i>Arctosa ebicha</i>	エビチャコモリグモ	-	-	-	EN	-
24			<i>Pardosa isago</i>	イサゴコモリグモ	-	-	-	EN	-
25			<i>Pardosa yamanoi</i>	テジロハリゲコモリグモ	-	-	-	EN	-
26			<i>Pirata meridionalis</i>	ミナモコモリグモ	-	-	-	NT	-
27		サシアシグモ科	<i>Shinobius orientalis</i>	シノビグモ	-	-	-	EN	-
28		キンダグモ科	<i>Dolomedes fontus</i>	ババハシリグモ	-	-	-	CR	-
29		ネコグモ科	<i>Castianeira shaxianensis</i>	オビジガバチグモ	-	-	-	NT	-
30		ミヤマシボグモ科	<i>Zora nemoralis</i>	ミヤマシボグモモドキ	-	-	-	CR	-
31		アワセグモ科	<i>Selenops bursarius</i>	アワセグモ	-	-	-	EN	-
32		カニグモ科	<i>Heriaeus mellottei</i>	アシナガカニグモ	-	-	-	VU	-
33			<i>Phrynarachne katoi</i>	カトウツケオグモ	-	-	-	EN	-
34			<i>Xysticus trizonatus</i>	オビボソカニグモ	-	-	-	VU	-
35			<i>Lestes japonicus</i>	コバネアオイトトンボ	-	-	EN	CR	-
36	(蜻蛉目)	イトトンボ科	<i>Ceriatrion nipponicum</i>	ベニイトトンボ	-	-	NT	VU	-
37			<i>Mortonagrion selenion</i>	モートンイトトンボ	-	-	NT	VU	-
38			<i>Paracercion sieboldii</i>	オオイトトンボ	-	-	-	EN	-
39			<i>Platycnemis foliacea sasakii</i>	グンバイトンボ	-	-	NT	EN	-
40		カワトンボ科	<i>Calopteryx japonica</i>	アオハダトンボ	-	-	NT	-	-
41		ヤンマ科	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i>	ネアカヨシヤンマ	-	-	NT	NT	-
42			<i>Aeschnophlebia longistigma</i>	アオヤンマ	-	-	NT	CR	-
43		サナエトンボ科	<i>Asiagomphus pryori</i>	キイロサナエ	-	-	NT	VU	-
44			<i>Stylurus nagoyanus</i>	ナゴヤサナエ	-	-	VU	NT	-
45			<i>Stylurus oculatus</i>	メガネサナエ	-	-	VU	EN	-
46			<i>Trigomphus citimus tabei</i>	タバサナエ	-	-	NT	-	-
47			<i>Trigomphus interruptus</i>	フタスジサナエ	-	-	NT	VU	-
48			<i>Trigomphus melampus</i>	コサナエ	-	-	-	VU	-
49			<i>Trigomphus ogumai</i>	オグマサナエ	-	-	NT	EN	-
50		エゾトンボ科	<i>Epithea marginata</i>	トラフトンボ	-	-	-	VU	-
51			<i>Macromia daimoji</i>	キイロヤマトンボ	-	-	NT	NT	-
52			<i>Somatochlora clavata</i>	ハネビロエゾトンボ	-	-	VU	EN	-
53			<i>Somatochlora viridiaenea</i>	エゾトンボ	-	-	-	CR	-
54		トンボ科	<i>Libellula angelina</i>	ベッコウトンボ	-	国内	CR	CR	-
55			<i>Sympetrum croceolum</i>	キトンボ	-	-	-	EN	-
56			<i>Sympetrum infuscatum</i>	ノシメトンボ	-	-	-	NT	-
57			<i>Sympetrum kunkeli</i>	マイコアカネ	-	-	-	NT	-
58			<i>Sympetrum maculatum</i>	マダラナニワトンボ	-	-	EN	CR	-
59			<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>	ミヤマアカネ	-	-	-	NT	-
60			<i>Sympetrum uniforme</i>	オオキトンボ	-	-	EN	CR	-

注1) 表中のⅠ～Ⅴは表 3.1.38の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

表 3.1.45(2) 重要種一覧（昆虫類）

No.	目名	科名	学名	種名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
61	カワゲラ目 (セキ翅目)	アミメカワゲラ科	<i>Perlodes frisonanus</i>	フライゾンアミメカワゲラ	-	-	NT	-	-
62	バッタ目	カマドウマ科	<i>Anoplophilus minor</i>	チビクチキウマ	-	-	-	DD	-
63	(直翅目)		<i>Anoplophilus okadai</i>	ミカワクチキウマ	-	-	-	DD	-
64		クツワムシ科	<i>Mecopoda elongata</i>	タイワンクツワムシ	-	-	-	NT	-
65		ヒシバッタ科	<i>Tetrix gifuensis</i>	ギフヒシバッタ	-	-	-	DD	-
66	ナナフシ目 (竹節虫目)	ナナフシ科	<i>Phraortes elongatus</i>	エダナナフシ	-	-	-	DD	-
67	ゴキブリ目 (網翅目)	オオゴキブリ科	<i>Panesthia angustipennis spadica</i>	オオゴキブリ	-	-	-	NT	-
68	カマキリ目	カマキリ科	<i>Amantis nawai</i>	ヒナカマキリ	-	-	-	NT	-
69	(蟷螂目)		<i>Mantis religiosa sinica</i>	ウスバカマキリ	-	-	DD	-	-
70	カメムシ目	アカジマウンカ科	<i>Ommatidiotus japonicus</i>	ニホンアカジマウンカ	-	-	-	NT	-
71	(半翅目)	グンバイウンカ科	<i>Trypetimorpha japonica</i>	ハウチワウンカ	-	-	VU	-	-
72		ヨコバイ科	<i>Psammotettix kurilensis</i>	スナヨコバイ	-	-	NT	-	-
73		サシガメ科	<i>Acanthaspis cineticus</i>	ハリサシガメ	-	-	NT	-	-
74			<i>Empicoris brachystigma</i>	フタオビマダラカモドキサシガメ	-	-	DD	-	-
75		ハナカメムシ科	<i>Elatophilus nipponensis</i>	ヒラタハナカメムシ	-	-	NT	-	-
76			<i>Lyctocoris beneficus</i>	ズイムシハナカメムシ	-	-	NT	-	-
77		カスミカメムシ科	<i>Pseudoloxops miyamotoi</i>	クスギヒイロカスミカメ	-	-	NT	-	-
78		ツチカメムシ科	<i>Canthophorus niveimarginatus</i>	シロヘリツチカメムシ	-	-	NT	-	-
79		アメンボ科	<i>Aquarius elongatus</i>	オオアメンボ	-	-	-	NT	-
80			<i>Limnporus esakii</i>	エサキアメンボ	-	-	NT	NT	-
81		イトアメンボ科	<i>Hydrometra albolineata</i>	イトアメンボ	-	-	VU	VU	-
82		カタビロアメンボ科	<i>Xiphovelia japonica</i>	オヨギカタビロアメンボ	-	-	NT	NT	-
83		ミズムシ科	<i>Hesperocorixa distantii hokkensis</i>	ホッケミズムシ	-	-	NT	NT	-
84			<i>Xenocorixa vittipennis</i>	ミヤケミズムシ	-	-	NT	-	-
85		コオイムシ科	<i>Appasus japonicus</i>	コオイムシ	-	-	NT	-	-
86			<i>Kirkaldyia deyrolli</i>	タガメ	-	国内 (特2)	VU	EN	-
87		タイコウチ科	<i>Laccotrephes japonensis</i>	タイコウチ	-	-	-	NT	-
88			<i>Nepa hoffmanni</i>	ヒメタイコウチ	-	-	-	NT	-
89			<i>Ranatra chinensis</i>	ミズカマキリ	-	-	-	NT	-
90		ナベブタムシ科	<i>Aphelocheirus vittatus</i>	ナベブタムシ	-	-	-	NT	-
91			<i>Ilyocoris cimicoides exclamatoris</i>	コバンムシ	-	国内 (特2)	EN	CR	-
92	ヘビトンボ目	センブリ科	<i>Sialis yamatoensis</i>	ヤマトセンブリ	-	-	DD	-	-
93	コウチュウ目 (鞘翅目)	オサムシ科	<i>Harpalus crates</i>	チョウセンゴモクムシ	-	-	VU	-	-
94			<i>Nebria livida angulata</i>	キベリマルクビゴミムシ	-	-	EN	EX	-
95			<i>Peronomerus auripilis</i>	イグチケブカゴミムシ	-	-	NT	-	-
96			<i>Pterostichus dandonis dandonis</i>	ダンドナガゴミムシ	-	-	-	EN	-
97		ハンミョウ科	<i>Cicindela gemmata aino</i>	アイヌハンミョウ	-	-	NT	VU	-
98		ゲンゴロウ科	<i>Allopachria flavomaculata</i>	キボシケシゲンゴロウ	-	-	DD	-	-
99			<i>Cybister brevis</i>	クロゲンゴロウ	-	-	NT	VU	-
100			<i>Cybister chinensis</i>	ゲンゴロウ	-	国内 (特2)	VU	CR	-
101			<i>Cybister tripunctatus lateralis</i>	コガタノゲンゴロウ	-	-	VU	EX	-
102			<i>Hydaticus bowringii</i>	シマゲンゴロウ	-	-	NT	CR	-
103			<i>Hydrovatus stridulus</i>	サメハダマルケシゲンゴロウ	-	-	-	NT	-
104			<i>Hyphydrus japonicus</i>	ケシゲンゴロウ	-	-	NT	-	-
105			<i>Ilybius apicalis</i>	キベリクロヒメゲンゴロウ	-	-	NT	-	-
106			<i>Japanolaccophilus nipponensis</i>	キボシツブゲンゴロウ	-	-	NT	-	-
107			<i>Laccophilus lewisius</i>	ルイスツブゲンゴロウ	-	-	VU	-	-
108			<i>Laccophilus sharpi</i>	シャープツブゲンゴロウ	-	-	NT	-	-
109			<i>Leiodytes frontalis</i>	マルチビゲンゴロウ	-	-	NT	NT	-
110			<i>Platambus fimbriatus</i>	キベリマメゲンゴロウ	-	-	NT	-	-
111		ミズスマシ科	<i>Dineutus orientalis</i>	オオミズスマシ	-	-	NT	EN	-
112			<i>Gyrinus japonicus</i>	ミズスマシ	-	-	VU	CR	-
113			<i>Orectochilus punctipennis</i>	コオナガミズスマシ	-	-	VU	NT	-
114		コガシラミズムシ科	<i>Haliplus basinotatus</i>	クロホシコガシラミズムシ	-	-	VU	CR	-
115			<i>Haliplus ovalis</i>	ヒメコガシラミズムシ	-	-	-	EN	-
116		コツブゲンゴロウ科	<i>Neohydrocoptus bivittis</i>	キボシチビコツブゲンゴロウ	-	-	EN	NT	-
117		カワラゴミムシ科	<i>Omophron aequalis</i>	カワラゴミムシ	-	-	-	VU	-
118		マルドロムシ科	<i>Georissus granulosus</i>	セスジマルドロムシ	-	-	VU	-	-
119		ホソガムシ科	<i>Hydrochus japonicus</i>	ヤマトホソガムシ	-	-	NT	EN	-
120		ガムシ科	<i>Enochrus subsignatus</i>	マルヒラタガムシ	-	-	NT	-	-
121			<i>Helochares nipponicus</i>	スジヒラタガムシ	-	-	NT	-	-
122			<i>Hydrochara affinis</i>	コガムシ	-	-	DD	-	-
123			<i>Hydrochara libera</i>	エゾコガムシ	-	-	NT	-	-
124			<i>Hydrophilus acuminatus</i>	ガムシ	-	-	NT	CR	-

注1) 表中の I ～ V は表 3.1.38 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

表 3.1.45(3) 重要種一覧（昆虫類）

No.	目名	科名	学名	種名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
125	コウチュウ目 (鞘翅目)	エンマムシ科	<i>Hister concolor</i>	クロエンマムシ	-	-	-	DD	-
126			<i>Merohister jekeli</i>	エンマムシ	-	-	-	DD	-
127		クワガタムシ科	<i>Ceruchus lignarius lignarius</i>	ツヤハダクワガタ	-	-	-	CR	-
128			<i>Dorcus hopei binodulosus</i>	オオクワガタ	-	-	VU	CR	-
129			<i>Dorcus montivagus montivagus</i>	ヒメオオクワガタ	-	-	-	CR	-
130		コガネムシ科	<i>Anthracophora rusticola</i>	アカマダラハナムグリ	-	-	DD	NT	-
131			<i>Aphodius elegans elegans</i>	オオフタホシマグソコガネ	-	-	-	EN	-
132			<i>Aphodius sordidus</i>	ヨツボシマグソコガネ	-	-	-	NT	-
133			<i>Aphodius variabilis</i>	クロモンマグソコガネ	-	-	NT	EX	-
134			<i>Rhomborhina polita</i>	クロカナブン	-	-	-	NT	-
135			<i>Trichius japonicus</i>	トラハナムグリ	-	-	-	DD	-
136		ヒメドロムシ科	<i>Graphelmis shirahatai</i>	アヤスジミゾドロムシ	-	-	EN	-	-
137			<i>Leptelmis gracilis</i>	ヨモシドロムシ	-	-	VU	NT	-
138			<i>Neorhodelmis kurosawai</i>	クロサワドロムシ	-	-	-	VU	-
139			<i>Pseudamophilus japonicus</i>	ケスジドロムシ	-	-	VU	-	-
140		タマムシ科	<i>Dicerca tibialis</i>	トゲフタオタマムシ	-	-	-	NT	-
141			<i>Nipponobuprestis querceti</i>	クロマダラタマムシ	-	-	-	VU	-
142		コメツキムシ科	<i>Actenicerus kidonoi Ohira</i>	サトヤマシモフリコメツキ	-	-	-	NT	-
143			<i>Aganohypoganus mirabilis</i>	ツヤヒラタコメツキ	-	-	-	VU	-
144			<i>Fleutiauxellus cruciatus</i>	ジョウジミズギワコメツキ	-	-	-	NT	-
145		ホタル科	<i>Luciola lateralis</i>	ヘイケボタル	-	-	-	DD	-
146		オオキノコムシ科	<i>Encaustes praenobilis</i>	オオキノコムシ	-	-	-	NT	-
147		ナガクチキムシ科	<i>Stenoxylita trialbofasciata</i>	ミスジナガクチキ	-	-	-	CR	-
148		アカハネムシ科	<i>Tosadendroides okamotoi</i>	オカモトツヤアナハネムシ	-	-	-	CR	-
149		ゴミムシダマシ科	<i>Gonocephalum terminale</i>	ヒメカクスナゴミムシダマシ	-	-	-	EN	-
150		カミキリムシ科	<i>Dolichoprosopus yokoyamai</i>	ヨコヤマヒゲナガカミキリ	-	-	-	NT	-
151			<i>Enoploderes bicolor</i>	ヒラヤマコブハナカミキリ	-	-	-	NT	-
152			<i>Gaurotes atripennis</i>	クビアカハナカミキリ	-	-	-	VU	-
153			<i>Leptura kusamai kusamai</i>	ヒメヨツスジハナカミキリ	-	-	-	EN	-
154			<i>Necydalis harmandi</i>	クロホソコバネカミキリ	-	-	-	NT	-
155			<i>Necydalis solida</i>	オオホソコバネカミキリ	-	-	-	NT	-
156			<i>Paranaspia anaspoides</i>	ベニバハナカミキリ	-	-	-	DD	-
157			<i>Parechthistatus gibber gibber</i>	セダカコブヤハズカミキリ	-	-	-	NT	-
158			<i>Pidonia approximata</i>	トサヒメハナカミキリ	-	-	-	NT	-
159			<i>Pidonia yamato</i>	ヤマトヒメハナカミキリ	-	-	-	NT	-
160			<i>Plagionotus pulcher</i>	コトラカミキリ	-	-	NT	-	-
161			<i>Pseudosieversia japonica</i>	チャイロヒメコブハナカミキリ	-	-	-	CR	-
162			<i>Stenocorus caeruleipennis</i>	フタコブルリハナカミキリ	-	-	-	NT	-
163			<i>Stenygrinum quadrinotatum</i>	ヨツボシカミキリ	-	-	EN	EN	-
164			<i>Stictoleptura pyrrha</i>	ヒメアカハナカミキリ	-	-	-	DD	-
165		ハムシ科	<i>Chrysolina virgata</i>	オオルリハムシ	-	-	NT	-	-
166			<i>Donacia katurai</i>	カツラネクイハムシ	-	-	-	VU	-
167			<i>Lema delicatula</i>	キオビクビボソハムシ	-	-	-	DD	-
168			<i>Syneta brevitibialis</i>	ヒメカバノキハムシ	-	-	-	DD	-
169		ミツギリゾウムシ科	<i>Cyphagogus iwataensis</i>	チャバネホソミツギリゾウムシ	-	-	DD	-	-
170		ゾウムシ科	<i>Bagous bipunctatus</i>	カギアシゾウムシ	-	-	-	DD	-
171			<i>Bagous buckingami</i>	バックシガムカギアシゾウムシ	-	-	-	NT	-
172			<i>Miarus vestitus</i>	チビコバンゾウムシ	-	-	-	DD	-
173		チビゾウムシ科	<i>Nanophyes japonicus</i>	ヒシチビゾウムシ	-	-	-	NT	-
174	ハエ目 (双翅目)	ハネカ科	<i>Nymphomyia alba</i>	カスミハネカ	-	-	DD	-	-
175		クチキカ科	<i>Axymyia japonica</i>	ヤマトクチキカ	-	-	DD	-	-
176		ハルカ科	<i>Haruka elegans</i>	ハマダラハルカ	-	-	DD	-	-
177		クサアブ科	<i>Coenomyia basalis</i>	ネグロクサアブ	-	-	DD	-	-
178	チョウ目 (鱗翅目)	スカシバガ科	<i>Macroscelesia longipes yamatoensis</i>	アシナガモモトスカシバ	-	-	VU	-	-
179		ボクトウガ科	<i>Phragmataecia geisha</i>	ハイイロボクトウ	-	-	NT	-	-
180		マダラガ科	<i>Balataea octomaculata</i>	ヤホシホソマダラ	-	-	NT	-	-
181		セセリチョウ科	<i>Aeromachus inachus inachus</i>	ホシチャバネセセリ	-	-	EN	CR	-
182			<i>Isoeteinon lamprospilus lamprospilus</i>	ホソバセセリ	-	-	-	VU	-
183			<i>Leptolina unicolor</i>	ギンイチモンジセセリ	-	-	NT	NT	-
184			<i>Ochlodes venatus venatus</i>	コキマダラセセリ	-	-	-	EN	-
185			<i>Pelopidas jansonis</i>	ミヤマチャバネセセリ	-	-	-	EN	-
186			<i>Pyrgus maculatus maculatus</i>	チャマダラセセリ	-	-	EN	CR	-
187			<i>Thymelicus leoninus leoninus</i>	スジグロチャバネセセリ 北海道・本州・九州亜種	-	-	NT	-	-

注1) 表中のⅠ～Ⅴは表 3.1.38の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

表 3.1.45(4) 重要種一覧（昆虫類）

No.	目名	科名	学名	種名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
188	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	<i>Araragi enthea enthea</i>	オナガシジミ	-	-	-	NT	-
189			<i>Favonius jezoensis</i>	エゾミドリシジミ	-	-	-	VU	-
190			<i>Favonius orientalis</i>	オオミドリシジミ	-	-	-	NT	-
191			<i>Favonius ultramarinus</i>	ハヤシミドリシジミ	-	-	-	CR	-
192			<i>Fixsenia mera</i>	ミヤマカラスシジミ	-	-	-	CR	-
193			<i>Iratsume orsedice orsedice</i>	ウラクロシジミ	-	-	-	VU	-
194			<i>Phengaris teleius kazamoto</i>	ゴマシジミ本州中部亜種	-	国内	-	-	-
195			<i>Plebejus argus micrargus</i>	ヒメシジミ本州・九州亜種	-	-	NT	-	-
196			<i>Shirozua jonasi</i>	ムモンアカシジミ	-	-	-	EN	-
197			<i>Sibatanziozephyrus fujisanus</i>	フジミドリシジミ	-	-	-	VU	-
198		タテハチョウ科	<i>Argyronome laodice japonica</i>	ウラギンスジヒョウモン	-	-	VU	VU	-
199			<i>Argyronome ruslana</i>	オオウラギンスジヒョウモン	-	-	-	NT	-
200			<i>Coenonympha oedippus annulifer</i>	ヒメヒカゲ本州中部亜種	-	-	-	-	希少
201			<i>Kirinia fentoni</i>	キマダラモドキ	-	-	NT	DD	-
202			<i>Lethe marginalis</i>	クロヒカゲモドキ	-	-	EN	EN	-
203			<i>Melitaea scotosia</i>	ヒョウモンモドキ	-	国内	CR	EX	-
204			<i>Ninguta schrenckii schrenckii</i>	オオヒカゲ	-	-	-	NT	-
205			<i>Sasakia charonda charonda</i>	オオムラサキ	-	-	NT	NT	-
206			<i>Ypthima multistriata nipponica</i>	ウラナミジャノメ本土亜種	-	-	VU	-	-
207		アゲハチョウ科	<i>Luehdorffia japonica</i>	ギフチョウ	-	-	VU	VU	-
208		シロチョウ科	<i>Eurema laeta betheseba</i>	ツマグロキチョウ	-	-	EN	NT	-
209			<i>Gonepteryx aspasia nipponica</i>	スジボソヤマキチョウ	-	-	-	CR	-
210			<i>Gonepteryx rhamni maxima</i>	ヤマキチョウ	-	-	EN	-	-
211		ツトガ科	<i>Chilo pulveratus</i>	ゴマフツトガ	-	-	NT	-	-
212		アゲハモドキガ科	<i>Schistomitra funeralis</i>	フジキオビ	-	-	-	NT	-
213		シャクガ科	<i>Apochina excavata</i>	クワトゲエダシャク	-	-	NT	-	-
214		ヤママユガ科	<i>Actias gnoma gnoma</i>	オナガミズアオ本土亜種	-	-	NT	-	-
215		スズメガ科	<i>Hemaris radians</i>	スキバホウジャク	-	-	VU	-	-
216		シャチホコガ科	<i>Ptilodon kuwayamae</i>	クワヤマエグリシャチホコ	-	-	NT	-	-
217		ヒトリガ科	<i>Aloa lactinea</i>	マエアカヒトリ	-	-	NT	-	-
218			<i>Eilema fuscodorsalis</i>	ヤネホソバ	-	-	NT	-	-
219			<i>Minolea degenerella</i>	シロホソバ	-	-	NT	-	-
220		ドクガ科	<i>Laelia coenosa sangaica</i>	スグドクガ	-	-	NT	-	-
221			<i>Laelia miyanoi</i>	ミヤノスグドクガ	-	-	VU	-	-
222		ヤガ科	<i>Acronicta carbonaria</i>	ウスズミケンモン	-	-	NT	-	-
223			<i>Acronicta digna</i>	クビゲロケンモン	-	-	NT	-	-
224			<i>Acronicta subornata</i>	マダラウスズミケンモン	-	-	-	DD	-
225			<i>Adisura atkinsoni</i>	アカヘリヤガ	-	-	NT	-	-
226			<i>Capsula aerata</i>	ガマヨトウ	-	-	VU	-	-
227			<i>Catocala actaea</i>	コシロシタバ	-	-	NT	-	-
228			<i>Catocala mirifica</i>	カバフキシタバ	-	-	-	NT	-
229			<i>Cidaripura signata</i>	カギモンハナオイアツバ	-	-	NT	-	-
230			<i>Doerriesa striata</i>	エゾスジヨトウ	-	-	VU	NT	-
231			<i>Elwesia sugii</i>	サヌキキリガ	-	-	-	NT	-
232			<i>Eulocasta sasakii</i>	シラユキコヤガ	-	-	VU	NT	-
233			<i>Eupsilia contracta</i>	ウスミモンキリガ	-	-	NT	-	-
234			<i>Globia sparganii</i>	クスジウスキヨトウ	-	-	VU	NT	-
235			<i>Hypena claripennis</i>	キシタアツバ	-	-	NT	-	-
236			<i>Jodia sericea</i>	ミスジキリガ	-	-	NT	-	-
237			<i>Mythimna pudorina</i>	ウスベニキヨトウ	-	-	-	DD	-
238			<i>Nonagria puengeleri</i>	オオチャバネヨトウ	-	-	VU	NT	-
239			<i>Plusilla rosalia</i>	ギンモンアカヨトウ	-	-	VU	-	-
240	トビケラ目 (毛翅目)	ナガレトビケラ科	<i>Himalopsyche japonica</i>	オオナガレトビケラ	-	-	NT	NT	-
241		ヒゲナガトビケラ科	<i>Leptocerus moselyi</i>	モセリーヒゲナガトビケラ	-	-	-	NT	-
242			<i>Setodes argentatus</i>	ギンボシツツトビケラ	-	-	NT	-	-
243		ホソバトビケラ科	<i>Molannodes itoe</i>	イトウホソバトビケラ	-	-	-	NT	-
244		フトヒゲトビケラ科	<i>Psilotreta japonica</i>	ヒトスジキントビケラ	-	-	-	VU	-

注1) 表中のⅠ～Ⅴは表 3.1.38の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

表 3.1.45(5) 重要種一覧（昆虫類）

No.	目名	科名	学名	種名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
245	ハチ目 (膜翅目)	コンボウハバチ科	<i>Agenocimbex maculatus</i>	ホシアシブトハバチ	-	-	DD	-	-
246		ハバチ科	<i>Siobla metallica</i>	ルリコシアカハバチ	-	-	DD	-	-
247		ヤドリキバチ科	<i>Ophrynopus tosenis</i>	トサヤドリキバチ	-	-	DD	-	-
248		コマユバチ科	<i>Euurobracon yokahamae</i>	ウマノオバチ	-	-	NT	NT	-
249		セイボウ科	<i>Stilbum cyanurum</i>	オオセイボウ	-	-	DD	-	-
250		アリ科	<i>Camponotus nipponensis</i>	ケブカツヤオオアリ	-	-	DD	-	-
251			<i>Polyrhachis lamellidens</i>	トゲアリ	-	-	VU	-	-
252		スズメバチ科	<i>Dolichovespula media</i>	キオビホオナガスズメバチ	-	-	DD	-	-
253			<i>Polistes japonicus</i>	ヤマトアシナガバチ	-	-	DD	-	-
254			<i>Vespa crabro</i>	モンズズメバチ	-	-	DD	-	-
255		クモバチ科	<i>Anoplius eous</i>	アケボノクモバチ	-	-	DD	-	-
256			<i>Leptodialepis sugiharai</i>	スギハラクモバチ	-	-	DD	-	-
257			<i>Parabatozonus jankowskii</i>	フタモンクモバチ	-	-	NT	-	-
258			<i>Paracyphononyx alienus</i>	アオスジクモバチ	-	-	DD	-	-
259		ギングチバチ科	<i>Crossocerus flavitarsus</i>	ギョウギギングチ	-	-	DD	-	-
260			<i>Crossocerus heydeni nipponis</i>	ガロアギングチ	-	-	DD	-	-
261			<i>Ectemnius furuichii</i>	ササキギングチ	-	-	NT	NT	-
262			<i>Larra amplipennis</i>	アカオビケラトリバチ	-	-	NT	-	-
263			<i>Pison koreense</i>	コウライクモカリバチ	-	-	DD	-	-
264			<i>Spadicocrabro nitobei</i>	ニトベギングチ	-	-	DD	-	-
265			<i>Argogorytes nipponis</i>	ニッポントゲアワフキバチ	-	-	DD	-	-
266		ドロバチモドキ科	<i>Bembix niponica</i>	ニッポンハナダカバチ	-	-	VU	NT	-
267			<i>Stizus perrisi</i>	キアシハナダカバチモドキ	-	-	VU	-	-
268			<i>Passaloecus koreanus</i>	カラトイスカバチ	-	-	DD	-	-
269		アナバチ科	<i>Ammophila atripes japonica</i>	フジジガバチ	-	-	NT	-	-
270			<i>Sceliphron madraspatanum</i>	キゴシジガバチ	-	-	-	NT	-
271		ミツバチ科	<i>Bombus ignitus</i>	クロマルハナバチ	-	-	NT	-	-
272			<i>Thyreus decorus</i>	ナミルリモンハナバチ	-	-	DD	-	-
273		ハキリバチ科	<i>Megachile kobensis</i>	キヌゲハキリバチ	-	-	-	NT	-
274			<i>Megachile pseudomonticola</i>	クズハキリバチ	-	-	DD	-	-
275			<i>Osmia orientalis</i>	マイマイツツハナバチ	-	-	DD	-	-
	14目	109科	275種		0種	6種	155種	181種	1種

注1) 表中の I ～ V は表 3.1.38 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

⑦ 貝類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる貝類の重要種は、表 3.1.46 に示すとおり、6 目 17 科 41 種である。

陸産貝類が複数種該当するほか、ため池や水田等の湛水域や河川域を生息環境とする種が該当している。

表 3.1.46 重要種一覧（貝類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準				
					I	II	III	IV	V
1	新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	-	-	VU	NT	-
2			オオタニシ	<i>Heterogen japonica</i>	-	-	NT	-	-
3		カワニナ科	クロダカワニナ	<i>Semisulcospira kurodai</i>	-	-	NT	NT	-
4		イトマデガイ科	カタヤマガイ	<i>Oncomelania nosophora</i>	-	-	CR+EN	-	-
5	汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>	-	-	NT	DD	-
6			カワコザラガイ	<i>Ferrissia nipponica</i>	-	-	CR	DD	-
7		ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus pulcher</i>	-	-	EN	DD	-
8			ミズコハクガイ	<i>Gyraulus soritai</i>	-	-	VU	VU	-
9			ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus spirillus</i>	-	-	DD	NT	-
10			トウキョウヒラマキガイ	<i>Gyraulus tokyoensis</i>	-	-	DD	-	-
11			ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i>	-	-	NT	NT	-
12	柄眼目	オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i>	-	-	NT	NT	-
13		キバサナギガイ科	ナタネキバサナギガイ	<i>Vertigo eogea</i>	-	-	VU	VU	-
14		マキゾメガイ科	ヒラドマルナタネ	<i>Pupisoma harpula</i>	-	-	-	NT	-
15		キセルガイモドキ科	キセルガイモドキ	<i>Mirus reinianus</i>	-	-	-	NT	-
16		キセルガイ科	オオギセル	<i>Megalophaedusa martensi</i>	-	-	NT	-	-
17			ミカワギセル	<i>Mesophaedusa hickonis mikawa</i>	-	-	NT	NT	-
18			オクガタギセル	<i>Mundiphaedusa dorcas</i>	-	-	NT	NT	-
19			ホソヤカギセル	<i>Mundiphaedusa hosayaka</i>	-	-	NT	NT	-
20			ハチノコギセル	<i>Mundiphaedusa kawasaki</i>	-	-	NT	NT	-
21			エルベリギセル	<i>Tyrannophaedusa aurantiaca erberi</i>	-	-	DD	-	-
22		ナタネガイ科	ミジンナタネ	<i>Punctum atomus</i>	-	-	-	DD	-
23		ベッコウマイマイ科	ヒラベッコウガイ	<i>Bekkochlamys micrograpta</i>	-	-	DD	VU	-
24			ウラウズタカキビ	<i>Coneuplecta sp.</i>	-	-	-	NT	-
25			ハクサンベッコウ	<i>Nipponochlamys hakusanus</i>	-	-	DD	DD	-
26			ヒゼンキビ	<i>Parakaliella hizenensis</i>	-	-	NT	NT	-
27			ヒメハリマキビ	<i>Parakaliella pagoduloides</i>	-	-	NT	NT	-
28			ウメムラシタラガイ	<i>Sitalina japonica</i>	-	-	NT	NT	-
29			オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i>	-	-	DD	-	-
30			タカキビ	<i>Trochochlamys praealta</i>	-	-	NT	NT	-
31			ヒメカサキビ	<i>Trochochlamys subcrenulata</i>	-	-	NT	NT	-
32		オナジマイマイ科	カドコオオベソマイマイ	<i>Aegista proba goniosoma</i>	-	-	NT	NT	-
33			ヒラヒダリマキマイマイ	<i>Euhadra scaevola interioris</i>	-	-	-	VU	-
34			カタマメマイマイ	<i>Lepidopisum verrucosum</i>	-	-	VU	VU	-
35			ヒルゲンドルフマイマイ	<i>Trishoplita hilgendorffi</i>	-	-	NT	NT	-
36	イシガイ目	イシガイ科	ドブガイ	<i>Anodonta woodiana</i>	-	-	-	DD	-
37			カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i>	-	-	EN	DD	-
38			イシガイ	<i>Nodularia douglasiae</i>	-	-	-	CR	-
39	マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>	-	-	VU	DD	-
40	アマオブネガイ目	ヤマキサゴ科	ヤマキサゴ	<i>Waldemaria japonica</i>	-	-	-	VU	-
41		ゴマオカタニシ科	ゴマオカタニシ	<i>Georissa japonica</i>	-	-	NT	NT	-
	6 目	17 科	41 種		0 種	0 種	33 種	35 種	0 種

注1) 表中の I～V は表 3.1.38 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

3.1.8.2 植物

(1) 植物相の概要

「令和6年版 環境白書」(令和6年12月 愛知県)によると、愛知県の気候は一般に温暖で、夏季多雨、冬季小雨型となっている。このような気候の影響を受け、植物区分は奥三河山地の一部が温帯に属するほかは、暖帯に属している。

植生は、潜在的にはほとんどが照葉樹林帯に属するが、平野部では古くから宅地、農地等としての土地利用が進んだため、シイ・タブを中心とした自然植生は社寺林などとしてわずかに残っているにすぎない。一方、丘陵から山地部の多くの部分は、スギ及びヒノキを中心とした人工林となっており、都市近郊の丘陵部を中心にコナラ、アベマキ等を主体とする二次的植生の森林(二次林)地域が見られ、いわゆる里山を形成している。

対象事業実施想定区域及びその周囲の植生図は、図 3.1.20 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域の西側は大きなため池(愛知池)があり、東側は住宅地となっている。隣接する北側は工場や資材置き場等の用地となっている。南から南西にかけてはグラウンドや大学の農場、耕作地等が広がりその周囲に住宅地が点在している。北側は河川を挟んで水田や畑などの耕作地も広がっている。また、愛知池の周囲及び大学農場や工場周辺には樹林地が存在している。農場や耕作地には牧草や水田・畑地雑草群落等の草本群落が成立しており、樹林地は主にケネザサーコナラ群集が多いが部分的にモチツツジ・アカマツ群集が点在している。

対象事業実施想定区域及びその周囲の植物の状況については、表 3.1.47 に示す既存文献により整理した。

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる植物は、表 3.1.48 に示すとおり、186 科 2,152 種である。

市街地、農耕地、草地、湿生地、樹林地、山地等の多様な環境に生育する多様な種が確認されており、シデコブシやマメナシ、ミカワバイケイソウ、ミカワシオガマ等の「東海丘陵要素」と呼ばれる東海地方に固有、あるいは国内における分布の中心がある種(変種を含む。)が複数種確認されている。

表 3.1.47 確認文献一覧

番号	文献	分布想定種
1	「レッドデータブックあいち 2020」 (令和2年3月 愛知県)	対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種
2	東郷町誌 第二巻 (昭和55年3月 東郷町)	掲載の種全て
3	日進市史 自然編 (平成27年3月 日進市)	掲載の種全て
4	第2次日進市環境基本計画(2024年度～2030年度) (令和6年3月 日進市)	対象事業実施想定区域及びその周囲で確認されている種
5	生物調査報告書 (平成30年11月 豊田市)	挙母地区、保見地区で確認されている種
6	豊田市で確認された生物種 (令和6年11月 豊田市)	掲載の種全て
7	三好町植物誌 (昭和52年3月 三好町教育委員会)	掲載の種全て
8	最終処分場建設に係る生活環境影響調査 報告書 (平成14年3月 尾三衛生組合)	現地調査の結果全て

表 3.1.48 植物確認種数

分類群名			科数	種数	文献番号							
門名	亜門名	綱名			1	2	3	4	5	6	7	8
シダ植物門		ヒカゲノカズラ綱	3	16	2	1	5	0	0	12	3	2
		大葉シダ綱	23	159	11	2	59	0	0	143	48	23
種子植物門	裸子植物亜門	－	6	28	1	3	11	0	0	24	8	6
	被子植物亜門	－	9	46	5	3	21	0	0	39	16	3
		単子葉類	30	544	65	20	301	3	4	376	229	93
		真正双子葉類	115	1,359	82	63	650	4	2	1,072	494	233
合計			186 科	2,152 種	166 種	92 種	1,047 種	7 種	6 種	1,666 種	798 種	360 種

注1) 表中の文献番号は表 3.1.47の番号と対応する。

注2) 分類群名については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

3.1 自然的状況

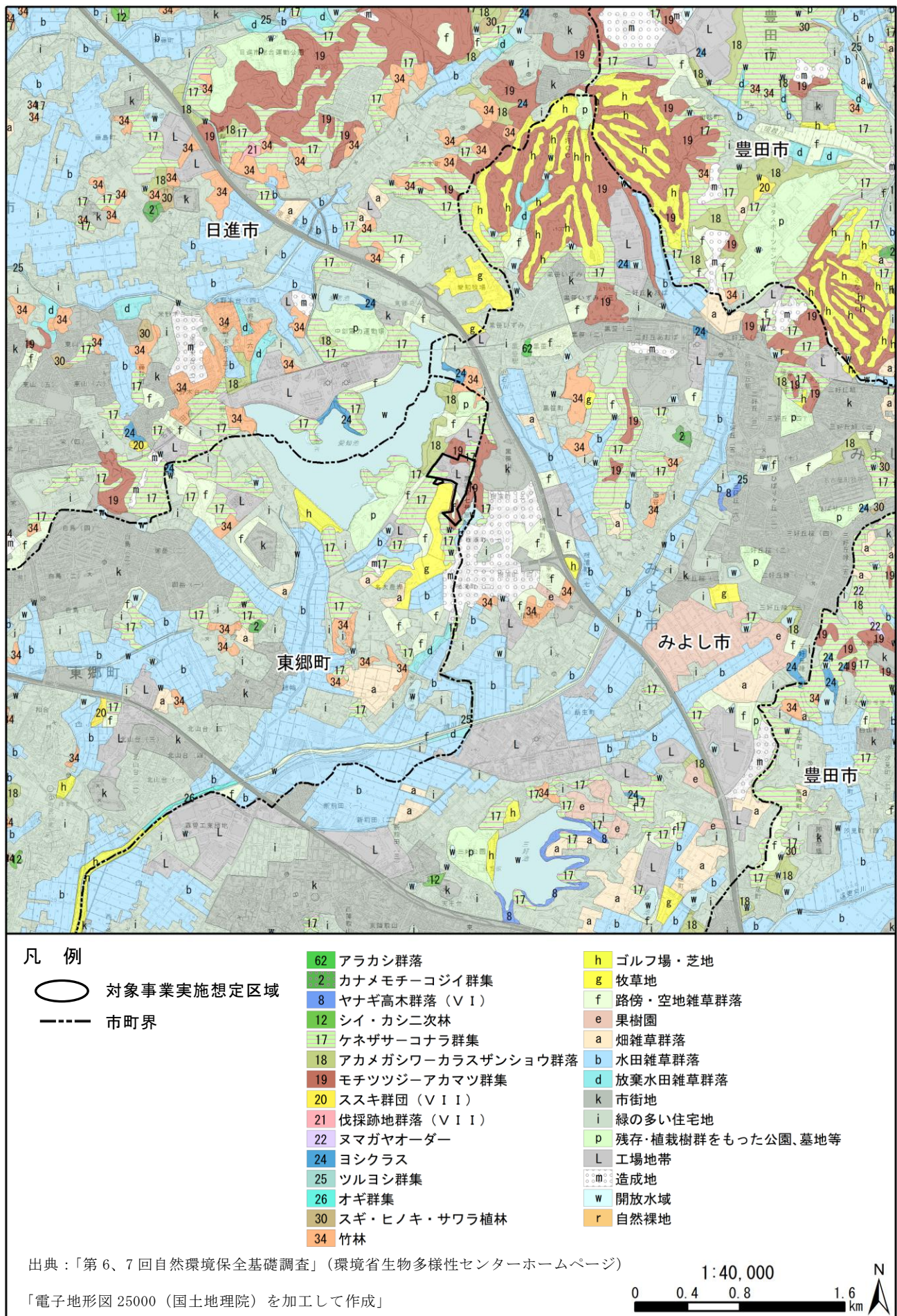


図 3.1.20 現存植生図

(2) 重要な植物種

確認された種のうち、重要な植物種を抽出した。重要な植物種及び植物群落の選定根拠は表 3.1.49 に、その選定基準は表 3.1.50 に示すとおりである。

なお、表 3.1.47 の確認文献の中には、詳細な位置情報の記載がないものも含まれるため、事業実施想定区域及びその周囲から離れた地域で見られる種を掲載している可能性がある。

表 3.1.49 重要な植物種及び植物群落の選定根拠

番号	法令・文献等	選定基準
I	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号) 「愛知県文化財保護条例」(昭和30年愛知県条例第6号) 「東郷町文化財保護条例」(昭和52年東郷町条例第21号) 「日進市文化財保護条例」(昭和51年日進市条例第1号) 「みよし市文化財保護条例」(昭和46年みよし市条例第8号) 「豊田市文化財保護条例」(昭和51年豊田市条例第24号)	・特別天然記念物(特天) ・国指定天然記念物(国天) ・愛知県指定天然記念物(県天) ・東郷町指定天然記念物(町天) ・日進市指定天然記念物(市天) ・みよし市指定天然記念物(市天) ・豊田市指定天然記念物(市天)
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成4年法律第75号)	・国際希少野生動植物種(国際) ・国内希少野生動植物種(国内) ・特定第一種国内希少野生動植物種(特1) ・特定第二種国内希少野生動植物種(特2) ・緊急指定種(緊急)
III	「環境省レッドリスト 第5次レッドリスト(植物・菌類)」 (令和7年3月18日 環境省報道発表資料)	・絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN) ・絶滅危惧ⅠA類(CR) ・絶滅危惧ⅠB類(EN) ・絶滅危惧Ⅱ類(VU) ・準絶滅危惧(NT) ・情報不足(DD) ・地域個体群(LP)
IV	「レッドリストあいち2025」レッドリスト (令和7年3月 愛知県)	・絶滅危惧ⅠA類(CR) ・絶滅危惧ⅠB類(EN) ・絶滅危惧Ⅱ類(VU) ・準絶滅危惧(NT) ・情報不足(DD) ・地域個体群(LP)
V	「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」	・指定希少野生動植物種(希少)

表 3.1.50 重要な植物種及び植物群落の選定基準

番号	選定基準	評価基準
I	特別天然記念物（特天）	天然記念物のうち世界的にまた国家的に価値が特に高いもの
	国指定天然記念物（国天）	動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、我が国の自然を記念するもの
	愛知県指定天然記念物（県天）	動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、愛知県の自然を記念するもの
	東郷町指定天然記念物（町天）	動物（生息地・繁殖地及び渡来地を含む。）・植物（自生地を含む。）及び地質鉱物（特異な自然現象の生じている土地を含む。）で学術上価値の高いもの
	日進市指定天然記念物（市天）	動物（生息地・繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質、鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で学術上価値の高いもの
	みよし市指定天然記念物（市天）	動物（生息地・繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質、鉱物（特異な自然の現象を生じている土地を含む。）で学術上価値の高いもの
	豊田市指定天然記念物（市天）	動物（生息地・繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質、鉱物（特異な自然現象の生じている土地を含む。）で学術上価値の高いもの
II	国際希少野生動植物種（国際）	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種（国内希少野生動植物種を除く。）であって、政令で定めるものをいう
	国内希少野生動植物種（国内）	その個体が本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で定めるものをいう
	特定第一種国内希少野生動植物種（特1）	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものであること 二 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと
	特定第二種国内希少野生動植物種（特2）	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう 一 種の個体の主要な生息地若しくは生育地が消滅しつつあるものであること又はその種の個体の生息若しくは生育の環境が著しく悪化しつつあるものであること 二 種の存続に支障を来す程度にその種の個体の数が著しく少ないものでないこと 三 繁殖による個体の数の増加の割合が低いものでないこと 四 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと
	緊急指定種（緊急）	環境大臣が、希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定するものをいう
III	絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）	絶滅の危機に瀕している種
	絶滅危惧ⅠA類（CR）	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種
	絶滅危惧ⅠB類（EN）	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種
	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧（NT）	存続基盤が脆弱な種
	情報不足（DD）	評価するだけの情報が不足している種
	絶滅のおそれのある地域個体群（LP）	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
IV	絶滅危惧ⅠA類（CR）	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	絶滅危惧ⅠB類（EN）	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧（NT）	存続基盤が脆弱な種
	情報不足（DD）	評価するだけの情報が不足している種
	地域個体群（LP）	特に保全のための配慮が必要と考えられる特徴的な個体群
V	指定希少野生動植物種（希少）	県内に生息生育する絶滅のおそれのある野生動植物種のうち、特に保護を図る必要があるもの

注）表中のⅠ～Ⅴは表 3.1.49の番号と対応する。

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる植物の重要種は、表 3.1.51 に示すとおり、103 科 337 種である。

動物種と同様、樹林地やため池等水域、草地等多岐にわたる環境に生育する植物種が該当している。

表 3.1.51(1) 重要種一覧（植物）

No.	科名	種名	学名	選定基準				
				I	II	III	IV	V
1	ヒカゲノカズラ科	ヤチスギラン	<i>Lycopodiella inundata</i>	-	-	-	CR	-
2		アスヒカズラ	<i>Lycopodium complanatum</i>	-	-	-	VU	-
3		スギラン	<i>Phlegmariurus cryptomerinus</i>	-	-	VU	VU	-
4	イワヒバ科	ヒメクラマゴケ	<i>Selaginella heterostachys</i>	-	-	-	VU	-
5		イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i>	-	-	VU	-	-
6	ミズニラ科	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i>	-	-	NT	NT	-
7	ハナヤスリ科	ナガホノナツノハナワラビ	<i>Botrychium strictum</i>	-	-	-	NT	-
8	マツバラン科	マツバラン	<i>Psilotum nudum</i>	-	-	NT	VU	-
9	デンジソウ科	デンジソウ	<i>Marsilea quadrifolia</i>	-	-	NT	CR	-
10	サンショウモ科	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i>	-	-	NT	EN	-
11	キジノオシダ科	ヤマソテツ	<i>Plagiogyria matsumureana</i>	-	-	-	VU	-
12	コバノイシカグマ科	イシカグマ	<i>Microlepia strigosa</i>	-	-	-	NT	-
13	イノモトソウ科	タキミシダ	<i>Antrophyum obovatum</i>	-	-	VU	EN	-
14		ミカワイワガネ	<i>Coniogramme</i> sp.	-	-	-	EN	-
15		マツザカシダ	<i>Pteris nipponica</i>	-	-	-	EN	-
16	チャセンシダ科	ヒノキンダ	<i>Asplenium prolongatum</i>	-	-	-	EN	-
17		コタニワタリ	<i>Asplenium scolopendrium</i>	-	-	-	EN	-
18	ヒメシダ科	ツクシヤワラシダ	<i>Thelypteris hattorii</i> var. <i>nemoralis</i>	-	-	-	VU	-
19		ニッコウシダ	<i>Thelypteris nipponica</i> var. <i>nipponica</i>	-	-	-	CR	-
20	シシガシラ科	オオカグマ	<i>Woodwardia japonica</i>	-	-	-	EN	-
21	メンダ科	ホソバシケチシダ	<i>Athyrium fluviale</i>	-	国内	EN	-	-
22		ウスバシケンシダ	<i>Deparia longipes</i>	-	-	VU	VU	-
23		コヒロハシケンシダ	<i>Deparia pseudoconilii</i> var. <i>subdeltoidofrons</i>	-	-	-	VU	-
24		ミヤマシケンシダ	<i>Deparia pycnosora</i> var. <i>pycnosora</i>	-	-	-	VU	-
25	オシダ科	ツクシイワヘゴ	<i>Dryopteris commixta</i>	-	-	-	NT	-
26		シラネワラビ	<i>Dryopteris expansa</i>	-	-	-	NT	-
27		サクライカグマ	<i>Dryopteris gymnophylla</i>	-	-	-	CR	-
28		ナガサキシダ	<i>Dryopteris sieboldii</i>	-	-	-	CR	-
29		ホソイノデ	<i>Polystichum braunii</i>	-	-	-	EN	-
30	ウラボシ科	ホテイシダ	<i>Lepisorus annuifrons</i>	-	-	-	NT	-
31		クラガリシダ	<i>Lepisorus miyoshianus</i>	-	-	EN	EN	-
32		イワオモダカ	<i>Pyrrosia hastata</i>	-	-	-	EN	-
33	コウヤマキ科	コウヤマキ	<i>Sciadopitys verticillata</i>	-	-	-	NT	-
34	ヒノキ科	ネズミサシ	<i>Juniperus rigida</i>	-	-	-	NT	-
35	イチイ科	イチイ	<i>Taxus cuspidata</i>	-	-	-	EN	-
36	スイレン科	オニバス	<i>Euryale ferox</i>	-	-	VU	CR	-
37		コウホネ	<i>Nuphar japonica</i>	-	-	-	EN	-
38		ヒメコウホネ	<i>Nuphar subintegerrima</i>	-	-	CR	CR	-
39		オオバウマノスズクサ	<i>Aristolochia kaempferi</i>	-	-	-	VU	-
40	モクレン科	シデコブシ	<i>Magnolia stellata</i>	-	-	NT	VU	-
41	クスノキ科	ニッケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i>	-	-	NT	-	-
42	サトイモ科	ムロウマムシグサ	<i>Arisaema kishidae</i>	-	-	-	VU	-
43		ヤマトテンナンショウ	<i>Arisaema longilaminum</i>	-	-	-	EN	-
44		ユモトマムシグサ	<i>Arisaema nikoense</i>	-	-	-	EN	-
45		ミクニテンナンショウ	<i>Arisaema planilaminum</i>	-	-	-	EN	-
46	チシマゼキショウ科	イワショウブ	<i>Triantha japonica</i>	-	-	-	VU	-
47	オモダカ科	マルバオモダカ	<i>Caldesia parnassiifolia</i>	-	-	VU	EN	-
48		アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>	-	-	NT	-	-
49	トチカガミ科	セトヤナギスプタ	<i>Blyxa alternifolia</i>	-	-	CR	CR	-
50		マルミスプタ	<i>Blyxa aubertii</i>	-	-	VU	VU	-
51		スプタ	<i>Blyxa echinosperma</i>	-	-	VU	CR	-
52		ヤナギスプタ	<i>Blyxa japonica</i>	-	-	-	NT	-
53		トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	-	-	NT	EN	-
54		サガミトリゲモ	<i>Najas chinensis</i>	-	-	NT	VU	-
55		イトトリゲモ	<i>Najas gracillima</i>	-	-	NT	NT	-
56		トリゲモ	<i>Najas minor</i>	-	-	VU	-	-
57		オオトリゲモ	<i>Najas oguraensis</i>	-	-	-	NT	-
58		ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i>	-	-	NT	-	-
59		イトモ	<i>Potamogeton berchtoldii</i>	-	-	NT	NT	-
60	ヒルムシロ科	コバノヒルムシロ	<i>Potamogeton cristatus</i>	-	-	VU	-	-
61		ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i>	-	-	-	NT	-
62		オヒルムシロ	<i>Potamogeton natans</i>	-	-	-	VU	-

注1) 表中のⅠ～Ⅴは表 3.1.49の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

表 3.1.51(2) 重要種一覧（植物）

No.	科名	種名	学名	選定基準				
				I	II	III	IV	V
63	ヒナノシヤクジョウ科	ヒナノシヤクジョウ	<i>Burmanna championii</i>	-	-	-	NT	-
64	ヤマノイモ科	ウチワドコロ	<i>Dioscorea nipponica</i>	-	-	-	VU	-
65		キクバドコロ	<i>Dioscorea septemloba</i>	-	-	-	VU	-
66	ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ	<i>Sciaphila nana</i>	-	-	NT	-	-
67	シュロソウ科	エンレイソウ	<i>Trillium apetalon</i>	-	-	-	EN	-
68		ミカワバイケイソウ	<i>Veratrum stamineum</i> var. <i>micranthum</i>	-	-	VU	EN	-
69	ユリ科	サクラインソウ	<i>Petrosavia sakuraii</i>	-	-	EN	CR	-
70	ラン科	ヒナラン	<i>Amitostigma gracile</i>	-	-	VU	CR	-
71		イワチドリ	<i>Amitostigma keiskei</i>	-	-	EN	EN	-
72		シラン	<i>Bletilla striata</i>	-	-	NT	NT	-
73		ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i>	-	-	NT	-	-
74		エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	-	-	NT	NT	-
75		ナツエビネ	<i>Calanthe puberula</i>	-	-	VU	VU	-
76		サルメンエビネ	<i>Calanthe tricarinata</i>	-	-	VU	CR	-
77		キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	-	-	NT	NT	-
78		ユウシュンラン	<i>Cephalanthera subaphylla</i>	-	-	NT	VU	-
79		クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	-	-	VU	VU	-
80		イチヨウラン	<i>Dactylostalix ringens</i>	-	-	-	NT	-
81		セッコク	<i>Dendrobium moniliforme</i>	-	-	-	NT	-
82		タシロラン	<i>Epipogium roseum</i>	-	-	NT	NT	-
83		マツラン	<i>Gastrochilus matsuran</i>	-	-	VU	EN	-
84		アキザキヤツシロラン	<i>Gastrodia confusa</i>	-	-	-	VU	-
85		オオミヤマウズラ	<i>Goodyera tsukamotoi</i>	-	-	-	EN	-
86		シュスラン	<i>Goodyera velutina</i>	-	-	-	VU	-
87		ミズトンボ	<i>Habenaria sagittifera</i>	-	-	NT	VU	-
88		ヒナチドリ	<i>Hemipilia chidori</i>	-	-	VU	CR	-
89		クロムヨウラン	<i>Lecanorchis nigricans</i> var. <i>nigricans</i>	-	-	VU	-	-
90		スズムシソウ	<i>Liparis makinoana</i>	-	-	-	CR	-
91		コフタバラン	<i>Neottia cordata</i>	-	-	-	VU	-
92		サギソウ	<i>Pecteilis radiata</i>	-	-	NT	VU	-
93		ムカゴトンボ	<i>Peristylus densus</i>	-	-	EN	EX	-
94		ミズチドリ	<i>Platanthera hologlottis</i>	-	-	-	VU	-
95		ヤマサギソウ	<i>Platanthera mandarinorum</i> ssp. <i>mandarinorum</i> var. <i>oreades</i>	-	-	VU	VU	-
96		オオヤマサギソウ	<i>Platanthera sachalinensis</i>	-	-	-	VU	-
97		トキソウ	<i>Pogonia japonica</i>	-	-	NT	EN	-
98		ヤマトキソウ	<i>Pogonia minor</i>	-	-	-	VU	-
99	キンバイザサ科	コキンバイザサ	<i>Hypoxis aurea</i>	-	-	-	EN	-
100	アヤメ科	ヒオウギ	<i>Iris domestica</i>	-	-	-	EN	-
101		ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i>	-	-	NT	-	-
102		カキツバタ	<i>Iris laevigata</i>	-	-	NT	VU	-
103		アヤメ	<i>Iris sanguinea</i>	-	-	-	EN	-
104	クサスギカズラ科	マイヅルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i>	-	-	-	NT	-
105	ミズアオイ科	ミズアオイ	<i>Monochoria korsakowii</i>	-	-	NT	CR	-
106	ガマ科	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	-	-	NT	EN	-
107		ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i>	-	-	NT	VU	-
108		ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i>	-	-	NT	-	-
109		ヒメミクリ	<i>Sparganium subglobosum</i>	-	-	VU	CR	-
110	ホシクサ科	クロイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon atrum</i>	-	-	NT	-	-
111		ツクシクロイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon kiusianum</i>	-	-	-	NT	-
112		ミカワイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon mikawanum</i>	-	-	EN	EN	-
113		シラタマホシクサ	<i>Eriocaulon nudicuspe</i>	-	-	VU	VU	-
114		クロホシクサ	<i>Eriocaulon parvum</i>	-	-	NT	EN	-
115	カヤツリグサ科	イトテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i> var. <i>capitata</i>	-	-	NT	NT	-
116		ミノボロスゲ	<i>Carex albata</i>	-	-	-	VU	-
117		オオタマツリスゲ	<i>Carex filipes</i> var. <i>rouyana</i>	-	-	-	EN	-
118		ヌマクロボスゲ	<i>Carex meyeriana</i>	-	-	VU	CR	-
119		アワボスゲ	<i>Carex nipposinica</i>	-	-	-	CR	-
120		タカネマスキサ	<i>Carex planata</i>	-	-	-	EN	-
121		ヒメモエギスゲ	<i>Carex pocilliformis</i>	-	-	-	VU	-
122		ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunii</i>	-	-	-	EN	-
123		ジングウスゲ	<i>Carex sacrosancta</i>	-	-	NT	NT	-

注1) 表中のⅠ～Ⅴは表 3.1.49の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

表 3.1.51(3) 重要種一覧（植物）

No.	科名	種名	学名	選定基準				
				I	II	III	IV	V
124	カヤツリグサ科	センダイスゲ	<i>Carex sendaica</i>	-	-	-	VU	-
125		ニシノホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i>	-	-	-	VU	-
126		アオヒエスゲ	<i>Carex subdita</i>	-	-	-	VU	-
127		ホソバカンスゲ	<i>Carex temnolepis</i>	-	-	-	NT	-
128		ヒメアオガヤツリ	<i>Cyperus extremiorientalis</i>	-	-	-	CR	-
129		ヒメガヤツリ	<i>Cyperus tenuispica</i>	-	-	-	VU	-
130		カガシラ	<i>Diplacrum caricinum</i>	-	-	VU	CR	-
131		セイタカハライ	<i>Eleocharis attenuata</i>	-	-	-	VU	-
132		マシカクイ	<i>Eleocharis tetraquetra</i>	-	-	-	VU	-
133		トネテンツキ	<i>Fimbristylis stauntonii</i> var. <i>tonensis</i>	-	-	VU	VU	-
134		トラノハナヒゲ	<i>Rhynchospora brownii</i>	-	-	-	CR	-
135		オオイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fauriei</i>	-	-	-	VU	-
136		シズイ	<i>Schoenoplectus nipponicus</i>	-	-	-	EN	-
137		ノグサ	<i>Schoenus apogon</i>	-	-	-	EN	-
138		ミカワシンジュガヤ	<i>Scleria mikawana</i>	-	-	VU	VU	-
139		コシンジュガヤ	<i>Scleria parvula</i>	-	-	-	VU	-
140	イネ科	ヒメコヌカグサ	<i>Agrostis valvata</i>	-	-	NT	-	-
141		ヒナザサ	<i>Coelachne japonica</i>	-	-	NT	VU	-
142		ヒメタイスビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>formosensis</i>	-	-	-	EN	-
143		ウンヌケモドキ	<i>Eulalia quadrinervis</i>	-	-	NT	VU	-
144		ウンヌケ	<i>Eulalia speciosa</i>	-	-	VU	NT	-
145		カモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i> var. <i>crassipes</i>	-	-	-	VU	-
146		イブキヌカボ	<i>Milium effusum</i>	-	-	-	VU	-
147		ウキシバ	<i>Pseudoraphis sordida</i>	-	-	-	NT	-
148		シダミコザサ	<i>Sasa samaniensis</i> var. <i>yoshinoi</i> f. <i>hidejiroana</i>	-	-	-	VU	-
149		ナリヒラダケ	<i>Semiarundinaria fastuosa</i>	-	-	-	VU	-
150	ケシ科	オニシバ	<i>Zoysia macrostachya</i>	-	-	-	NT	-
151		ナガミノツルケマン	<i>Corydalis raddeana</i>	-	-	NT	EN	-
152		ヤマブキノソ	<i>Hylomecon japonica</i>	-	-	-	EN	-
153	メギ科	ヘビノボラズ	<i>Berberis sieboldii</i>	-	-	-	NT	-
154		イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	-	-	-	VU	-
155	キンポウゲ科	アズマイチゲ	<i>Anemone raddeana</i>	-	-	-	NT	-
156		レンゲショウマ	<i>Anemonopsis macrophylla</i>	-	-	-	EN	-
157		エンコウソウ	<i>Caltha palustris</i> var. <i>enkoso</i>	-	-	-	CR	-
158		キケンショウマ	<i>Cimicifuga japonica</i> var. <i>peltata</i>	-	-	-	EN	-
159		カザグルマ	<i>Clematis patens</i>	-	-	NT	EN	-
160		ハコネシロカネソウ	<i>Dichocarpum hakonense</i>	-	-	NT	-	-
161		ミズミソウ	<i>Hepatica nobilis</i> var. <i>japonica</i>	-	-	NT	NT	-
162		スハマソウ	<i>Hepatica nobilis</i> var. <i>japonica</i> f. <i>variegata</i>	-	-	-	NT	-
163		オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i>	-	-	NT	CR	-
164		シギンカラマツ	<i>Thalictrum actaeifolium</i>	-	-	-	NT	-
165	ツゲ科	ツゲ	<i>Buxus microphylla</i> var. <i>japonica</i>	-	-	-	VU	-
166	ボタン科	ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i>	-	-	NT	VU	-
167		ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	-	-	VU	EN	-
168	スグリ科	ヤシャビシヤク	<i>Ribes ambiguum</i>	-	-	NT	EN	-
169		ヤブサンザシ	<i>Ribes fasciculatum</i>	-	-	-	EN	-
170	ユキノシタ科	ミカワショウマ	<i>Astilbe odontophylla</i>	-	-	NT	VU	-
171		キバナハナネコノメ	<i>Chrysosplenium album</i> var. <i>flavum</i>	-	-	NT	NT	-
172		ツルネコノメソウ	<i>Chrysosplenium flagelliferum</i>	-	-	-	VU	-
173		チシマネコノメソウ	<i>Chrysosplenium kamtschaticum</i> var. <i>kamtschaticum</i>	-	-	-	VU	-
174		ナメラダイモンジソウ	<i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>suwoensis</i>	-	-	-	NT	-
175	ベンケイソウ科	ベンケイソウ	<i>Hylotelephium erythrostictum</i>	-	-	-	EX	-
176		アオベンケイ	<i>Hylotelephium viride</i>	-	-	-	EN	-
177		ツメレンゲ	<i>Orostachys japonica</i>	-	-	NT	NT	-
178	タコノアシ科	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	-	-	NT	NT	-
179	アリノトウグサ科	タチモ	<i>Myriophyllum ussuriense</i>	-	-	NT	NT	-
180	マメ科	サイカチ	<i>Gleditsia japonica</i>	-	-	-	VU	-
181		オオバヌスビトハギ	<i>Hylodesmum laxum</i>	-	-	-	VU	-
182		イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>	-	-	NT	VU	-
183		ミソナオシ	<i>Ohwia caudata</i>	-	-	-	VU	-
184		ヨツバハギ	<i>Vicia nipponica</i>	-	-	-	VU	-

注1) 表中のⅠ～Ⅴは表 3.1.49の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

表 3.1.51(4) 重要種一覧（植物）

No.	科名	種名	学名	選定基準				
				I	II	III	IV	V
185	グミ科	クマヤマグミ	<i>Elaeagnus epitricha</i>	-	-	VU	-	-
186		ハコネグミ	<i>Elaeagnus matsunoana</i>	-	-	NT	-	-
187		アリマグミ	<i>Elaeagnus murakamiana</i>	-	-	-	VU	-
188	クロウメドキ科	ケンボナシ	<i>Hovenia dulcis</i>	-	-	-	EN	-
189	アサ科	コバノチョウセンエノキ	<i>Celtis biondii</i> var. <i>biondii</i>	-	-	-	EN	-
190	クワ科	カジノキ	<i>Broussonetia papyrifera</i>	-	-	-	EN	-
191	イラクサ科	トキホコリ	<i>Elatostema densiflorum</i>	-	-	NT	-	-
192		ミヤマミズ	<i>Pilea angulata</i> ssp. <i>petiolaris</i>	-	-	-	VU	-
193		ミヤコミズ	<i>Pilea kiotensis</i>	-	-	-	CR	-
194	バラ科	カワラサイコ	<i>Potentilla chinensis</i>	-	-	-	VU	-
195		テリハキンバイ	<i>Potentilla riparia</i> var. <i>riparia</i>	-	-	-	VU	-
196		マメナシ	<i>Pyrus calleryan</i> var. <i>dimorphophylla</i>	-	-	EN	CR	-
197		ミヤマモミジイチゴ	<i>Rubus pseudo-acer</i>	-	-	NT	-	-
198		ミヤマワレモコウ	<i>Sanguisorba longifolia</i>	-	-	-	EN	-
199	ブナ科	ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i>	-	-	-	EN	-
200		フモトミズナラ	<i>Quercus crispula</i> var. <i>mongolicoides</i>	-	-	-	NT	-
201	カバノキ科	サクラバハハンノキ	<i>Alnus trabeculosa</i>	-	-	NT	-	-
202		ウダイカンバ	<i>Betula maximowicziana</i>	-	-	-	VU	-
203		オノオレカンバ	<i>Betula schmidtii</i>	-	-	-	VU	-
204	ニシキギ科	シラヒゲソウ	<i>Parnassia foliosa</i> var. <i>foliosa</i>	-	-	-	EN	-
205	カタバミ科	コミヤマカタバミ	<i>Oxalis acetosella</i> var. <i>acetosella</i>	-	-	-	NT	-
206	ヤナギ科	キヌヤナギ	<i>Salix schwerinii</i> ‘Kinuyanagi’	-	-	-	NT	-
207	スミレ科	スミレサイシン	<i>Viola vaginata</i>	-	-	-	EN	-
208	オトギリソウ科	アゼオトギリ	<i>Hypericum oliganthum</i>	-	-	EN	EN	-
209	フウロソウ科	ミツバフウロ	<i>Geranium wilfordii</i> var. <i>wilfordii</i>	-	-	-	EN	-
210	ミソハギ科	ヒメミソハギ	<i>Ammannia multiflora</i>	-	-	-	NT	-
211		ミズスギナ	<i>Rotala hippuris</i>	-	-	CR	EX	-
212		ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i>	-	-	NT	-	-
213		ミズキカシグサ	<i>Rotala rosea</i>	-	-	NT	VU	-
214		ヒメビシ	<i>Trapa incisa</i>	-	-	VU	EN	-
215		オニビシ	<i>Trapa natans</i> var. <i>natans</i>	-	-	-	NT	-
216		オニビシ	<i>Trapa natans</i> var. <i>quadrispinosa</i>	-	-	-	NT	-
217	アカバナ科	ウスゲチョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> ssp. <i>greatrexii</i>	-	-	NT	-	-
218	ムクロジ科	ホソエカエデ	<i>Acer capillipes</i>	-	-	-	VU	-
219		カジカエデ	<i>Acer diabolicum</i>	-	-	-	NT	-
220		ハウチワカエデ	<i>Acer japonicum</i>	-	-	-	VU	-
221		メグスリノキ	<i>Acer maximowiczianum</i>	-	-	-	VU	-
222		クロビイタヤ	<i>Acer miyabei</i>	-	-	VU	-	-
223		ハナノキ	<i>Acer pycnanthum</i>	-	-	VU	EN	-
224	アオイ科	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i>	-	-	-	VU	-
225	ジンチョウゲ科	サクラガンピ	<i>Diplomorpha pauciflora</i> var. <i>pauciflora</i>	-	-	VU	-	-
226	アブラナ科	コンロンソウ	<i>Cardamine leucantha</i>	-	-	-	EN	-
227		ミズタガラシ	<i>Cardamine lyrata</i>	-	-	-	NT	-
228		コイヌガラシ	<i>Rorippa cantoniensis</i>	-	-	NT	-	-
229	タデ科	サトヤマタデ	<i>Persicaria clivorum</i>	-	-	-	NT	-
230		ヒメタデ	<i>Persicaria erectominor</i>	-	-	DD	EN	-
231		トヨボタニソバ	<i>Persicaria geocarpica</i>	-	-	-	NT	-
232		ナガバノウナギツカミ	<i>Persicaria hastatosagittata</i>	-	-	NT	NT	-
233		コミゾソバ	<i>Persicaria mikawana</i>	-	-	-	NT	-
234		ヌカボタデ	<i>Persicaria taquetii</i>	-	-	VU	VU	-
235		オオミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>stoloniferum</i>	-	-	-	NT	-
236		コギシギシ	<i>Rumex dentatus</i> ssp. <i>klotzschianus</i>	-	-	NT	-	-
237		ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i>	-	-	VU	CR	-
238	モウセンゴケ科	ナガバノイシモチソウ	<i>Drosera indica</i>	-	-	VU	CR	希少
239		イシモチソウ	<i>Drosera peltata</i> var. <i>nipponica</i>	-	-	NT	EN	-
240	ナデシコ科	オオヤマフスマ	<i>Arenaria lateriflora</i>	-	-	-	VU	-
241		ワダソウ	<i>Pseudostellaria heterophylla</i>	-	-	-	EN	-
242		ヒゲネワチガイソウ	<i>Pseudostellaria palibiniana</i>	-	-	-	EN	-
243		ツカモトハコベ	<i>Stellaria hibinoi</i>	-	-	VU	CR	-
244	ヒユ科	ハマアカザ	<i>Atriplex subcordata</i>	-	-	-	VU	-
245		マルバアカザ	<i>Chenopodium acuminatum</i> var. <i>acuminatum</i>	-	-	-	NT	-

注1) 表中のⅠ～Ⅴは表 3.1.49の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

表 3.1.51(5) 重要種一覧（植物）

No.	科名	種名	学名	選定基準				
				I	II	III	IV	V
246	アジサイ科	コガクウツギ	<i>Hortensia luteovenosa</i> var. <i>luteovenosa</i>	-	-	-	EN	-
247	ツリフネソウ科	エンシュウツリフネソウ	<i>Impatiens hypophylla</i> var. <i>microhypophylla</i>	-	-	CR	CR	希少
248	カキノキ科	ヤエヤマコクタン	<i>Diospyros egbertwalkerii</i>	-	-	NT	-	-
249	サクラソウ科	クリンソウ	<i>Primula japonica</i>	-	-	-	NT	-
250		サクラソウ	<i>Primula sieboldii</i>	-	-	NT	-	-
251	イワウメ科	イワカガミ	<i>Schizocodon soldanelloides</i> var. <i>soldanelloides</i>	-	-	-	EN	-
252	ツツジ科	サラサドウダン	<i>Enkianthus campanulatus</i> var. <i>campanulatus</i>	-	-	-	NT	-
253		シャクジョウソウ	<i>Hypopitys monotropa</i>	-	-	-	NT	-
254		ホンシャクナゲ	<i>Rhododendron japonheptamerum</i> var. <i>hondoense</i>	-	-	-	VU	-
255	アカネ科	キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i>	-	-	-	NT	-
256		ハクチョウゲ	<i>Serissa japonica</i>	-	-	VU	-	-
257	リンドウ科	コケリンドウ	<i>Gentiana squarrosa</i>	-	-	-	VU	-
258		ホソバナツルリンドウ	<i>Pterygocalyx volubilis</i>	-	-	VU	-	-
259		ムラサキセンブリ	<i>Swertia pseudochinensis</i>	-	-	NT	VU	-
260		イヌセンブリ	<i>Swertia tosaensis</i>	-	-	NT	NT	-
261	マチン科	ヒメナエ	<i>Mitrasacme indica</i>	-	-	VU	CR	-
262	キョウチクトウ科	フナバラソウ	<i>Vincetoxicum atratum</i>	-	-	NT	EN	-
263		クサナギオゴケ	<i>Vincetoxicum katoii</i>	-	-	VU	NT	-
264		タチガシワ	<i>Vincetoxicum magnificum</i>	-	-	-	CR	-
265		スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i>	-	-	NT	-	-
266	ヒルガオ科	マメダオシ	<i>Cuscuta australis</i>	-	-	EN	EX	-
267	ナス科	ヤマホオズキ	<i>Archiphysalis chamaesarachoides</i>	-	-	VU	VU	-
268		アオホオズキ	<i>Physalisstrum japonicum</i>	-	-	VU	VU	-
269	ムラサキ科	ホタルカズラ	<i>Aegonychon zollingeri</i>	-	-	-	EN	-
270	モクセイ科	トネリコ	<i>Fraxinus japonica</i>	-	-	-	EN	-
271		ハシドイ	<i>Syringa reticulata</i> var. <i>reticulata</i>	-	-	-	NT	-
272	オオバコ科	マルバノサワトウガラシ	<i>Deinostema adenocaulum</i>	-	-	NT	NT	-
273		オオアブノメ	<i>Gratiola japonica</i>	-	-	VU	VU	-
274		トウオオバコ	<i>Plantago japonica</i>	-	-	-	EN	-
275		ヒシモドキ	<i>Trapella sinensis</i>	-	-	EN	EX	-
276		イヌノフグリ	<i>Veronica polita</i>	-	-	NT	-	-
277		カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>	-	-	NT	-	-
278	ゴマノハグサ科	ヒナノウスツボ	<i>Scrophularia duplicatoserrata</i>	-	-	-	NT	-
279	アゼナ科	ツルウリクサ	<i>Torenia concolor</i>	-	-	CR	-	-
280	シソ科	タチキランソウ	<i>Ajuga makinoi</i>	-	-	NT	-	-
281		ジュウニヒトエ	<i>Ajuga nipponensis</i>	-	-	-	VU	-
282		ケブカツルカコソウ	<i>Ajuga shikotanensis</i> f. <i>hirsuta</i>	-	-	-	EN	-
283		ジャコウソウ	<i>Chelonopsis moschata</i>	-	-	-	VU	-
284		マネキグサ	<i>Loxocalyx ambiguus</i>	-	-	NT	-	-
285		シロネ	<i>Lycopus lucidus</i>	-	-	-	NT	-
286		ヤマジソ	<i>Mosla japonica</i>	-	-	NT	VU	-
287		ミズネコノオ	<i>Pogostemon stellatus</i>	-	-	NT	VU	-
288		ミズトラノオ	<i>Pogostemon yatabeanus</i>	-	-	VU	VU	-
289		シマジタムラソウ	<i>Salvia isensis</i>	-	-	VU	NT	-
290		シナノアキギリ	<i>Salvia koyamae</i>	-	-	VU	-	-
291		ミゾコウジュ	<i>Salvia plebeia</i>	-	-	NT	-	-
292		ヒメナミキ	<i>Scutellaria dependens</i>	-	-	-	NT	-
293		イブキジャコウソウ	<i>Thymus quinquecostatus</i> var. <i>ibukiensis</i>	-	-	-	CR	-
294	ハエドクソウ科	スズメノハコベ	<i>Microcarpaea minima</i>	-	-	NT	NT	-
295	ハマウツボ科	ゴマクサ	<i>Centranthera cochinchinensis</i> var. <i>lutea</i>	-	-	NT	VU	-
296		クチナシグサ	<i>Monochasma shearerii</i>	-	-	-	NT	-
297		ミカワシオガマ	<i>Pedicularis resupinata</i> ssp. <i>oppositifolia</i> var. <i>microphylla</i>	-	-	VU	EN	-
298		キヨスミウツボ	<i>Phacellanthus tubiflorus</i>	-	-	-	VU	-
299		ヒキヨモギ	<i>Siphonostegia chinensis</i>	-	-	-	NT	-
300		オオヒキヨモギ	<i>Siphonostegia laeta</i>	-	-	NT	-	-
301	タヌキモ科	ノタヌキモ	<i>Utricularia aurea</i>	-	-	VU	VU	-
302		イスタヌキモ	<i>Utricularia australis</i>	-	-	NT	-	-
303		フサタヌキモ	<i>Utricularia dimorphantha</i>	-	-	VU	EX	-
304		ミカワタヌキモ	<i>Utricularia exoleta</i>	-	-	EN	CR	-
305		コタヌキモ	<i>Utricularia intermedia</i>	-	-	-	CR	-

注1) 表中の I～V は表 3.1.49 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

第3章 配慮書対象事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

表 3.1.51(6) 重要種一覧（植物）

No.	科名	種名	学名	選定基準				
				I	II	III	IV	V
306	タヌキモ科	ヒメミミカキグサ	<i>Utricularia minutissima</i>	-	-	CR	EN	-
307		ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia uliginosa</i>	-	-	NT	NT	-
308		タヌキモ	<i>Utricularia x japonica</i>	-	-	NT	-	-
309	モチノキ科	ミヤマウメモドキ	<i>Ilex nipponica</i>	-	-	-	VU	-
310	キキョウ科	ソバナ	<i>Adenophora remotiflora</i>	-	-	-	NT	-
311		バアソブ	<i>Codonopsis ussuriensis</i>	-	-	VU	EX	-
312		キキョウ	<i>Platycodon grandiflorus</i>	-	-	NT	VU	-
313	ミツガシワ科	ミツガシワ	<i>Menyanthes trifoliata</i>	-	-	-	EX	-
314		ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i>	-	-	NT	NT	-
315		アサザ	<i>Nymphoides peltata</i>	-	-	NT	EN	-
316	キク科	イワヨモギ	<i>Artemisia gmelinii</i>	-	-	VU	-	-
317		ヒメヨモギ	<i>Artemisia lancea</i>	-	-	-	CR	-
318		ヒメシオン	<i>Aster fastigiatus</i>	-	-	-	EN	-
319		ヤマジノギク	<i>Aster hispidus</i> var. <i>hispidus</i>	-	-	-	CR	-
320		オオガंकビソウ	<i>Carpesium macrocephalum</i>	-	-	-	EN	-
321		ムラサキトキンソウ	<i>Centipeda</i> sp.	-	-	-	NT	-
322		モリアザミ	<i>Cirsium dipsacolepis</i>	-	-	-	EX	-
323		ヒダアザミ	<i>Cirsium tashiroi</i> var. <i>hidaense</i>	-	-	VU	-	-
324		ワタムキアザミ	<i>Cirsium tashiroi</i> var. <i>tashiroi</i>	-	-	EN	-	-
325		サワアザミ	<i>Cirsium yezoense</i>	-	-	-	CR	-
326		ミズギク	<i>Inula ciliaris</i> var. <i>ciliaris</i>	-	-	-	NT	-
327		カセンソウ	<i>Inula salicina</i> var. <i>asiatica</i>	-	-	-	EN	-
328		ミコシギク	<i>Leucanthemella linearis</i>	-	-	EN	CR	-
329		ヤマタバコ	<i>Ligularia angusta</i>	-	-	EN	EX	-
330		オオモミジガサ	<i>Miricacalia makinoana</i>	-	-	-	VU	-
331		ヤマタイミンガサ	<i>Parasenecio yatabei</i>	-	-	-	VU	-
332		ホクチアザミ	<i>Saussurea gracilis</i>	-	-	-	EN	-
333		ミヤコアザミ	<i>Saussurea maximowiczii</i>	-	-	-	EN	-
334		ミカワトウヒレン	<i>Saussurea nipponica</i> Miq. var.	-	-	-	CR	-
335		ウラギク	<i>Tripolium pannonicum</i>	-	-	NT	VU	-
336		オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i> ssp. <i>sibiricum</i>	-	-	VU	CR	-
337	スイカズラ科	マツムシソウ	<i>Scabiosa japonica</i>	-	-	-	NT	-
	103 科	337 種		0 種	1 種	157 種	293 種	2 種

注1) 表中の I ～ V は表 3.1.49 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

また、重要な植物として、対象事業実施想定区域及びその周囲の天然記念物及び巨樹・巨木林の分布状況は表 3.1.52 及び表 3.1.53 に、その位置は図 3.1.21 に示すとおりである。

重要な植物としては、東郷町の天然記念物であり、巨樹でもあるアベマキがあげられる。対象事業実施想定区域内には天然記念物に指定されている植物や巨樹・巨木林は分布していない。

表 3.1.52 重要な植物の分布状況（天然記念物）

番号	名称	所在地	備考
1	アベマキ	東郷町春木字北所屋敷 1042	天然記念物（町）

注）表中の番号は、図 3.1.21 の番号に対応する。

出典：「町内の文化財」（東郷町ホームページ）

表 3.1.53 重要な植物の分布状況（巨樹・巨木林）

番号	樹種	樹高(m)	幹周(m)		樹齢(推定)	所在地
			単木の場合の 幹周	株立樹木の 総幹周		
1	アベマキ	東側樹:16 西側樹:8.7	東側樹:3.3 西側樹:2.9	-	-	東郷町春木字北所屋敷 1042

注）表中の番号は、図 3.1.21 の番号に対応する。

出典：「巨樹・巨木林調査（第6回）愛知県」（生物多様性センターホームページ）

「町内の文化財」（東郷町ホームページ）

(3) 重要な植物群落

対象事業実施想定区域及びその周囲には、重要な植物群落は分布していない。



図 3.1.21 重要な植物の分布状況（天然記念物、巨樹・巨木林）

3.1.8.3 生態系

植生自然度区分基準は表 3.1.54 に、植生自然度図は図 3.1.22 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲は、植生自然度 1～2 の市街地や耕作地、植生自然度 7 の二次林が多く、対象事業実施想定区域の西側には開放水域も分布している。

対象事業実施想定区域及びその周囲の環境は、耕作地・水田、ため池、樹林地、市街地・工場地帯に大別でき、下記に示すような生態系が成立していると考えられる。

(1) 耕作地・水田

対象事業実施想定区域周辺の耕作地や水田は、ネズミ類やノウサギ、タヌキ、キツネ等の乾性～湿潤な草地に生息する小型～中型哺乳類の生息環境となっていると考えられる。

また、耕作地のうち水田については秋季から冬季は草地や土壌を利用する小型哺乳類や鳥類の採餌環境となっていると考えられるが、水田に水が入るとともに湿潤な環境に変わり、水生昆虫類や両生類の生息環境となり、季節の環境変化に応じた生態系が形成されている。

これらのことから、生態系上位種は中型哺乳類が該当し、耕作地や住宅地に順応可能で草地を営巣環境とするセッカ等の鳥類やシマヘビ等の爬虫類、ニホンアマガエル等の両生類といった典型性に該当する種が生息している可能性がある。

(2) ため池

対象事業実施想定区域西側のため池は、木曽川より水を取り入れている広大な解放水面を有する調整池である。

これらのことから、生態系上位種はカモ科やサギ科等の鳥類が該当し、ニホンイシガメ等の爬虫類、フナ類等の魚類、トンボ目等の昆虫類の典型性に該当する種が生息している可能性がある。

(3) 樹林地

対象事業実施想定区域周辺には、ケネザサーコナラ群集、アカメガシワーカラスザンショウ群落、モチツツジアカマツ群集が分布している。

このような植生には、小型～中型哺乳類や鳥類、爬虫類、多くの昆虫類の生息環境となっていると考えられる。また、林内の湿潤な環境は両生類の生息環境となっていると考えられる。

これらのことから、生態系上位種はタヌキ、キツネ等の中型哺乳類やタカ目等の鳥類が該当し、ジムグリ等の爬虫類やニホンアカガエル等の両生類、トンボ目やバッタ目、カメムシ目等の昆虫類の典型性に該当する種が生息している可能性がある。

(4) 市街地・工場地帯

対象事業実施想定区域周辺の工場地帯や市街地には、基本的には小型哺乳類や鳥類等の限られた種が生息する貧弱な生態系である。

これらのことから、生態系上位種はハシブトガラス等の鳥類が該当し、アブラコウモリ等の典型性に該当する種が生息している可能性がある。

表 3.1.54 植生自然度区分基準

植生 自然度	区分	区分基準
10	自然草原	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	自然林	エゾマツ・トドマツ群集、ブナ群落等、自然植生のうち低木林、高木林の植物社会を形成する地区
8	二次林 (自然林に近いもの)	ブナ・ミズナラ群落、シイ・カシ二次林等、代償植生であっても特に自然植生に近い地区
7	二次林	クリーミズナラ群集、コナラ群落等、繰り返し伐採されている一般に二次林と呼ばれている代償植生地区
6	植林地	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地、アカメガシワ等の低木林
5	二次草原 (背の高い草原)	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原、伝統的な管理を受けて持続している構成種の多い草原
4	二次草原 (背の低い草原)	シバ群落等の背丈の低い草原、伐採直後の草原、路傍・空地雑草群落、放棄畑雑草群落
3	外来種植林 農耕地(樹園地)	竹林、外来種の植林・二次林・低木林、果樹園、茶畑、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
2	外来種草原 農耕地(水田・畑)	外来種の草原、畑、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地等	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典：「植生自然度区分基準」(生物多様性センターホームページ)

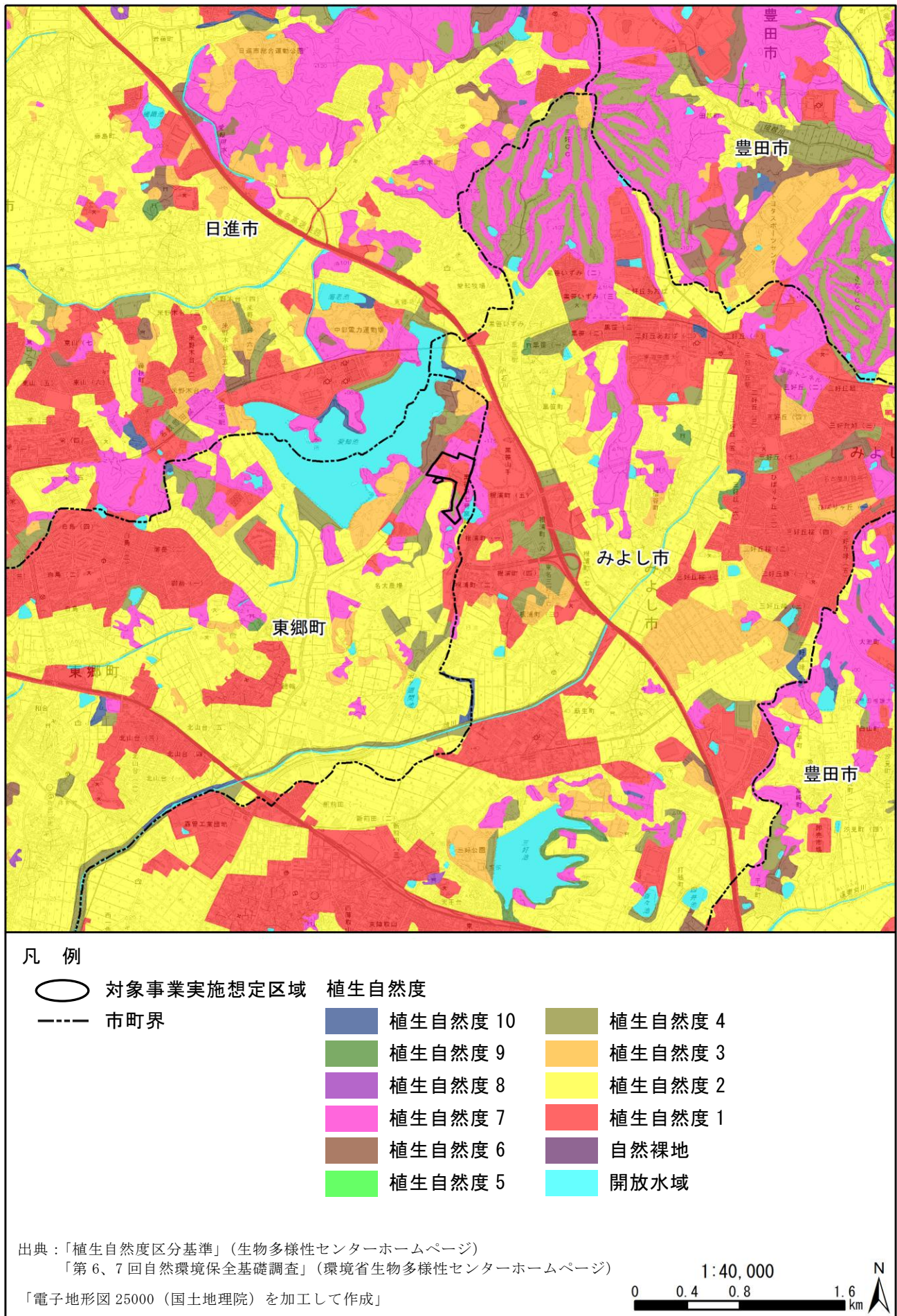


図 3.1.22 植生自然度図

3.1.9 景観、人と自然との触れ合いの活動の状況及び地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況

3.1.9.1 景観

(1) 景観資源

対象事業実施想定区域及びその周囲の景観資源の状況は表 3.1.55 に、その位置は図 3.1.23 に示すとおりである。

愛知県では、「美しい愛知づくり条例」（平成 18 年愛知県条例第 6 号）に基づき、地域の良好な景観を「美しい愛知づくり景観資源 600 選」に指定しており、対象事業実施想定区域及びその周囲では、対象事業実施想定区域西側の愛知池の風景や、南西側の愛知池から見た田園風景が指定されている。

表 3.1.55 景観資源の状況

番号	名 称	所在地	備考
1	愛知池の風景	東郷町諸輪ほか	愛知池の堤体から見た愛知池の様子
2	愛知池から見た田園風景	東郷町諸輪	愛知池の堤体から見た諸輪地区の田園風景
3	境川の源流：長田池	みよし市黒笹町	—
4	三好池	みよし市三好町	—
5	三好稲荷と満福寺境内	みよし市三好町	—
6	開発の波に打ち克った 蒔生辰己山の「アベマキ」	みよし市蒔生町	—

注）表中の番号は、図 3.1.23 の番号と対応する。

出典：「美しい愛知づくり景観資源 600 選」（愛知県ホームページ）

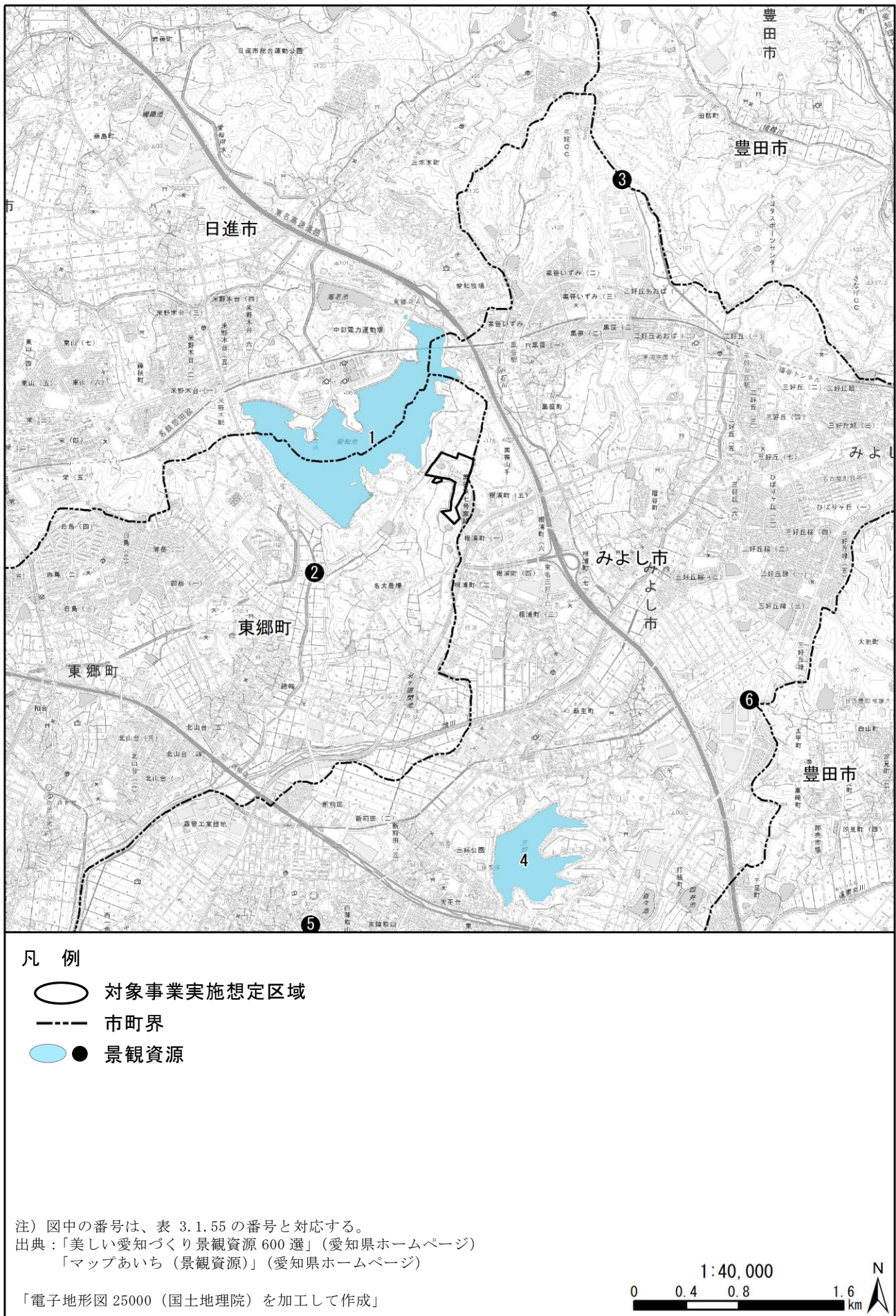


図 3.1.23 景観資源の分布状況

(2) 主要な眺望点等

対象事業実施想定区域及びその周囲の主要な眺望点の概要は表 3.1.56 に、その位置は図 3.1.24 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲の主要な眺望点としては、西側の愛知池堤体や、東側のほのぼのテラスがあげられる。

表 3.1.56 主要な眺望点の概要

番号	主要な眺望点	概要
1	愛知池	東郷町、日進市、みよし市にまたがり、周辺は緑豊かである。池には周回の遊歩道も整備されているため、多く利用されており、地域の憩いの場となっている。愛知池周辺は昔ながらの風景が残り、自然豊かで、四季折々の表情を楽しむことができる。
2	愛知牧場	愛知池近くに広がる大牧草地。どうぶつ広場や乗馬など動物との触れ合い、バーベキュー等を楽しむことができる。 菜の花、ひなげし、ひまわり、コスモスなど季節ごとに違った風景を楽しむことができる。
3	浮き雲の栈橋	名鉄豊田線の三好ヶ丘駅東側にある三好丘緑地の展望台。みよしの街並みの他、恵那山を始め美しい山々を望むことができる。
4	ほのぼのテラス※	黒笹山手緑地4号内の小高いテラス。黒笹山手の住宅街など、周辺の街並みを望むことができる。
5	三好池	外周がトリムコースで、春には3000本程の桜が、初夏には紫陽花が美しく咲き誇る。夏には、三好池まつりで屋形船と華やかな花火が湖面を彩り多くの市民に親しまれている。

注1) 表中の番号は、図 3.1.24 の番号と対応する。

注2) ※：眺望点の概要は現地踏査により確認。

出典：「美しい愛知づくり景観資源600選」（愛知県ホームページ）

「愛知県の公式観光ガイド Aichi Now」（愛知県ホームページ）

「日進市観光マップ」（日進市ホームページ）



図 3.1.24 主要な眺望点の分布状況

3.1.9.2 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

対象事業実施想定区域及びその周囲の人と自然との触れ合いの活動の場の概要は表 3.1.57 に、その位置は図 3.1.25 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲の人と自然との触れ合いの活動の場としては、対象事業実施想定区域西側の愛知池や、北側のあいち牧場などがあげられる。

表 3.1.57(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の概要

番号	名称	概要
1	愛知池	1 周約 7.4km の周回路が整備されている。愛知池百年森公園や、愛知池運動公園（野球場、運動場、テニスコート、ふれあい広場キャンプ場）等も隣接している。
2	上城さくら公園	上城保育園の跡地に造られた公園。春には桜が満開になることから写真映えする公園となっている。また、町内初となる噴水施設が設備しており、夏場は子供たちが水遊びできる。
3	春木川・境川 ウォーキングロード	春木川合流地点から豊明市の境までつづくウォーキングロード。コース上に壁画、東郷町交通児童遊園、マレットゴルフ場、郡界橋、対岸にはみよし市のマレットゴルフ場がある。
4	愛知牧場	愛知池近くに広がる大牧草地。どうぶつ広場や乗馬など動物との触れ合い、バーベキュー等を楽しむことができる。 菜の花、ひなげし、ひまわり、コスモスなど季節ごとに違った風景を楽しむことができる。
5	米野木中央公園	軽運動のほか、遊具施設として複合遊具、ジャングルジム、砂場などを楽しむことができる。
6	相野山小学校区 ウォーキングコース	短距離コースは、日進市総合運動公園入口で折り返し。総合運動公園付近には市の花あじさいが咲いている歩道がある。公園内には桜などの樹木があり、四季を通じて自然を身近に感じて歩くことができる。 長距離コースは、右手に岩崎川・北新田川を眺めながら田園風景の中を歩いていく。途中、長久手のグリーンロードを歩き、古戦場公園前（長久手市）を中間点として帰る。この公園も桜など樹木があり、四季を通じて楽しむことができ、ちょっとした休憩施設もある。
7	北小学校区 ウォーキングコース	北部福祉会館を起点とし標高 134m の御嶽神社奥之院へ至る高低差のあるコース。御嶽神社奥之院から北を眺めると眼下に海上の森、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）の観覧車、遠くには木曽御嶽山、南アルプスを望む雄大な景色を楽しむことができる。奥之院を下って北小学校から岩崎の御嶽山を望む風景は日進市の原風景とも言えるのどかな田園風景が広がり御嶽山の全貌がきれいに見える。そこから春には桜が咲く岩崎川沿いを歩いて北部福祉会館へ帰るコース。
8	南小学校区 ウォーキングコース	市民会館から出発し、折戸川、天白川を歩き市民会館へ帰るコース。折戸川沿いは、春は桜、夏は蛍、秋は稲穂など四季折々の変化が楽しめる。天白川はバードウォッチングを楽しむこともできる緑豊かなコース。折戸川では 6 月ごろには蛍を見ることができる。
9	梨の木小学校区 ウォーキングコース	日進駅から出発。途中、右手には特徴のある建物として「梨の木小学校」がある。右手に愛知池を、左手に研究施設に咲くつつじの並木を歩いていく。帰りは愛知池沿いの遊歩道を、自然を身近に感じながら歩くことができる。つつじは 5 月初旬が見頃。

注）表中の番号は、図 3.1.25 の番号と対応する。

出典：「美しい愛知づくり景観資源 600 選」（愛知県ホームページ）

「上城さくら公園」（東郷町ホームページ）

「春木川・境川ウォーキングロード」（東郷町ホームページ）

「日進市観光マップ」（日進市）

「米野木中央公園」（日進市ホームページ）

「ヘルピーウォーキングマップ」（日進市ホームページ）

「みよし市景観百選」（みよし市）

「みよし市健康ウォーキングマップ」（みよし市）

「ウォーキングコース お手軽コース（5 キロメートル未満）」（豊田市ホームページ）

表 3.1.57(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の概要

番号	名称	概要
10	東小学校区 ウォーキングコース	長距離コースは三本木川沿いを歩き、後半は愛知牧場の中を歩くコース。愛知牧場の四季折々の花などが楽しめる。 中距離コースは東部福祉会館を出発し、機織池の周りを歩くコース。蛍を放流できるほどの清流である三本木川沿いは、桜並木もありのどかな風景を眺めながらウォーキングができる。 愛知牧場はお花畑がきれい。5月初旬になるとつつじが見頃になる。
11	三好公園	外周がトリムコースで、春には3000本程の桜が、初夏には紫陽花が美しく咲き誇る。夏には、三好池まつりで屋形船と華やかな花火が湖面を彩り多くの市民に親しまれている。
12	境川緑地	東郷町とみよし市の境を流れる境川の堤外地が緑地として整備され、ウォーキングをする人やマレットゴルフ、サイクリング、こども連れで賑わう憩いの場。
13	三好池・梅の里コース	三好池・荻生周辺のウォーキングコース。芝生広場から梅の里、三好池周回路を巡る。芝生広場からの景色、三好池周辺の四季の景観、春には梅や桜を楽しむことができる。
14	お寺巡りコース	三好上・三好下・西一色地区のウォーキングコース。数々のお寺や神社などを訪ねて歴史にふれることができる。
15	浮き雲栈橋コース	三好丘地区のウォーキングコース。三好丘緑地には自然が残されており、浮き雲の栈橋という展望台からの景色も楽しむことができる。
16	史跡巡りコース	福谷地区のウォーキングコース。城跡や窯跡などの歴史を訪ねて歩くことができる。
17	三好公園トリムコース	三好池の周りを歩くウォーキングコース。
18	境川緑地コース	境川緑地公園から緑地一帯を巡るウォーキングコース。
19	みどりのこみちコース	境川周辺のウォーキングコース。みどりのこみちは自然豊かで、四季に応じて楽しむことができる。
20	前田緑道コース	三好公園総合体育館からみよし八幡社までを歩くウォーキングコース。
21	歴史と桜道をめぐるコース	3つの城跡の横を通り、田舩川沿いの田園風景を眺めながら昔話「鶏石」の伝説の場所へ向かう。 距離：4.6キロメートル 起終点：保見交流館
22	社寺と昔話の里めぐりコース	杉並木が見事な永澤寺を出発し、蛍が出る沢沿いを歩く。 距離：3.9キロメートル 起終点：永澤寺（篠原町）

注）表中の番号は、図 3.1.25 の番号と対応する。

出典：「美しい愛知づくり景観資源 600 選」（愛知県ホームページ）

「上城さくら公園」（東郷町ホームページ）

「春木川・境川ウォーキングロード」（東郷町ホームページ）

「日進市観光マップ」（日進市）

「米野木中央公園」（日進市ホームページ）

「ヘルピーウォーキングマップ」（日進市ホームページ）

「みよし市景観百選」（みよし市）

「みよし市健康ウォーキングマップ」（みよし市）

「ウォーキングコース お手軽コース（5キロメートル未満）」（豊田市ホームページ）

3.1 自然的状況

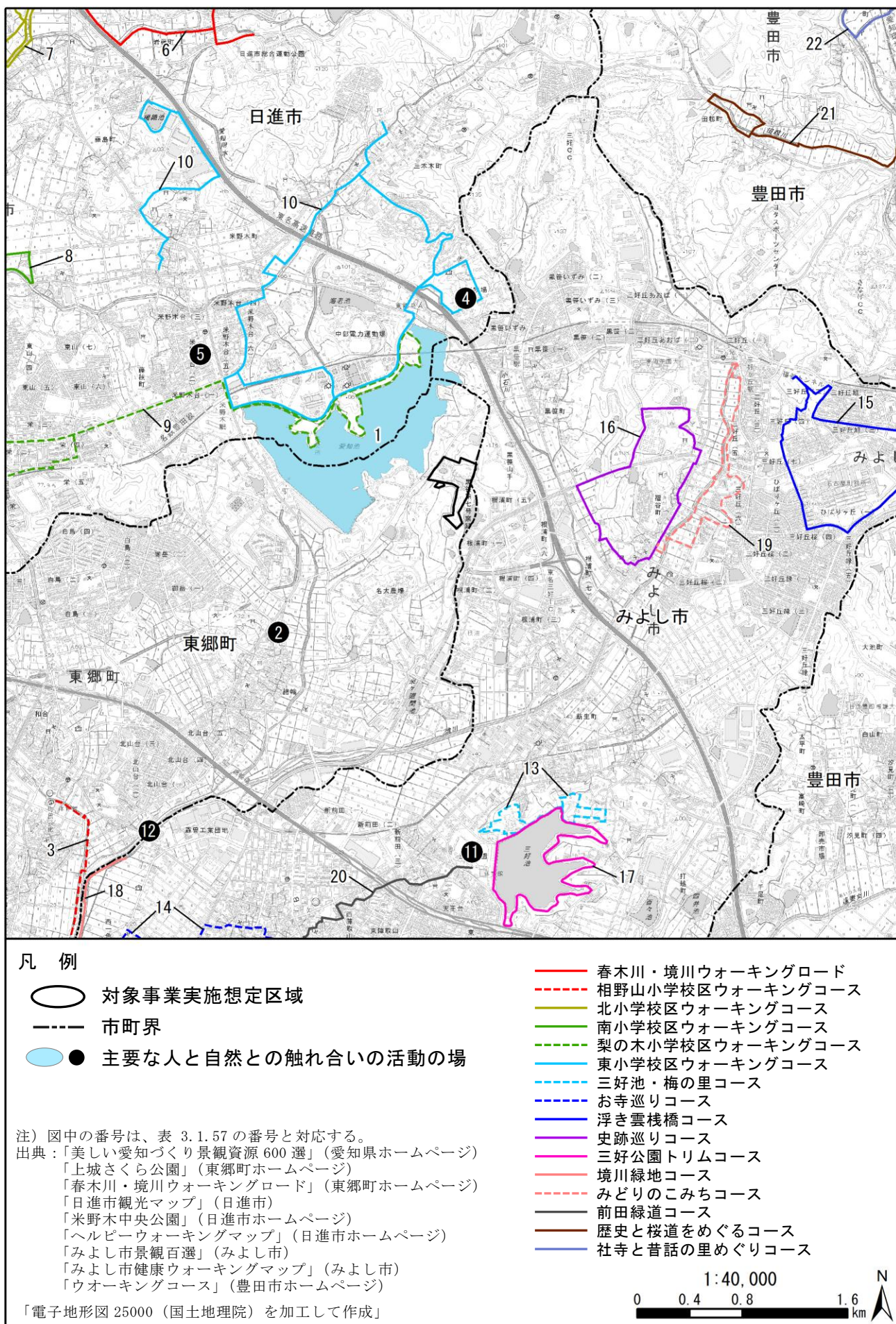


図 3.1.25 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況

3.1.9.3 地域の歴史的文化的特性を生かした環境**(1) 指定文化財等**

対象事業実施想定区域及びその周囲における指定文化財等の状況は表 3.1.58 に、その位置は図 3.1.26 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域内には、県指定の史跡である黒笹 7 号窯が存在している。

また、対象事業実施想定区域近傍には、みよし市指定の史跡である黒笹 90 号古窯跡がある。

なお、文化財の状況の把握は、主に野外に存在している有形文化財（建造物）、記念物（史跡、名勝、天然記念物）、登録有形文化財を対象とした。

表 3.1.58 指定文化財等の状況

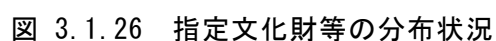
市町	種別	指定	No.	名称	所在地
東郷町	天然記念物	町	1	アベマキ	東郷町春木字北所屋敷 1042
	史跡	県	2	黒笹 7 号窯	東郷町諸輪字百々 51-271
みよし市	建造物	市	3	石川家住宅	みよし市三好町上 82
	史跡		4	黒笹 90 号古窯跡	みよし市黒笹町清水 370
			5	黒笹 27 号古窯跡	みよし市福谷町大坂 49－434

注) 表中の番号は、図 3.1.26 の番号と対応する。

出典：「町内の文化財」（東郷町ホームページ）

「みよし市指定文化財」（みよし市ホームページ）

3.1 自然的狀況



(2) 埋蔵文化財包蔵地

対象事業実施想定区域及びその近傍における周知の埋蔵文化財包蔵地の状況は表 3.1.59 に、その位置は図 3.1.27 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域内には、K-G-30 号窯及び黒笹 7 号窯があり、周辺にも窯業遺跡が多く確認されている。

表 3.1.59(1) 周知の埋蔵文化財包蔵地の状況

No.	名称	種別	時代	所在地
1	K-112 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字吉田 16
2	K-G-19 号窯	—	—	東郷町諸輪字吉田 16
3	K-111 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字吉田 63
4	K-G-22 号窯	—	—	東郷町諸輪字篠木
5	K-G-76 号窯	—	—	東郷町諸輪字篠木 78
6	K-6 号窯	—	—	東郷町諸輪字篠木 78、88
7	O-35 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字東百々
8	K-G-31 号窯	—	—	東郷町諸輪字畑尻
9	K-G-32 号窯	—	—	東郷町諸輪字畑尻
10	K-G-33 号窯	—	—	東郷町諸輪字畑尻
11	K-92 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字畑尻
12	K-10 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字畑尻 43
13	O-G-11 号窯	—	—	東郷町諸輪字八王子前
14	O-47 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字八王子前
15	K-G-35 号窯	—	—	東郷町諸輪字百々
16	K-G-34 号窯	—	—	東郷町諸輪字百々
17	K-93 号窯	—	奈良・平安	東郷町諸輪字百々
18	百々古窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々
19	黒笹 121 号窯跡	窯業遺跡	奈良	東郷町諸輪字百々
20	K-95 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々
21	K-G-36 号窯	—	—	東郷町諸輪字百々
22	K-G-37 号窯	—	—	東郷町諸輪字百々
23	K-G-38 号窯	—	—	東郷町諸輪字百々
24	K-G-29 号窯	—	—	東郷町諸輪字百々
25	K-G-27 号窯	—	—	東郷町諸輪字百々
26	K-G-30 号窯	—	—	東郷町諸輪字百々
27	K-94 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々 51
28	K-85 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々 51
29	K-87 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々 51
30	K-86 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々 51
31	K-88 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々 51
32	K-84 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々 51

注) 表中の番号は、図 3.1.27 の番号と対応する。

出典: 「マップあいち (愛知県文化財マップ 埋蔵文化財 記念物)」(愛知県ホームページ)

表 3.1.59(2) 周知の埋蔵文化財包蔵地の状況

No.	名称	種別	時代	所在地
33	K-14 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々51
34	K-15 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字百々51
35	黒笹 7 号窯	窯業遺跡	平安	東郷町諸輪字百々51-271
36	K-G-5 号窯	窯業遺跡	不明	東郷町諸輪字百々51-278
37	K-G-6 号窯	—	—	東郷町諸輪字百々51-278
38	K-G-28 号窯	—	—	東郷町諸輪字米ヶ廻間
39	K-9 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字米ヶ廻間 35
40	K-G-39 号窯	—	—	東郷町諸輪字米ヶ廻間 65-1
41	K-G-40 号窯	—	—	東郷町諸輪字米ヶ廻間 65-1
42	O-G-23 号窯	—	—	東郷町諸輪字葎ヶ廻間
43	O-G-24 号窯	—	—	東郷町諸輪字葎ヶ廻間
44	O-43 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	東郷町諸輪字葎ヶ廻間 23
45	O-G-38 号窯	窯業遺跡	中世	日進市米野木町南山
46	O-G-7 号窯	窯業遺跡	中世	日進市米野木町南山
47	O-G-8 号窯	窯業遺跡	中世	日進市米野木町南山
48	O-51 号窯	窯業遺跡	平安	日進市米野木町南山
49	O-37 号窯	窯業遺跡	平安	日進市米野木町南山
50	O-G-5 号窯	窯業遺跡	中世	日進市米野木町南山
51	O-52 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	日進市米野木町南山
52	O-39 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	日進市米野木町南山
53	O-38 号窯	窯業遺跡	平安	日進市米野木町南山
54	O-53 号窯跡	窯業遺跡	平安	日進市米野木町南山 764 番
55	寺山遺跡	窯業遺跡	奈良・平安・中世・近世	みよし市黒笹町寺山・桐山
56	寺山古窯	窯業遺跡	奈良・平安	みよし市大字黒笹字寺山
57	K-90 号窯	窯業遺跡	平安	みよし市大字黒笹字清水 370
58	K-22 号窯	窯業遺跡	平安	みよし市大字黒笹字西新田
59	K-26 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	みよし市大字黒笹字唐沢 1157
60	K-115 号窯	窯業遺跡	奈良	みよし市大字黒笹字野田兼
61	K-25 号窯	窯業遺跡	平安	みよし市大字黒笹字野田兼
62	K-1 号窯	窯業遺跡	奈良	みよし市大字黒笹字野田兼 297-1
63	K-8 号窯	窯業遺跡	奈良	みよし市大字黒笹字野田兼 297-1
64	K-66 号窯	窯業遺跡	平安	みよし市大字福谷字下地念古 64-67
65	K-G-94	窯業遺跡	中世	みよし市大字福谷字根浦
66	K-108 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	みよし市大字福谷字根浦 128-51
67	K-3 号窯	窯業遺跡	奈良	みよし市大字福谷字根浦 2-1

注) 表中の番号は、図 3.1.27 の番号と対応する。

出典: 「マップあいち (愛知県文化財マップ 埋蔵文化財 記念物)」(愛知県ホームページ)

表 3.1.59(3) 周知の埋蔵文化財包蔵地の状況

No.	名称	種別	時代	所在地
68	K-89 号窯	窯業遺跡	平安	みよし市大字福谷字根浦 27
69	K-12 号窯	窯業遺跡	平安	みよし市大字福谷字根浦 27
70	K-G-24 号窯	窯業遺跡	中世	みよし市大字福谷字根浦 27-388
71	K-G-23 号窯	窯業遺跡	中世	みよし市大字福谷字根浦 27-388
72	K-G-21 号窯	窯業遺跡	中世	みよし市大字福谷字根浦 27-84
73	K-G-25 号窯	窯業遺跡	中世	みよし市大字福谷字根浦 331
74	K-G-26 号窯	窯業遺跡	中世	みよし市大字福谷字根浦 331
75	K-4 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	みよし市大字福谷字根浦 6
76	K-40 号窯	窯業遺跡	奈良	みよし市大字福谷字根松 27
77	K-13 号窯	窯業遺跡	奈良	みよし市大字福谷字根松 27
78	坂上古窯	窯業遺跡	平安	みよし市大字福谷字坂上 18-7
79	福谷城	城館跡	中世	みよし市大字福谷字市場
80	K-19 号窯	窯業遺跡	平安	みよし市大字福谷字西ノ洞 21-12
81	西荒井遺跡	集落跡	奈良・平安・中世・近世・近現代	みよし市大字福谷字西荒井
82	K-2 号窯	窯業遺跡	奈良・平安	みよし市大字福谷字大坂 142
83	K-G-20 号窯	窯業遺跡	中世	みよし市大字福谷字定一貫
84	K-5 号窯	窯業遺跡	平安	みよし市大字福谷字定一貫 66-6
85	K-G-85 号窯	窯業遺跡	中世	みよし市大字福谷字南井山
86	K-G-84 号窯	窯業遺跡	中世	みよし市大字福谷字南井山
87	大坂遺跡	遺物散布地	中世	みよし市福谷町大坂
88	黒笹 120 号窯跡	窯業遺跡	奈良	みよし市福谷町大坂

注) 表中の番号は、図 3.1.27 の番号と対応する。

出典: 「マップあいち (愛知県文化財マップ 埋蔵文化財 記念物)」(愛知県ホームページ)

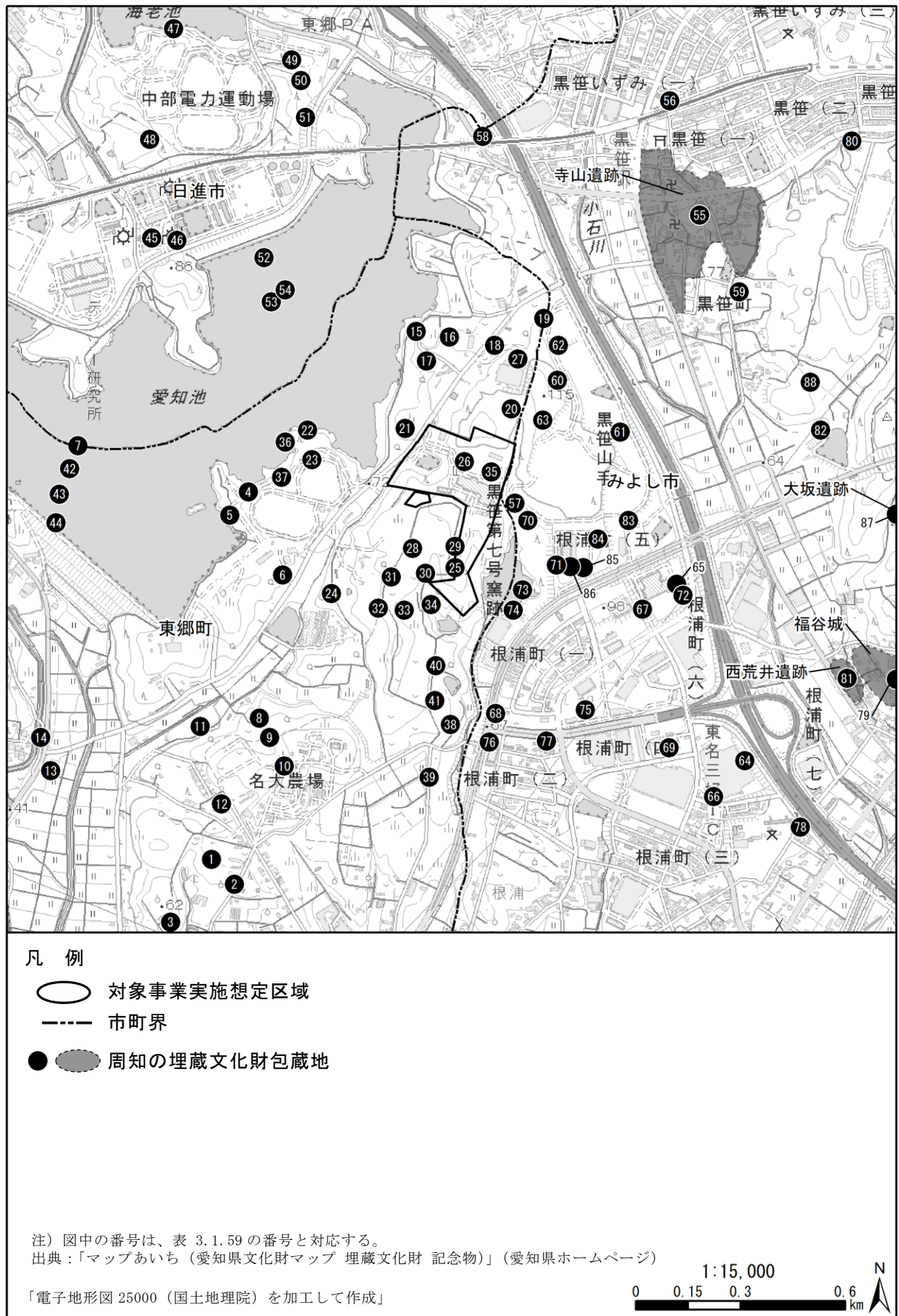


図 3.1.27 周知の埋蔵文化財包蔵地の分布状況